

倉岡生活改善センター等改築工事 設計図

図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
A - 000	タイトル、図面リスト	A - 021	【集会所】断面図（2）	A - 042	【集会所】雑詳細図（1）	S - 001	構造特記仕様書
A - 001	特記仕様書（1）	A - 022	【集会所】矩計図（1）	A - 043	【集会所】雑詳細図（2）	S - 002	木造施工標準図（1）
A - 002	特記仕様書（2）	A - 023	【集会所】矩計図（2）	A - 044	【集会所】ホース乾燥柱詳細図	S - 003	木造施工標準図（2）
A - 003	特記仕様書（3）	A - 024	【集会所】矩計図（3）	A - 045	【集会所】外構計画図	S - 004	配筋標準図（1）
A - 004	特記仕様書（4）	A - 025	【集会所】矩計図（4）			S - 005	配筋標準図（2）
A - 005	特記仕様書（5）	A - 026	【集会所】平面詳細図（1）	KA - 001	特記仕様書（解体）	S - 006	基礎伏図
A - 006	特記仕様書（6）	A - 027	【集会所】平面詳細図（2）	KA - 002	【旧屯所】仕上表、平面図、断面図、建具伏図	S - 007	土台伏図
A - 007	特記仕様書（7）	A - 028	【集会所】平面詳細図（3）	KA - 003	【旧屯所】立面図	S - 008	屋根伏図
A - 008	特記仕様書（8）	A - 029	【集会所】平面詳細図（4）	KA - 004	【旧屯所】建具表	S - 009	母屋伏図
A - 009	材料表（1）	A - 030	【集会所】展開図（1）	KA - 005	【旧屯所】基礎伏図、梁伏図	S - 010	軸組図（1）
A - 010	材料表（2）	A - 031	【集会所】展開図（2）			S - 011	軸組図（2）
A - 011	工事工程表	A - 032	【集会所】展開図（3）			S - 012	軸組図（3）
A - 012	【集会所】案内図、配置図	A - 033	【集会所】展開図（4）			S - 013	軸組図（4）
A - 013	【集会所】LVS検討表	A - 034	【集会所】展開図（5）			S - 014	軸組図（5）
A - 014	【集会所】敷地求積図、面積求積図、各室求積図	A - 035	【集会所】展開図（6）			S - 015	軸組図（6）
A - 015	【集会所】仕上表	A - 036	【集会所】展開図（7）			S - 016	金物伏図、耐力壁配置図
A - 016	【集会所】平面図	A - 037	【集会所】建具伏図			S - 017	部材リスト
A - 017	【集会所】屋根伏図	A - 038	【集会所】建具表（1）			S - 018	土質柱状図
A - 018	【集会所】立面図（1）	A - 039	【集会所】建具表（2）				
A - 019	【集会所】立面図（2）	A - 040	【集会所】建具表（3）				
A - 020	【集会所】断面図（1）	A - 041	【集会所】天井伏図				



株式会社

石川設計

訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-41 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-000	設計
	一級 青森県知事登録 第397号	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R8. 3	図面名称 タイトル、図面リスト	縮尺 NS	1級建築士登録第 219717号 長畑良博

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

15
ユニット及びその他の工事

断熱・防露工事

材料

断熱材のホルムアルデヒド放放量
※F☆☆☆☆

断熱材

断熱材の種類		規格番号	厚さ又は密度等
分類	材料名		
フェルト状断熱材	グラスウール	JIS A 9521	図示
	ロックウール		
ボード状断熱材	グラスウール		
	ロックウール		
	ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	押出法ポリスチレンフォーム		
	硬質ウレタンフォーム		
	ポリエチレンフォーム		
	フェノールフォーム		
インシュレーションファイバー			
ばら状断熱材	グラスウール	JIS A 9523	
	ロックウール		
	セルローズファイバー		
現場発泡断熱材	吹付硬質ウレタンフォームA種I又はA種IH（難燃性を有するもの）	JIS A 9526	

施工箇所
※図示による

断熱材現場発泡工法
断熱の種類
・A種I又はA種IH
吹付け厚さ（mm）
・25 ・30
施工箇所
・図示による

現場発泡断熱材（品質・性能、試験方法は別表による）

防湿材
種類
木造標準仕様書20.2.2(2)による
・(a) ・(b) ・(c)
厚さ
・図示による
施工箇所
・図示による

気密材
種類
木造標準仕様書20.2.2(3)による
・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) ・(f) ・(g)
厚さ
・図示による
施工箇所
・図示による

防風材
種類
※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB
・
厚さ
・図示による
施工箇所
・図示による

断熱材及び防湿層の施工
・充填断熱工法
・外張り断熱工法
防蟻処理
・行う（適用箇所： ）（処理の種類： ）
・行わない
・防湿層の施工
・省略する

各部位の工法
※木造標準仕様書20.2.5(7)から(a)までによる
・

サイディング工事

商業系サイディング工事
サイディング

種類	形状	働き長さ ・働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防 火 耐火性能
図示						

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防露処理種類（ ）

施工
張り方
・縦張り工法 ・横張り工法

換気口部の防水措置
※木造標準仕様書20.3.2(3)(f)(a)①から④による
・図示による

現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
・

・ALCパネル（薄形パネル）工事

フリーアクセスフロア

可動間仕切

可動間仕切

・複合金属サイディング工事
サイディング

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防露処理種類（ ）

施工
張り方
・縦張り工法 ・横張り工法

換気口部の防水措置
※木造標準仕様書20.3.2(3)(f)(a)①から④による
・図示による

現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
・

・薄形パネルの区分

形状による区分	表面加工の有無 による区分	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)
一般パネル	平パネル 意匠パネル	・	・	・
コーナーパネル	平パネル 意匠パネル	・	・	・

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防露処理種類（ ）

施工
パネルの構法
・通気構法 ・直張り構法
パネルの取付け
・横張り工法 ・縦張り構法

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	置敷式 支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床タイ ・タイタベ ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ) (a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（ ）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（ ）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（ ）

帯電防止性能
・評価値 (U) ≥0.6以上
・評価値 (U) ≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁷ Ω
(品質・性能、試験方法は別表による)

(20.2.3)

構造形式による種類		構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
スタッド	パネル	基材	パネル			
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式				・ポリ樹脂焼付又は 77樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による ）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放放量
※F☆☆☆☆

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向 ・二方向	移動式	・手動式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上
	移動式	・電動式			
		・部分電動式			

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による

パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・

ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

(品質・性能は別表による)

トイレブース

手すり

階段滑り止め

黒板及びホワイトボード

鏡

表示

タラップ

煙突ライニング

ブラインド

(20.2.5)

表面材の材料	脚部	ドアエッジ
	種類	材質
メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

(品質・性能、試験方法は別表による)

材料の種類及び仕上げ
(20.2.6)
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2Iによる種別（ ）種）
・アルミニウム 表面処理 （※標準仕様書表14.2.IIによる種別（ ）種）
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）

樹脂被覆
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種： ）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

材種
・ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等）
・タイヤレス型
端部の形状
・フラットエンドあり
・フラットエンドなし
寸法(幅)
・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

(20.2.7)

・黒板及びホワイトボード
(20.2.9)
・黒板
区分
※焼 き 付 け
種類
・鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※ 緑
・ホワイトボード

取付け箇所（ ）
寸法（mm）
・図示による
厚さ（mm）
※5

(20.2.10)

衝突防止表示
・設置する（設置場所：※図示による ・ ）
形状・寸法（ ・30 ・ ）
材質（ ・ステンレス製 ・ ）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）
※図示による

(20.2.11)

材質及び仕上げ
(20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし ）
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2Iによる種別（※C種 ・ 種））

適用安全使用温度
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材）
・

(20.2.13)

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方式の種類	スラットの種類	スラット幅	ギヤ・レールの材種	幅・高さ 取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7×21mm合金製	※25	※鋼製	・図示による ・
	・電動	—				
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7×21スラット ・4×2スラット	・80 ・100	※7×21mm合金製	・図示による ・
	・電動	—				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする

ロールスクリーン

カーテン

カーテンレール

ブラインドボックス及びカーテンボックス

天井点検口

床点検口

耐震スリット

止水板

エキスパンションジョイント金物

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付け 箇所	備考
・ツグ ・ダブ ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示による ・	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

(20.2.16)

材料による区分
※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上げ
※アルマイト
形状
※角形

溝幅×深さ（mm）
・90×150 ・120×80
・120×150 ・150×80
※図示による

材種
・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.IIによる種別
・BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

材種	寸法	形式	外枠	内枠
アルミニウム製 ・	・50×450 ・600×600 ・	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・頭縁タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ

(品質・性能、試験方法は別表による)

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・	・屋内外用 ・屋内用 ・壁付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表による)

目地

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全（金貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地材の材質は標準仕様書表9.7.IIによる

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材(内外とも)
目地寸法（mm）	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.IIによる

形式
・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所
・図示による

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

訂正

〒034-0094 青森県十和田市西二十番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 検印

主任担当 担当 担当 No. 2 5 5 3 - 0 0 工事名 倉岡生活改善センター等改築工事 図面番号 A-007 設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博

一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計 長畑 櫛引 杉山 佐藤 設計年月日 R 8 . 3 図面名称 特記仕様書（7） 縮尺 NS

[illegible]

＜使用材料表 1＞

＜5.2.2＞

○JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材

施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
柱、横架材	杉、松	・甲種構造材 ・甲種Ⅰ ・甲種Ⅱ ・乙種構造材	・1級 ・2級 ・3級		・SD15 ・SD20		・
							・
							・

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種名	等級 (曲げ性能)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ・SD20		・
						・
						・

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級と曲げヤング係数)

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング係数 (Gpa又は10 ⁴ N/?)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・1等 ・2等		・D10 ・D13		・
						・
						・

・加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材：)

・無等級材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	強度試験	材面の品質	間伐材等の適用
					・JAS 1083-4 製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 (対象部材：) ・縦振動ヤング係数測定 (対象部材：)	・JAS 1083-4 製材 - 第4部・機械等級区分構造用製材	・
							・
							・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材

施工箇所	樹種名	区分	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

○JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
胴縁、垂木、野縁、間柱等	杉	・1級 ・2級		・SD15 ・SD20		・
						・
						・

○「集成材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	保存処理	間伐材等の適用
梁	松	・1種・2種・3種	・A ・B ・C					・
								・
								・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・1等 ・2等	・
							・
							・

・JAS 0600Iに基づく甲種枠組材

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法 型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・特級 ・1級 ・2級 ・3級	・
						・
						・

・JAS 0600Iに基づく乙種枠組材

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法 型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・
						・
						・

・JAS 0600Iに基づくMSR枠組材

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法 型式名 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
	MSR				・未乾燥材 ・乾燥材	・
						・
						・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法 型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・
						・

・JAS 0600Iに基づくたて枠用たて継ぎ材

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用
	たて枠用たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600Iに基づく甲種たて継ぎ材

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名 (mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600Iに基づくMSRたて継ぎ材

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法 型式名 (mm)	間伐材等の適用
	MSRたて継ぎ材				・
					・
					・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法 型式名 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材

施工箇所	品名	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	曲げ性能 (「曲げヤング」係数区分)	水平せん断 区分	保存処理	間伐材等の適用
	・A種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分 () 等級 ・特級・1級・2級			・
	・B種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分 ()			・
								・

・丸太材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

・加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。
(対象部材：)

・木質接着成形軸材材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質複合軸材材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・JAS 3079Iに基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
	・異等級構成直交集成材 ・同一等級構成直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・
							・
							・

＜使用材料表 2＞

＜5.2.3＞

・構造用パーティクルボード

施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

・構造用MDF

施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	防虫処理 の適用	単板の樹種名	間伐材等の適用
野地板	構造用合板	12	○ 類 ・特類	・2級 ・1級			・適用する () ・適用しない		・
									・
									・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用合板		・1類 ・特類		・
					・
					・

・JAS 0360Iに基づく構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用
	構造用パネル		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	・
				・
				・

・パーティクルボード

施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

・ハードファイバーボード

施工箇所	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・バルブセメントボード

施工箇所	種類		厚さ (mm)	備考
	かさ密度による区分	化粧加工の有無による区分		
	・0.9板 ・0.9板	・普通板 ・化粧板		

・JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材

施工箇所	品名	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	曲げ性能 (「曲げヤング」係数区分)	水平せん断 区分	保存処理	間伐材等の適用
	・A種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分 () 等級 ・特級・1級・2級			・
	・B種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分 ()			・
								・
								・

・国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

＜使用材料表 9＞

＜10. 2. 2＞

・ JAS 1083-5 製材：第5部にに基づく下地用製材

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・ 1級 ※2級		・ SD15 ・ SD20		・
						・
						・

・ JAS 1083-2 製材：第2部にに基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節				・
見え掛り面以外		※小節以上				・
						・

・ JAS 1083-6 製材～第6部にに基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・ 特等 ※1等 ・ 2等		※10以下 ・ 13以下		・
						・
						・

・ JAS 1083（製材）以外の下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・
								・
								・

・ JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	・
								・
								・

・ JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	・
								・
								・

・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・ 2等	・
						・
						・
						・

・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成材	芯材： 化粧薄板：				※1等 ・ 2等	・
							・
							・

・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・ 1等 ・ 2等	・
							・
							・

・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
				※15以下	・
					・
					・

・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
	芯材： 化粧薄板：				※15以下 ・	・
						・
						・

・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成柱

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
					※15以下 ・	・
						・
						・

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	造作用単板積層材		・ 無（ ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等） ・ 有（ ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工）	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
					・
					・

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・ 無（ ） ・ 有（ ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工）	※14以下 ・	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
					・
					・

・ JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
	・ 異等級構成直交集成材 ・ 同一等級構成直交集成材		・ A種構成 ・ B種構成	・ A ・ B ・ C			・
							・
							・

＜使用材料表10＞

＜10. 2. 3＞

○「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理の適用	間伐材等の適用
押入	普通合板	※5. 5 ○9. 0 ○12. 0	※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※0-0以上		・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
							・
							・

※湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を1類とする。

・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	防虫処理の適用	単板の樹種名	間伐材等の適用
	構造用合板	※12 ・	※1類以上 ・ 特類	※2級以上 ・ 1級	※0-0以上 ・		・ 適用する （ ） ・ 適用しない		・

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用合板			・ 特類 ・ 1類	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
						・
						・

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	天然木化粧合板		・ 1類 ・ 2類		・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
						・
						・

・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	特殊加工化粧合板		・ 1類 ・ 2類	・ F ・ FW ・ W ・ SW		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・	・ 適用する （ ） ・ 適用しない	・
								・
								・

・ パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
			・ Pタイプ ・ Mタイプ	・ 15	・
					・
					・

・ JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ (mm)	曲げ性能（等級） （ ・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
	構造用パネル		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	・
				・
				・

・ MDF

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

工事区分表

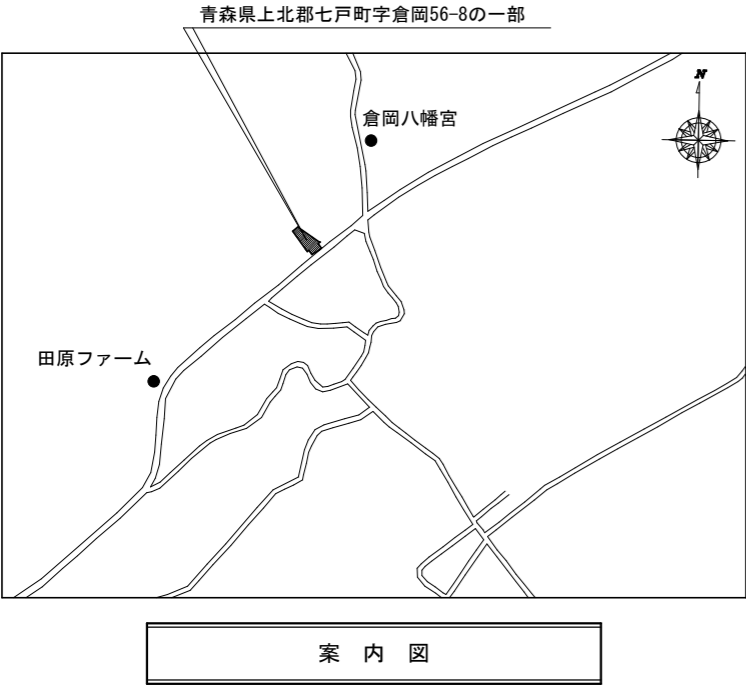
(他工事との取合い等)

区分は○印を適用する

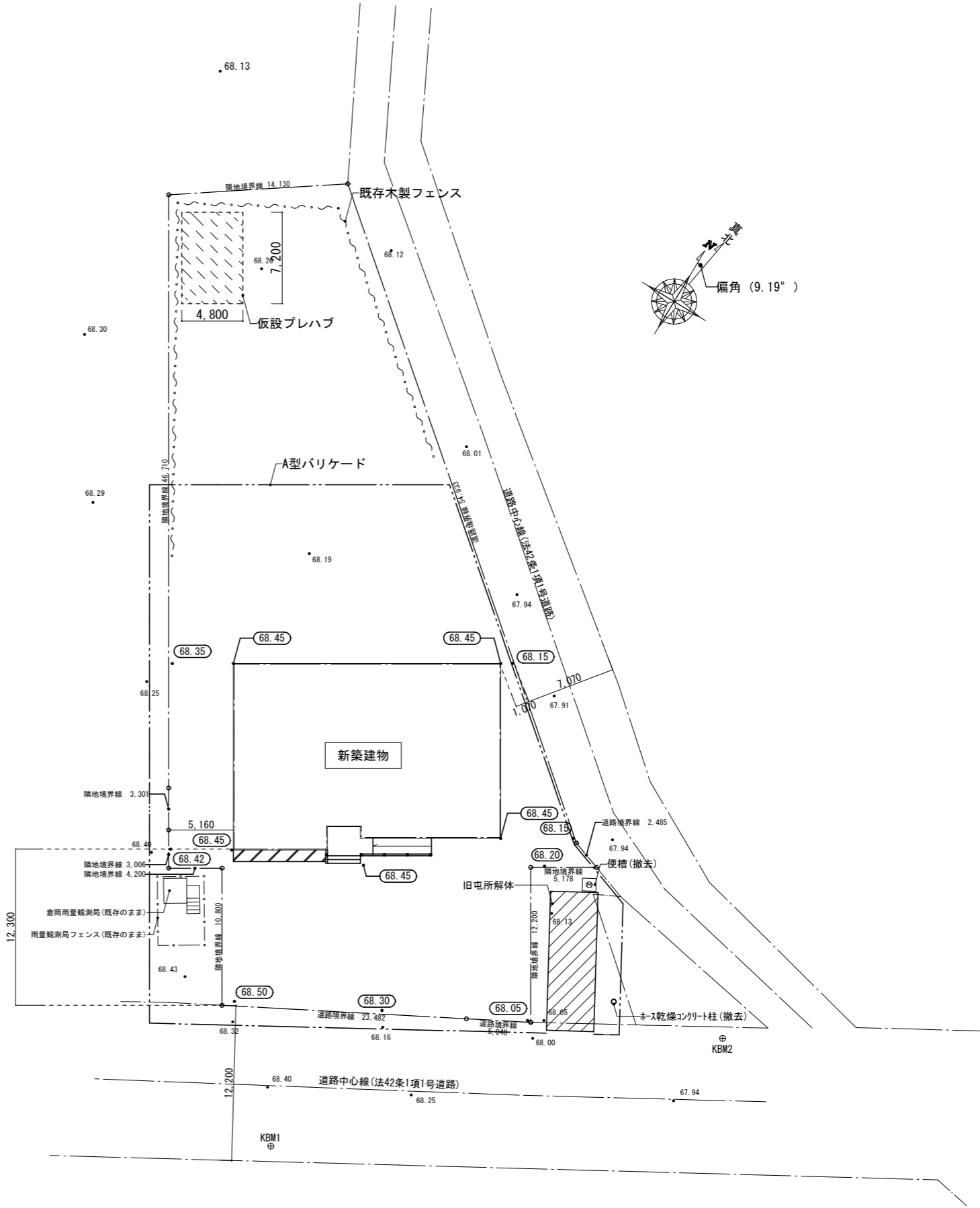
A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 EV エレベーター設備工事

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

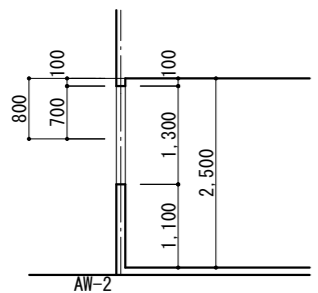
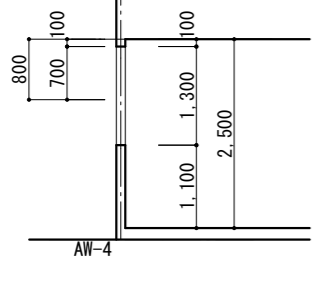
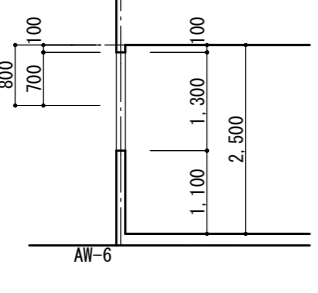
	項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		
躯体関係	RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○		事務所廻り	ユニットバス・シャワーユニット			○				自家発電設備	エレベーター設備	機械室・昇降路の躯体	○						
		貫通スリーブの補強	○						既製浴槽			○						機械室の床開口	○						
		開口部の型枠・補強	○						コンクリート浴槽	○								機械室の床配管ビット・蓋	○						
		貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			浴槽排水金物			○						機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○						
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画		洗濯機パン			○						巻上機周囲のチェッカープレート敷				○			
									フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○								昇降路内ビット防水	○						
									フリーアクセスフロア給排気グリル	○								ビット点検トラップ				○			
									フリーアクセスフロアコンセント		○							各階出入口穴あけ・同補強	○						
									壁・天井空調用給排気グリル			○						三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○			
									感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○								昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○						
S・SRC造（梁壁・床）の貫通孔開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	貫通スリーブ	○	○	○	○		その他	消火器ボックス	○					ボード類、塗装のみ	電気配管配線	エレベーター設備	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○			
		貫通スリーブの補強	○						表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上	○					M・E用含む			昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○						
		開口部の型枠・補強	○						駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ		○				レールヒータ用の手元スイッチを含む			機械室天井・昇降路内フック取付	○						
		貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○								ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○						
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画		駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管		○							機械室内換気設備				○			
		予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画		同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○								エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（AC3相 200V50Hz）				○			
									電動スクリーン用ボックス	○								エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事（AC単相 100V50Hz）				○			
									電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線	○								エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（D種接地）				○			
									同上用1次配線及び1次・2次配管		○							エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事				○			
									避雷導体の接続			○						エレベーター制御盤から非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事						○	
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台	基礎	○					その他	笠木を横上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○						エレベーター設備	エレベーター設備	エレベーター制御盤までの配線及びインターホン取付工事							
		太陽光発電設備基礎	○						ルーフドレン及びびたでい	○								エレベーター制御盤までの館内放送用配管配線工事				○			
		太陽光発電設備架台		○					煙突の水抜き管（排水管）	○								エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配線工事（MD Fからエレベーター制御盤まで）※図示された場合				○			
									地震感知器の配管配線			○						エレベーター監視盤又は警報盤までの配管配線工事						○	
									防護ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線		○							エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事						○	
									同上本体・検出装置（センサー）	○								緊急地震速報受信用配管工事				○			
									雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水桝までM）	○		○						昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事				○			
																		ビット内点検用コンセント設備工事				○			
																		エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）							

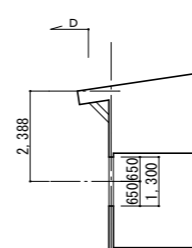
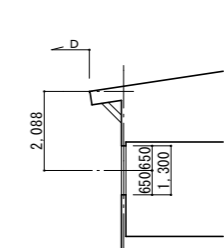
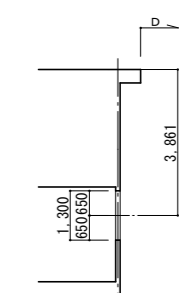


〈 建築計画概要 〉		
建築場所	青森県上北郡七戸町字倉岡56-8の一部	
用途地域	無指定地域	
防火指定	指定なし	
容積率	200%	
建ぺい率	70%	
敷地面積	1,536.89㎡	
工事種別	新築	解体
用途	その他建築物(地区集会所)	屯所
構造	木造 平屋建て	木造 平屋建て
耐火建築物等	なし	なし
建築面積	303.49㎡	39.74㎡
延べ面積	289.83㎡	39.74㎡
最高の高さ	6.650m	3.720m
最高の軒高	4.260m	3.615m
凡 例	±0	計画地盤高さを示す
	±0	現況地盤高さを示す
		解体対象建築物
		A型バリケード(参考数量：146m)
		仮設プレハブ ※家具等の移設作業が終了後に撤去する。 (家具等の移設作業は本工事外) ※設置費は先行工事で行うものとし、本工事に含まない。 撤去費、損料等撤去までにかかる費用は、本工事に含むものとする。 参考品番：スーパース72型連棟式
備考		



配置図 S = 1 / 4 0 0

室名・開口部断面	採光計算 (㎡)	換気計算 (㎡)	排煙計算 (㎡)
待機室 20.70㎡ 	必要開口面積 20.70×1/20=1.0350 有効開口面積 幅 高 ヲ所 係数 AW-2 1.65 × 1.30 × 1 × 3.0 = 6.435 1.0350 < 6.435 ∴ OK	必要開口面積 20.70×1/20=1.0350 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-2 0.70 × 1.30 × 2 = 1.82 1.0350 < 1.82 ∴ OK	必要開口面積 20.70×1/50=0.4140 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-2 0.70 × 0.70 × 2 = 0.98 0.4140 < 0.98 ∴ OK
調理室 42.23㎡ 	必要開口面積 42.23×1/20=2.1115 有効開口面積 幅 高 ヲ所 係数 AW-4 1.65 × 1.30 × 1 × 3.0 = 6.435 2.1115 < 6.435 ∴ OK	必要開口面積 42.23×1/20=2.1115 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-4 0.70 × 1.30 × 2 = 1.82 AW-5 0.70 × 1.30 × 1 = 0.91 合計 2.73 2.1115 < 2.73 ∴ OK	必要開口面積 42.23×1/50=0.8446 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-4 0.70 × 0.70 × 2 = 0.98 AW-5 0.70 × 0.70 × 1 = 0.49 合計 1.47 0.8446 < 1.47 ∴ OK
集会室 81.15㎡ 	必要開口面積 81.15×1/20=4.0575 有効開口面積 幅 高 ヲ所 係数 AW-6 1.65 × 1.30 × 2 × 3.0 = 12.87 4.0575 < 12.87 ∴ OK	必要開口面積 81.15×1/20=4.0575 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-6 0.70 × 1.30 × 6 = 5.46 4.0575 < 5.46 ∴ OK	必要開口面積 81.15×1/50=1.6230 有効開口面積 幅 高 ヲ所 AW-6 0.70 × 0.70 × 6 = 2.94 1.6230 < 2.94 ∴ OK

A	B	C
待機室 (D/2.388) × 10 - 1.0 ≥ 3.0 (D/2.388) × 10 ≥ 3.0 + 1.0 D ≥ 4.0 × 2.388/10 D ≥ → 0.9552以上 ∴採光補正係数 : 3.0 	調理室 (D/2.088) × 10 - 1.0 ≥ 3.0 (D/2.088) × 10 ≥ 3.0 + 1.0 D ≥ 4.0 × 2.088/10 D ≥ → 0.8352以上 ∴採光補正係数 : 3.0 	集会室 (D/3.861) × 10 - 1.0 ≥ 3.0 (D/3.861) × 10 ≥ 3.0 + 1.0 D ≥ 4.0 × 3.861/10 D ≥ → 1.5444以上 ∴採光補正係数 : 3.0 

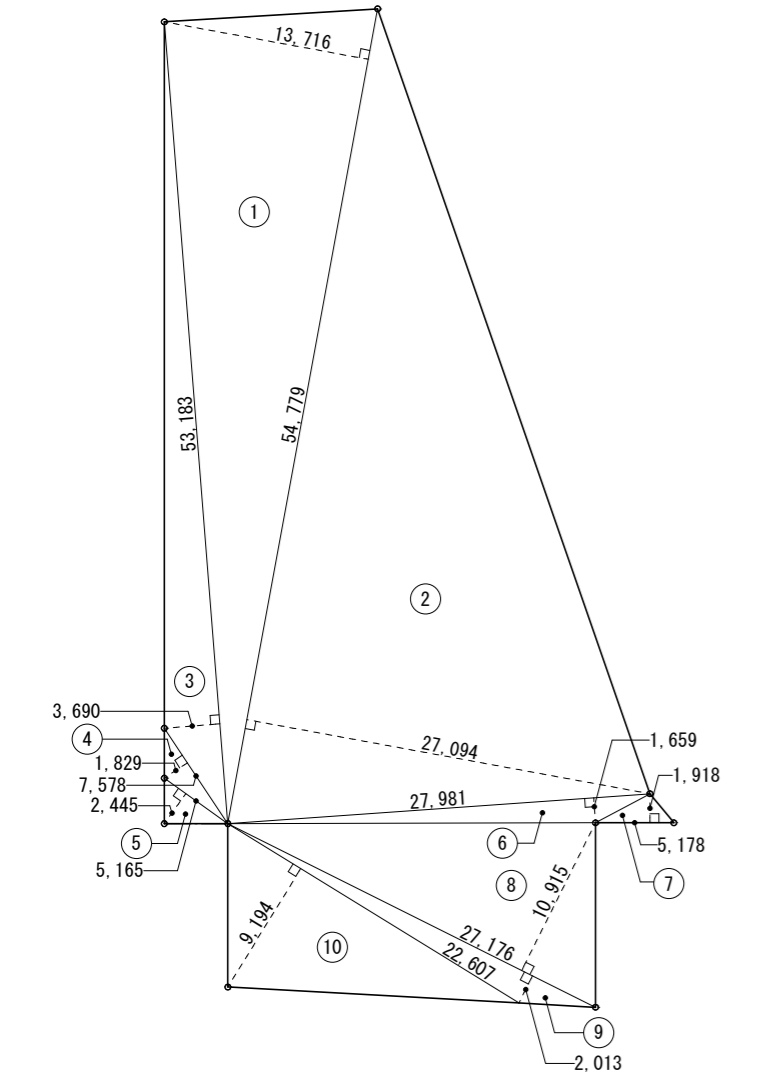
A

B

C

【採光補正係数算定】 用途地域・・・無指定
算定式・・・(D/H) × 10 - 1.0 ≥ 3.0
※いずれも境界又は他建築物との離れ D は計算結果の数値以上の寸法を確保しているため、採光補正係数は 3.0 とする

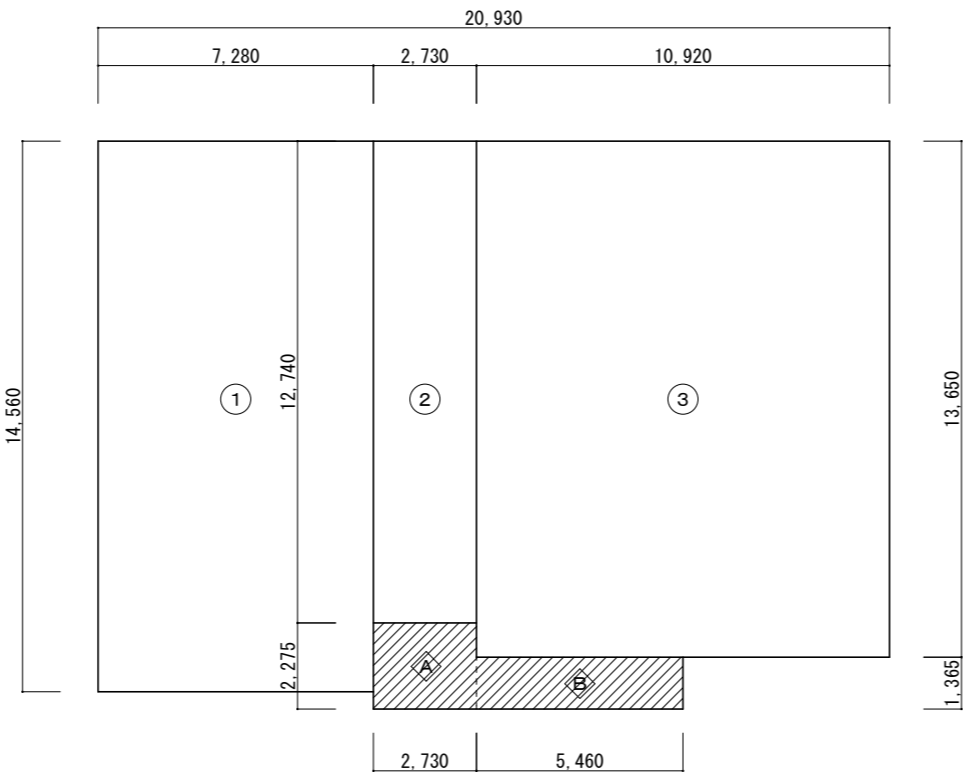
消防法による無窓階の判定						
床面積 (A) ㎡ 289.83		必要開口面積 ㎡ (A/30)=9.66		有効開口面積 ㎡ 16.57		算定結果 (普)・無
建具記号	開口部 位置 方位	床からの 高さ(m)	幅 × 高さ × ヲ所	開口部 面積(㎡)	開口部 種別	ガラス種別
AD-1	南	0.00	0.85 × 2.0 × 1	1.700	引違戸	強化'ラスト=5+A6+強化カ'ラスト=5
AD-2	南	0.00	1.00 × 2.0 × 1	2.00	親子戸	フロート'ラスト=4+A6+フロート'ラスト=3
AW-6	東・南	1.10	1.65 × 1.3 × 6	12.87	引違窓	フロート'ラスト=3+A6+フロート'ラスト=3
計				16.57		
鍵、クレセントはFL+1,500以下						



敷地求積図 S = 1 / 5 0 0

[敷地面積計算表]

符 号	計 算 式	面積 (㎡)
①	54.779 × 13.716	751.3487
②	54.779 × 27.094	1,484.1822
③	53.183 × 3.690	196.2452
④	7.578 × 1.829	13.8601
⑤	5.165 × 2.445	12.6284
⑥	27.981 × 1.659	46.4204
⑦	5.178 × 1.918	9.9314
⑧	27.176 × 10.915	296.6260
⑨	27.176 × 2.013	54.7052
⑩	22.607 × 9.194	207.8487
	合計	3,073.7963
	×1/2	1,536.8981
	改め	1,536.89



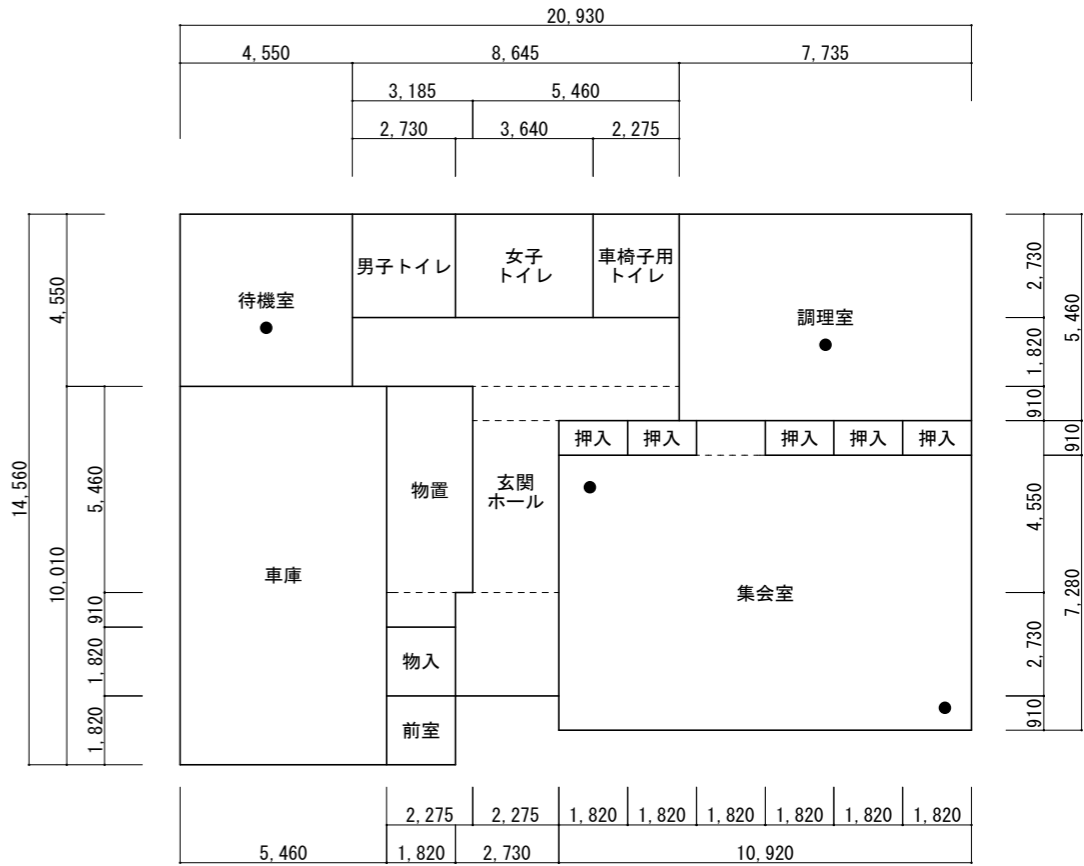
建物面積求積図 S = 1 / 2 0 0

〈 延床面積計算表 〉

室 名	計 算 式	面積(㎡)
①	7.280 × 14.560	105.99680
②	2.730 × 12.740	34.78020
③	10.920 × 13.650	149.05800
延べ床面積	計	289.83500
	改め	289.83

〈 建築面積計算表 〉

室 名	計 算 式	面積(㎡)
◇A	2.730 × 2.275	6.21075
◇B	5.460 × 1.365	7.45290
延べ床面積		289.83500
建築面積	計	303.49865
	改め	303.49



●：化学物質の濃度測定箇所を示す。

各室面積求積図 S = 1 / 2 0 0

[室面積計算表]

室 名	計 算 式	面積 (㎡)	改め (㎡)
車庫	5.460 × 10.010	54.65460	54.65
前室	1.820 × 1.820	3.31240	3.31
待機室	4.550 × 4.550	20.70250	20.70
物入	1.820 × 1.820	3.31240	3.31
物置	2.275 × 5.460	12.42150	
	1.820 × 0.910	1.65620	
		計 14.07770	14.07
玄関・ホール	8.645 × 1.820	15.73390	
	5.460 × 0.910	4.96860	
	2.275 × 4.550	10.35125	
	2.730 × 2.730	7.45290	
		計 38.50665	38.50
男子トイレ	2.730 × 2.730	7.45290	7.45
女子トイレ	3.640 × 2.730	9.93720	9.93
車椅子用トイレ	2.275 × 2.730	6.21075	6.21
調理室	7.735 × 5.460	42.23310	42.23
押入	1.820 × 0.910 × 5	8.2810	8.28
集会室	10.920 × 7.280	79.49760	
	1.820 × 0.910	1.65620	
		計 81.15380	81.15

外部仕上表

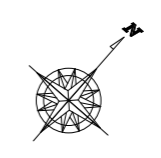
屋 根	軒 裏	外 壁
・カラーガルバリウム鋼板t=0.4 立平葺 アスファルトルーフィング940 構造用合板t=12	・無石綿セメント板t=5（塗装品）	・窯業系サイディングA t=16 縦張（塗装品）（金具留め工法） 同質出隅 通気横胴縁18×45@455 透湿防水シート ・窯業系サイディングB t=16 縦張（塗装品）（金具留め工法） 同質出隅 通気横胴縁18×45@455 透湿防水シート
開 口 部	根 廻 り	備 考
・アルミ樹脂複合サッシ ・スチール製オーバースライダー	・コンクリート打放補修	・ポーチ床：耐凍害性100角タイル ・スロープ：耐凍害性100角ノンスリップタイル ・車庫前タタキ：コンクリート金ゴテ仕上げ ・見え掛木部：WP塗（2回）

内部仕上表

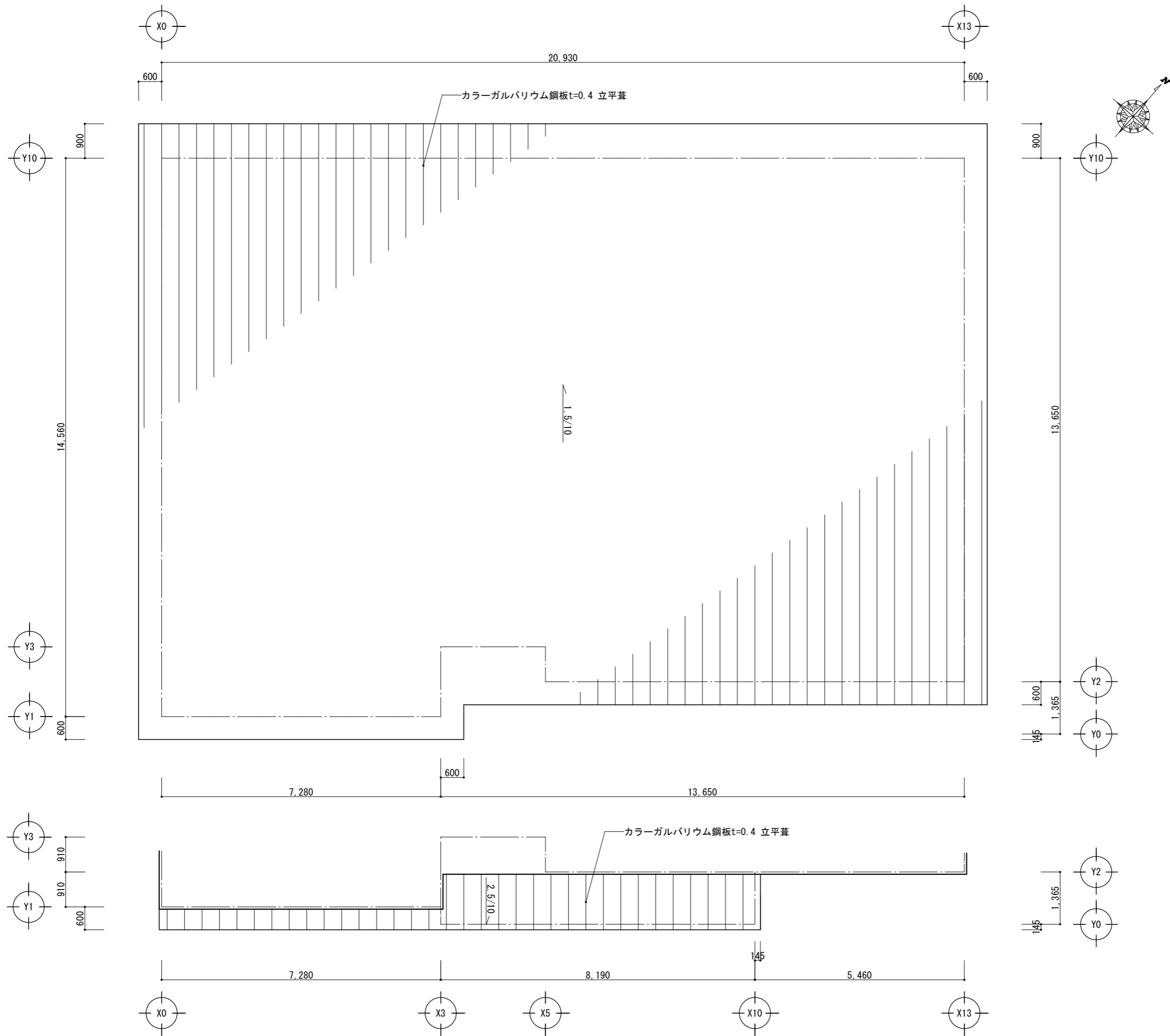
No	室 名	床		巾 木		No.	壁		No.	天 井		廻 縁	天 井 高	備 考	No.	室 名
		下 地	仕 上	仕 上	高さ		下 地	仕 上		下 地	仕 上	仕 上				
1	玄関	モルタル下地	耐凍害性100角タイル	ビニル巾木	60	1	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼 一部構造用合板t=9.0、GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼	1	木下地	GB-Rt=9.5下地の上、DRt=9.0	塩ビ製廻縁	2,510	下足入れ、手すり、 玄関用収納椅子	1	玄関
	ホール	コンクリート下地	複合フローリングt=15（直貼）	ビニル巾木	60		木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼		木下地	GB-Rt=9.5下地の上、DRt=9.0	塩ビ製廻縁	2,500	トロフィー棚		ホール
2	物置	コンクリート下地	複合フローリングt=15（直貼）	ビニル巾木	60	2	木下地	GB-Dt=12.5（押入用）	2	木下地	GB-Dt=9.5（押入用）	塩ビ製廻縁	2,500	造作棚	2	物置
3	男子トイレ	コンクリート下地	ビニル床シートt=2.0（抗菌） 小便器部分：セラミック汚垂石t=6.0	ビニル巾木	60	3	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼	3	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	上棚、防錆鏡	3	男子トイレ
4	女子トイレ	コンクリート下地	ビニル床シートt=2.0（抗菌）	ビニル巾木	60	4	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼	4	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	上棚、防錆鏡	4	女子トイレ
5	車椅子用トイレ	コンクリート下地	ビニル床シートt=2.0（抗菌）	ビニル巾木	60	5	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼	5	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	防錆鏡、はね上げ手すり、 L型手すり	5	車椅子用トイレ
6	調理室	コンクリート下地	ビニル床シートt=2.0（抗菌）	ビニル巾木	60	6	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼 一部GB-Rt=12.5下地の上、化粧ケイカル板t=3.0	6	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	作業台、流し台、コンロ台	6	調理室
7	集会室	コンクリート下地	複合フローリングt=15（直貼）	ビニル巾木	60	7	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、無機質壁紙貼	7	木下地	GB-Rt=9.5下地の上、DRt=9.0	塩ビ製廻縁	2,500	ピクチャーレール	7	集会室
8	押入	コンクリート下地	ラワン合板t=9.0	雑巾摺	20	8	木下地	GB-Dt=12.5（押入用）	8	木下地	GB-Dt=9.5（押入用）	塩ビ製廻縁	2,500 2,025	棚	8	押入
9	車庫	コンクリート下地	コンクリート金ゴテ仕上	コンクリート打放し補修	300	9	木下地	0.8FKt=8.0 目透張 EP	9	木下地	0.8FKt=6.0 目透張 EP	塩ビ製廻縁	3,450～3,500	造作棚	9	車庫
10	前室	コンクリート下地	コンクリート金ゴテ仕上	コンクリート打放し補修	300	10	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、ビニルクロス貼	10	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	－	10	前室
11	物入	コンクリート下地	コンクリート金ゴテ仕上	コンクリート打放し補修	300	11	木下地	GB-Dt=12.5（押入用）	11	木下地	GB-Dt=9.5（押入用）	塩ビ製廻縁	2,500	－	11	物入
12	待機室	コンクリート下地	コンクリート金ゴテ仕上	コンクリート打放し補修	300	12	木下地	GB-Rt=12.5下地の上、ビニルクロス貼 一部GB-Rt=12.5下地の上、化粧ケイカル板t=3.0	12	木下地	GB-Dt=9.5	塩ビ製廻縁	2,500	流し台、ピクチャーレール	12	待機室

備考

□略記号表 GB-R … 石膏ボード GB-D … 化粧石膏ボード 0.8FK … 0.8けい酸カルシウム板（T-2） DR … ロックウール化粧吸音板 EP … 合成樹脂エマルションペイント塗 OS … オイルステン塗 WP … 木材保護塗料塗	□材料メーカー（参考） 窯業系サイディング：ケイミー 材ロック・親水16シリーズ 同等品以上 軒天材：ニハ 軒天5 インボス調 同等品以上 スチール製埋込型消火器BOX：UFB-1F-2204-PWH 同等品以上 スチール製床置型消火器BOX：UFB-3F-2401-PWH 同等品以上 木製カーテンBOX：DAIKEN カテンボックスセット 同等品以上 玄関収納椅子：杉田エース 玄関用収納チェア 同等品以上 外部樹脂被覆手すり：YKK AP ハルナーUD 同等品以上 フラット型付ガラス：神栄ホームクリエイト SK-SGH150 同等品以上 雪囲い金物：JIGハナダ 雪囲い金物 同等品以上
□防火認定材料表 GB-Rt=12.5〔参考：NM-8619〕 GB-Dt=9.5〔参考：QM-9824〕 GB-Dt=12.5（押入用）〔参考：NM-0530〕 GB-Dt=9.5（押入用）〔参考：QM-0172〕 ビニルクロス〔準不燃材料認定品以上〕 無機質壁紙〔準不燃材料認定品以上〕 0.8FK〔参考：NM-2773〕	□小屋裏隔壁：建築基準法施行令第114条3項二号により免除。

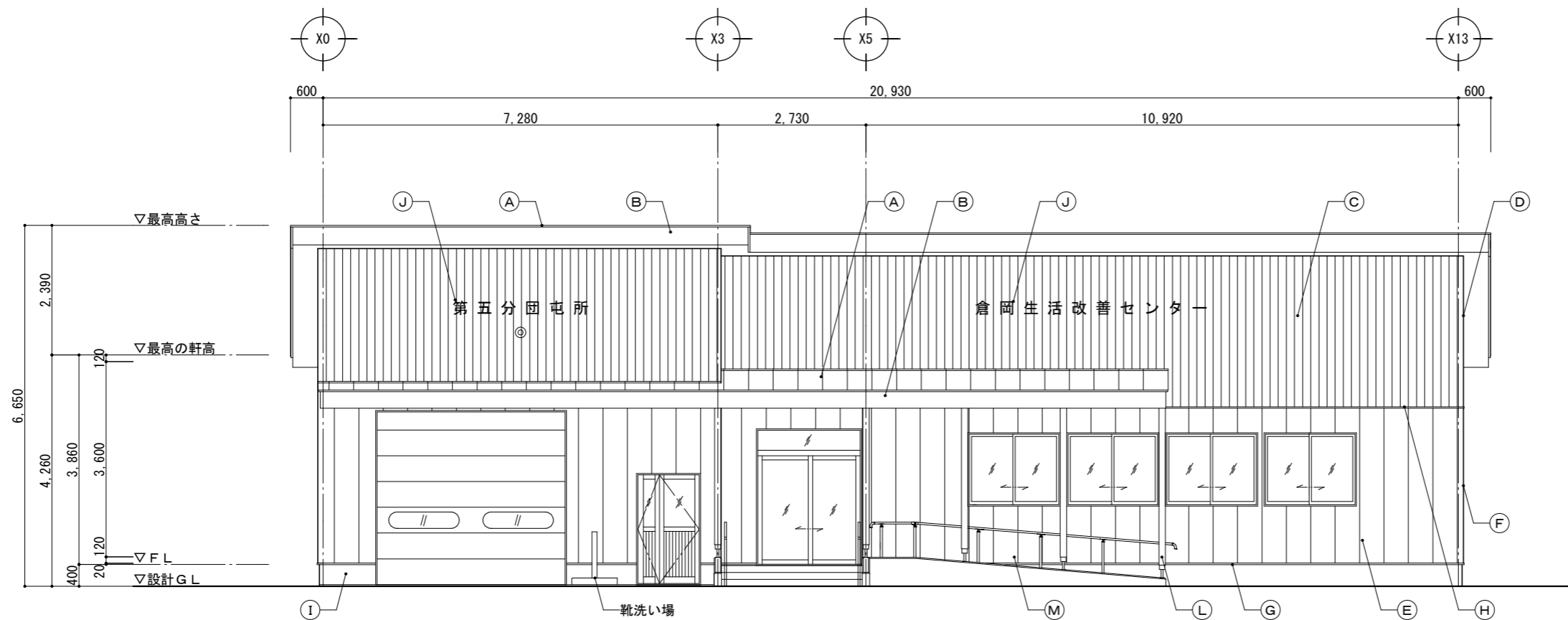


平面図 $S=1/100$

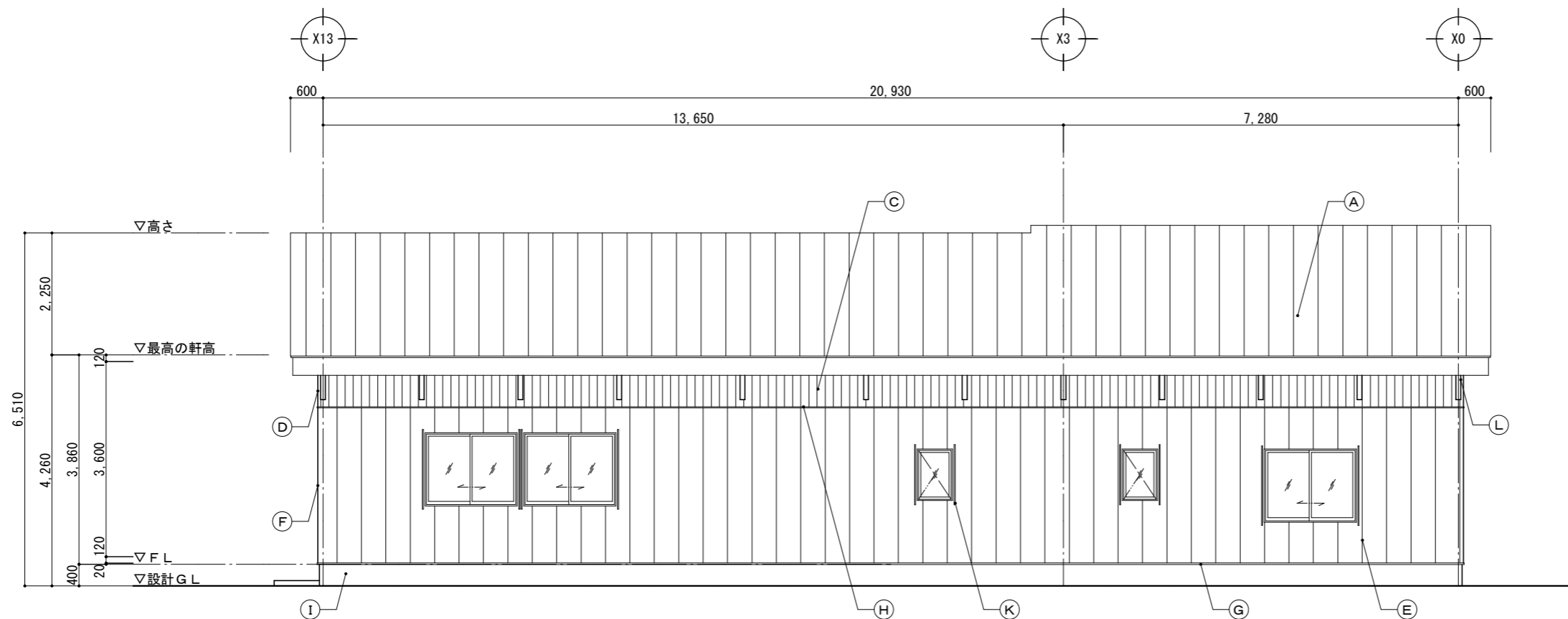


屋根伏図 S = 1 / 100

訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 一級 青森県知事登録 第397号	 株式会社 石川設計	検印 長畑	主任担当 柳引	担当 杉山	担当 佐藤	No. 2553-00 設計年月日 R8. 3	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事 【集会所】屋根伏図	図面番号 A-017	設計 長畑良博 1級建築士登録第 219717号
									縮尺 1/100	

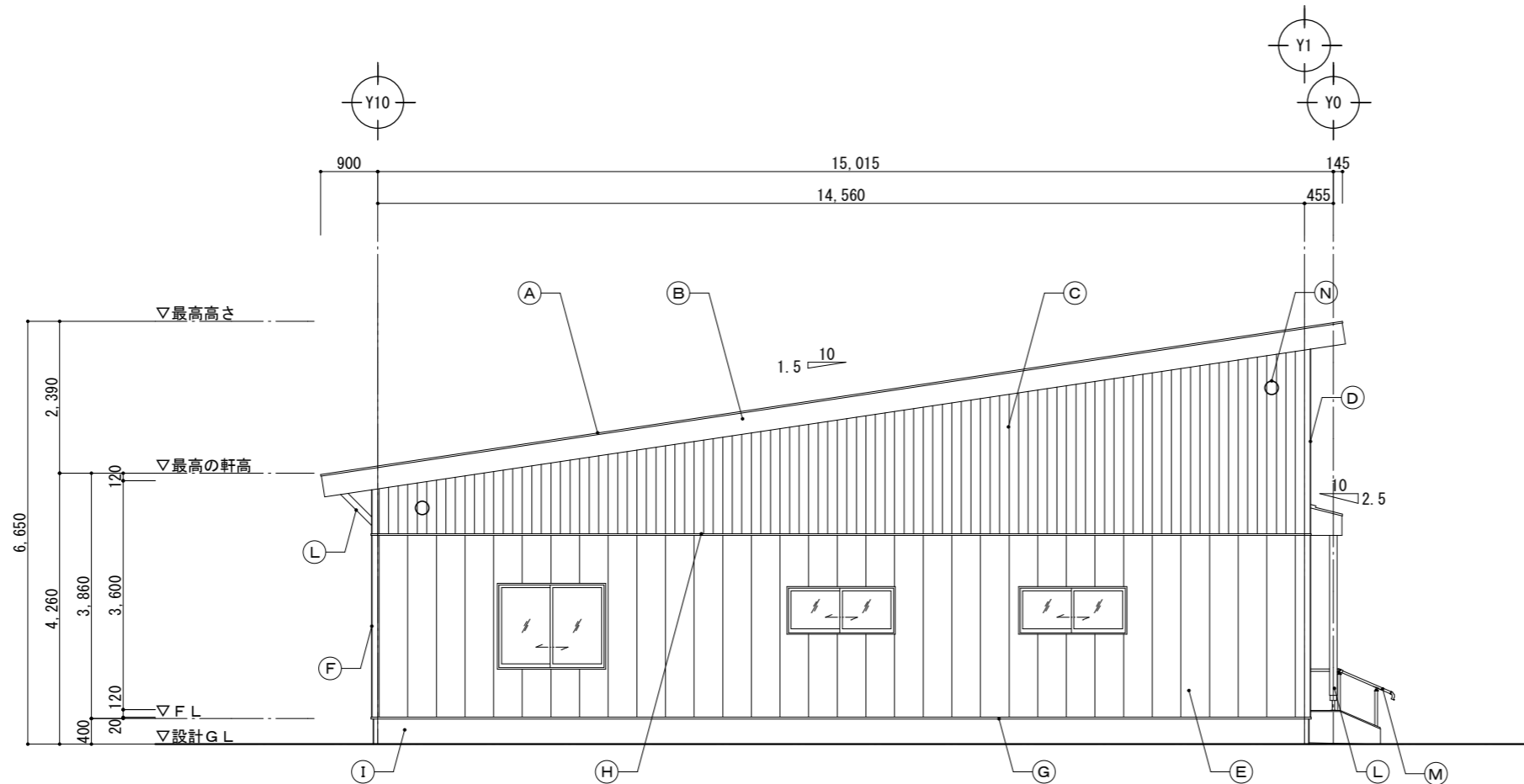


南側立面図 S=1/100

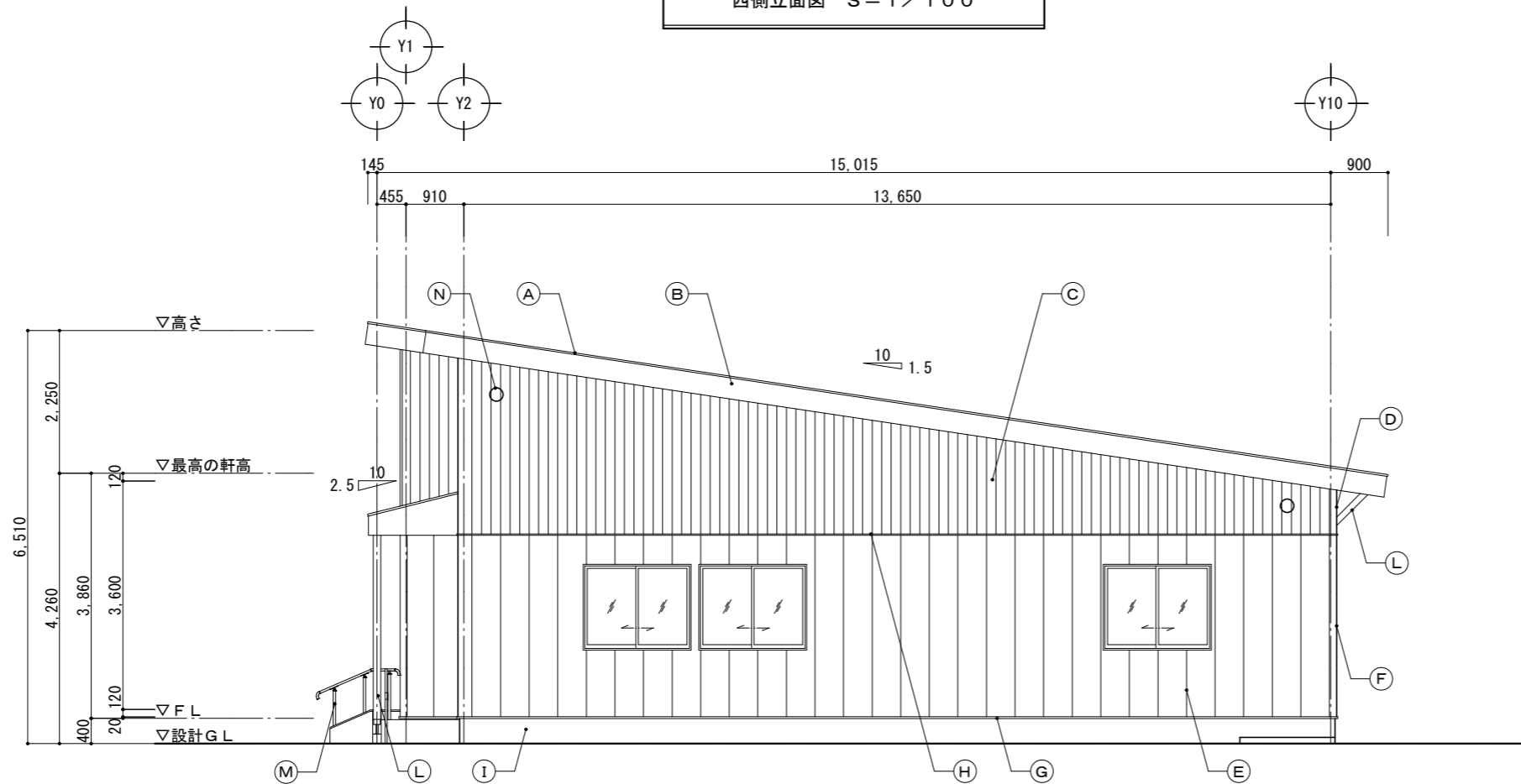


北側立面図 S=1/100

記号	仕 上
Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 立平葺
Ⓑ	鼻隠し、破風：カラーガルバリウム鋼板t=0.4包み
Ⓒ	外壁：窯業系サイディングA t=16 縦張(塗装品)
Ⓓ	外壁：窯業系サイディング 同質出隅(塗装品)
Ⓔ	外壁：窯業系サイディングB t=16 縦張(塗装品)
Ⓕ	外壁：窯業系サイディングB 同質出隅(塗装品)
Ⓖ	土台水切：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 加工
Ⓗ	見切：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 加工
Ⓘ	根廻り：コンクリート打放補修
Ⓙ	館名文字：亚克力板切り文字 200×200
Ⓚ	スチール製雪囲い金物(W19)
Ⓛ	見えがかり木部：WP塗(2回)
Ⓜ	樹脂被覆手すりφ38
Ⓝ	フラット型フード付ガラリφ215

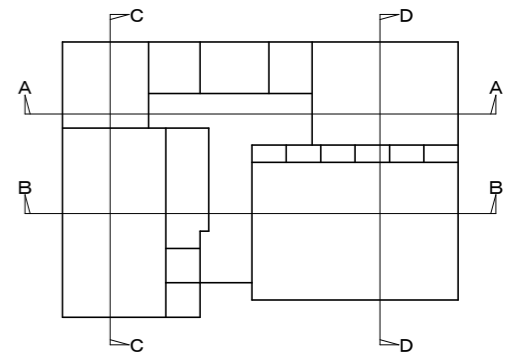
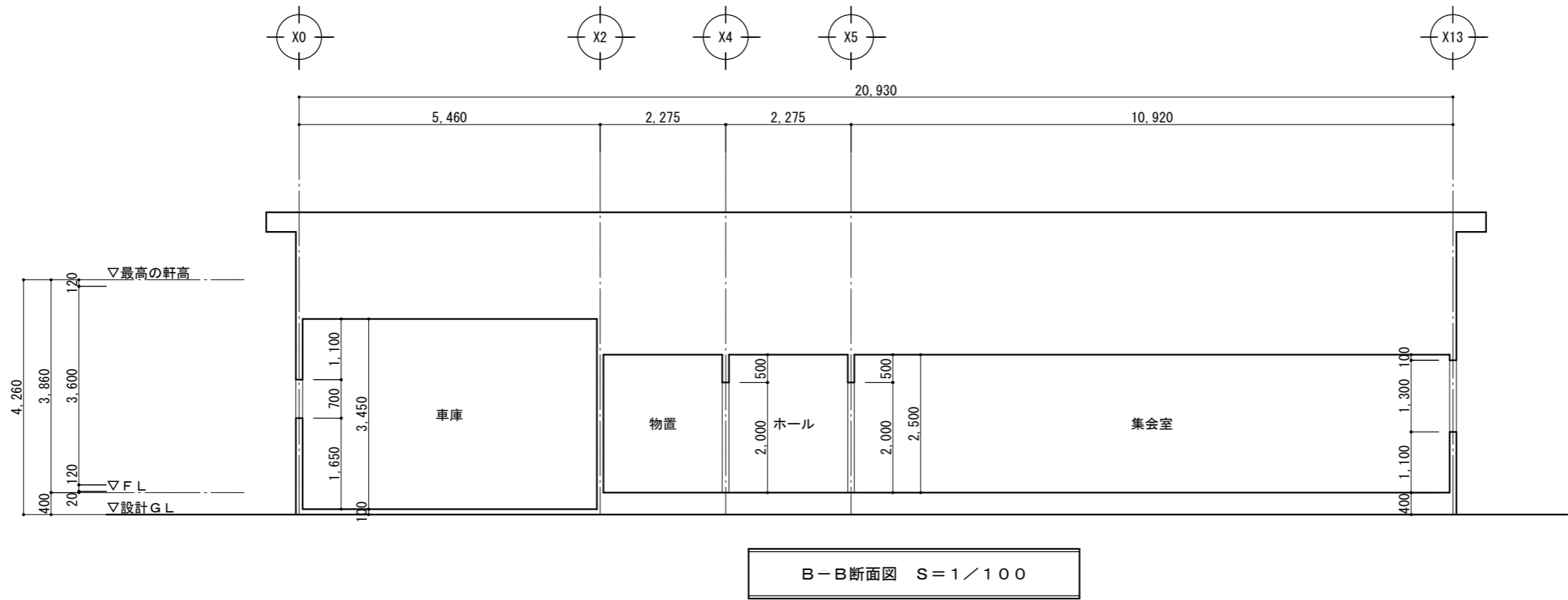
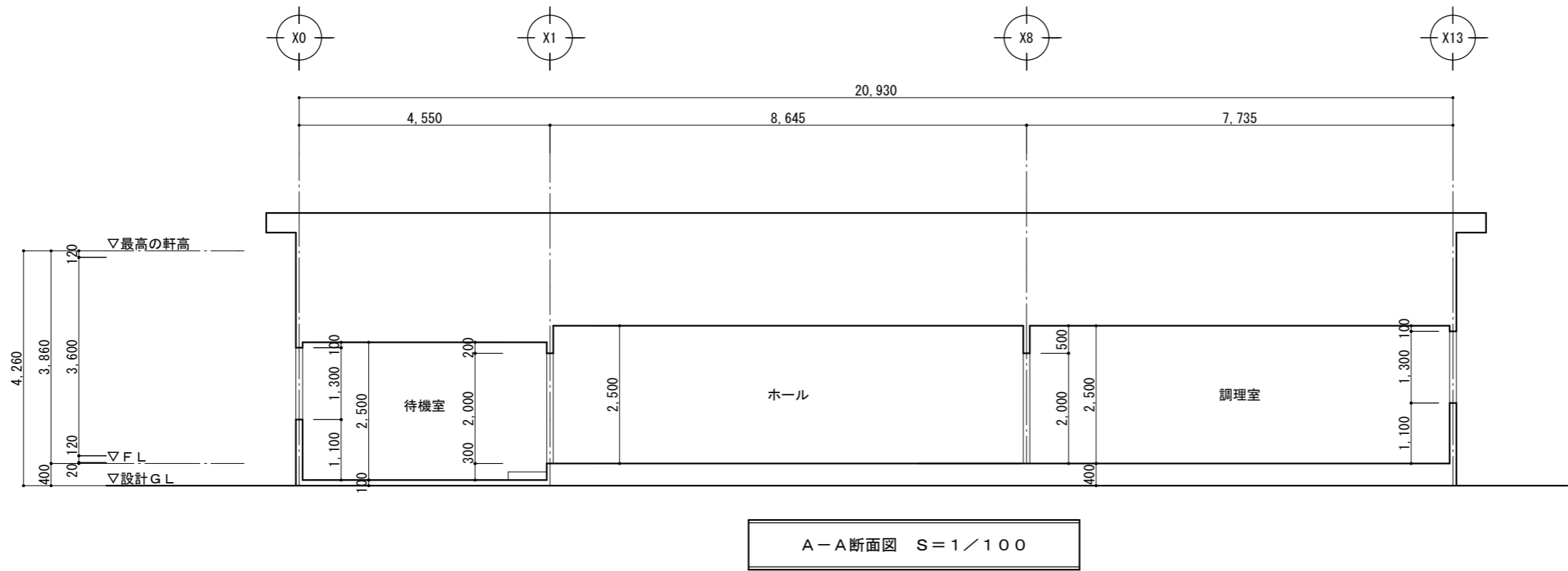


西側立面図 S = 1 / 1 0 0



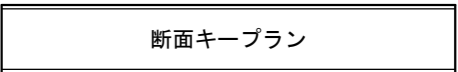
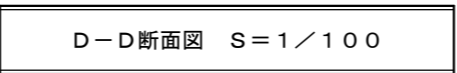
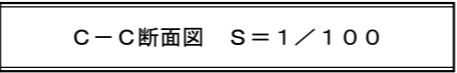
東側立面図 S = 1 / 1 0 0


記号	仕 上
Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 立平葺
Ⓑ	鼻隠し、破風：カラーガルバリウム鋼板t=0.4包み
Ⓒ	外壁：窯業系サイディングA t=16 縦張(塗装品)
Ⓓ	外壁：窯業系サイディング 同質出隅(塗装品)
Ⓔ	外壁：窯業系サイディングB t=16 縦張(塗装品)
Ⓕ	外壁：窯業系サイディングB 同質出隅(塗装品)
Ⓖ	土台水切：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 加工
Ⓗ	見切：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 加工
Ⓘ	根廻り：コンクリート打放補修
Ⓙ	館名文字：アクリル板切り文字 200×200
Ⓚ	スチール製雪囲い金物(W19)
Ⓛ	見えがかり木部：WP塗(2回)
Ⓜ	樹脂被覆手すりφ38
Ⓝ	フラット型フード付ガラリφ215

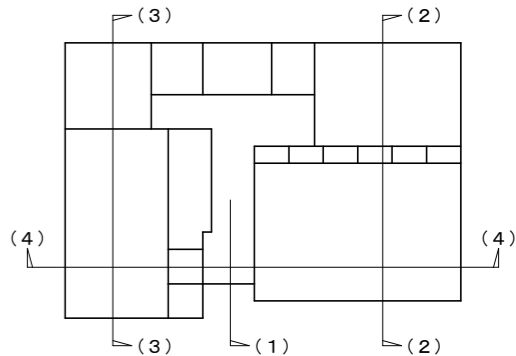
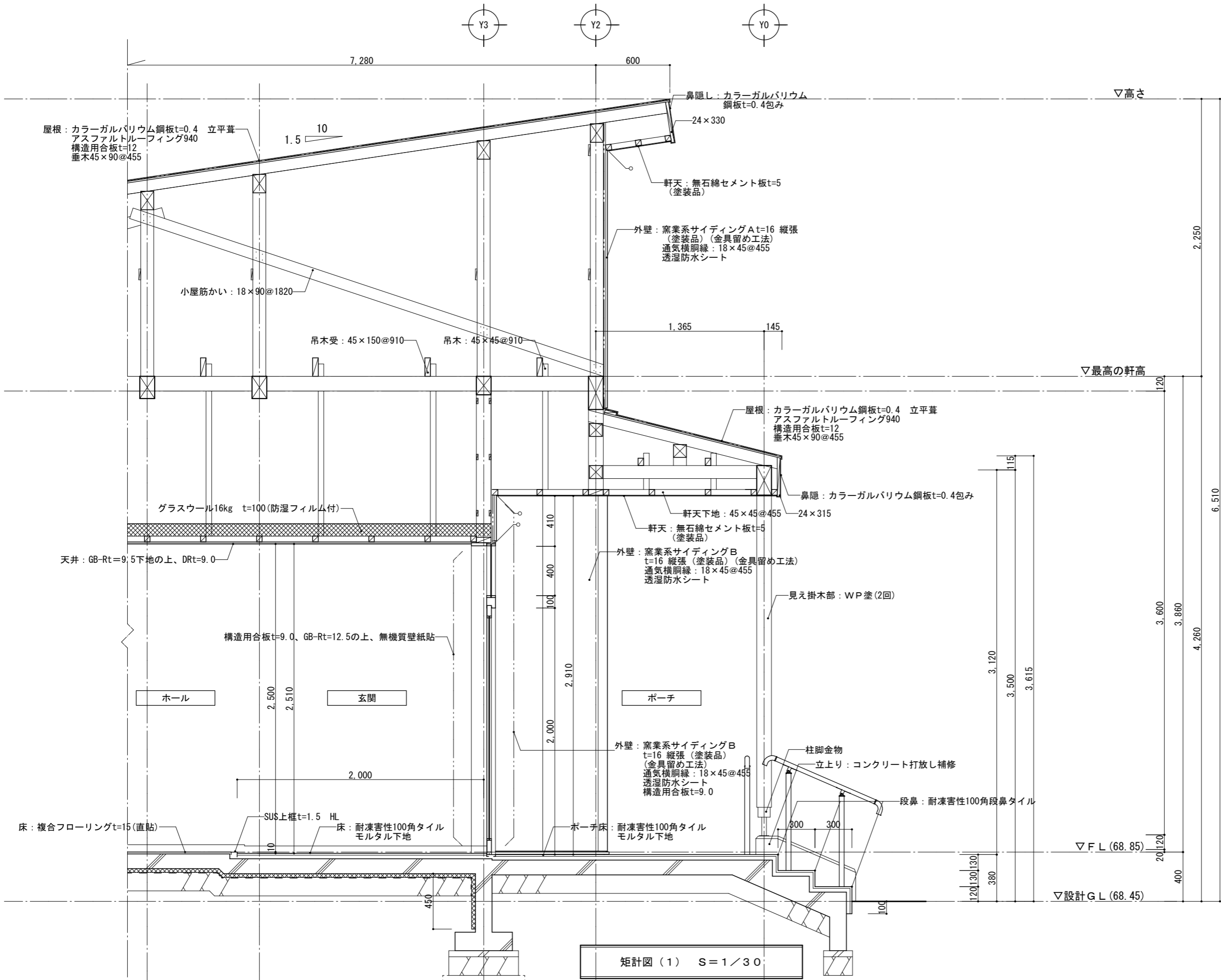


断面キープラン

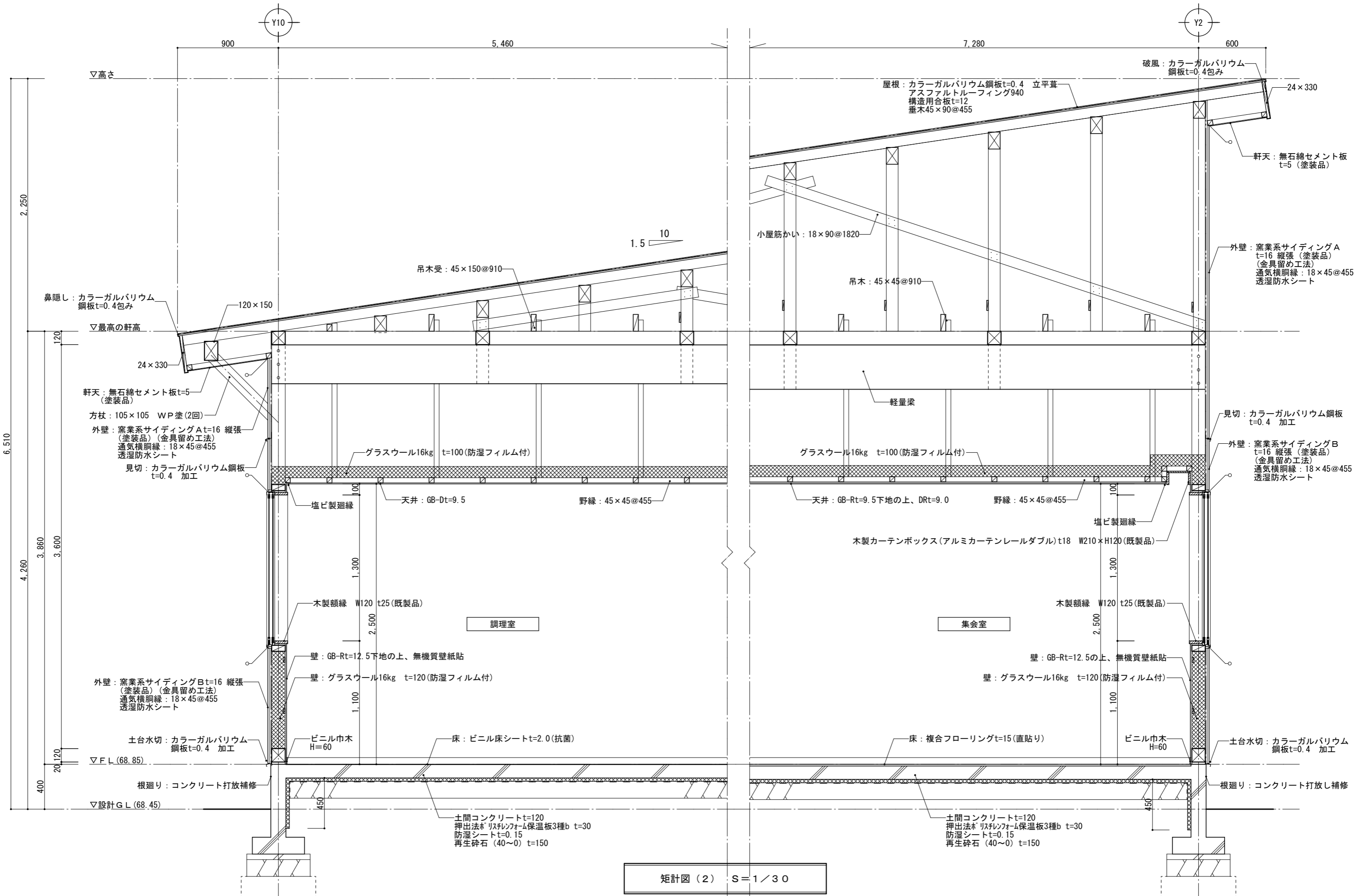
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				検印	主任担当	担当	担当	No.	工事名	図面番号	設計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計				長畑	柳引	杉山	佐藤	2553-00	倉岡生活改善センター等改築工事	A-020	
									設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】断面図(1)	縮尺 1/100	



訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町 2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-021	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R 8 . 3	図面名称 【集会所】断面図 (2)	縮尺 1 / 1 0 0	

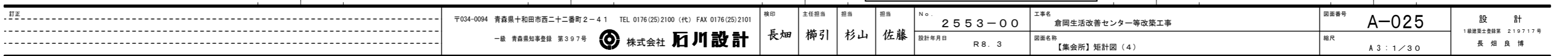


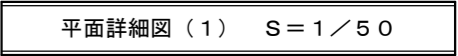
訂正		〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町 2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101		検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-022	設計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
一級 青森県知事登録 第397号		株式会社 石川設計		長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】 矩計図 (1)	縮尺 A 3 : 1 / 3 0	




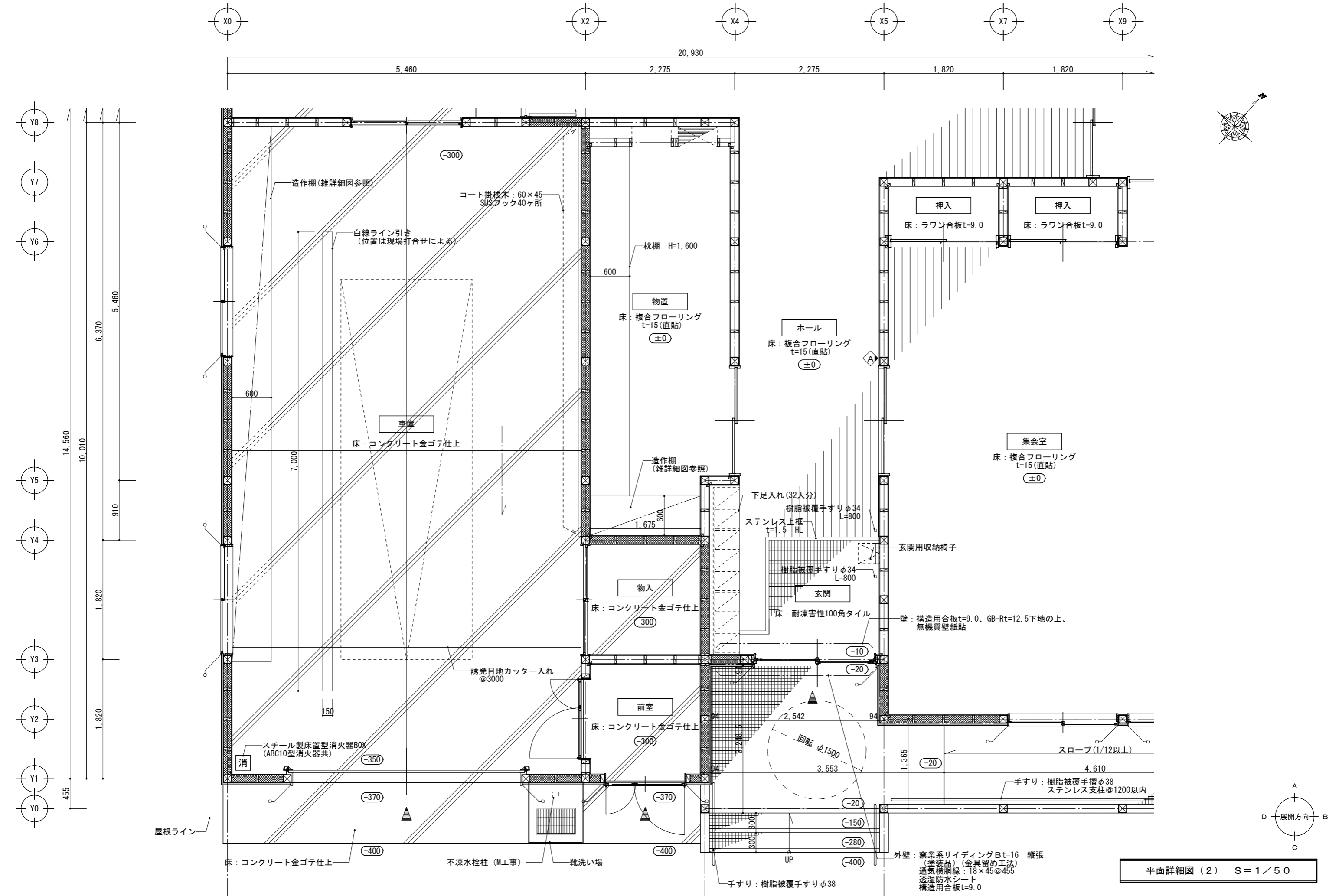
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-023	設計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】 矩計図 (2)	縮尺 A3 : 1/30	



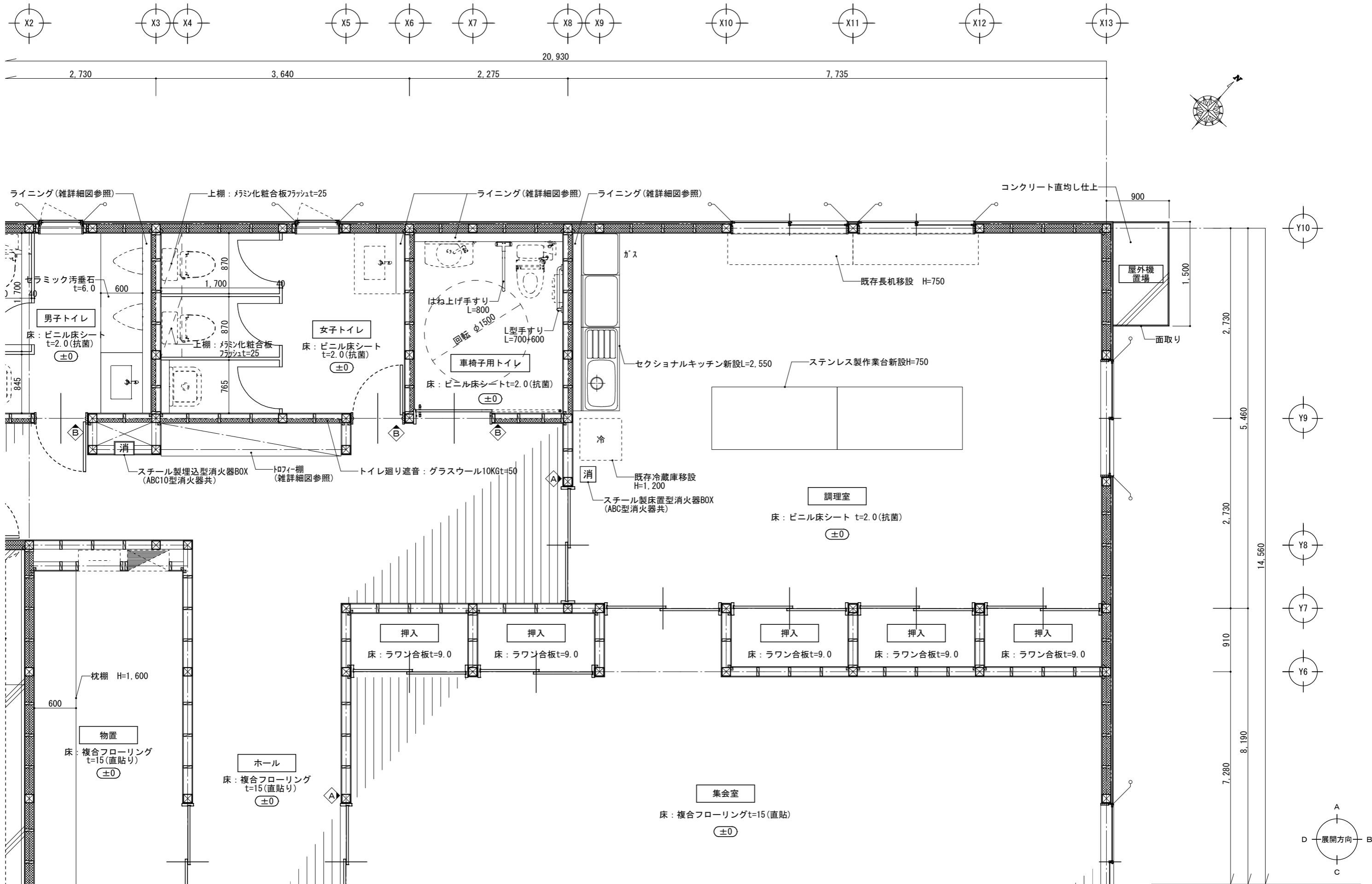




 株式会社 石川設計

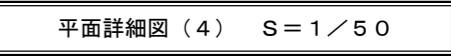


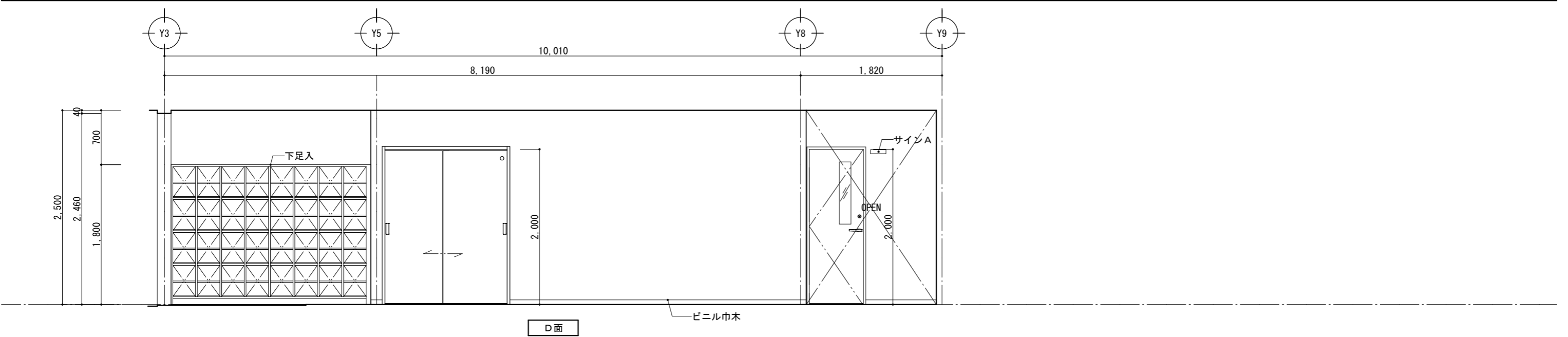
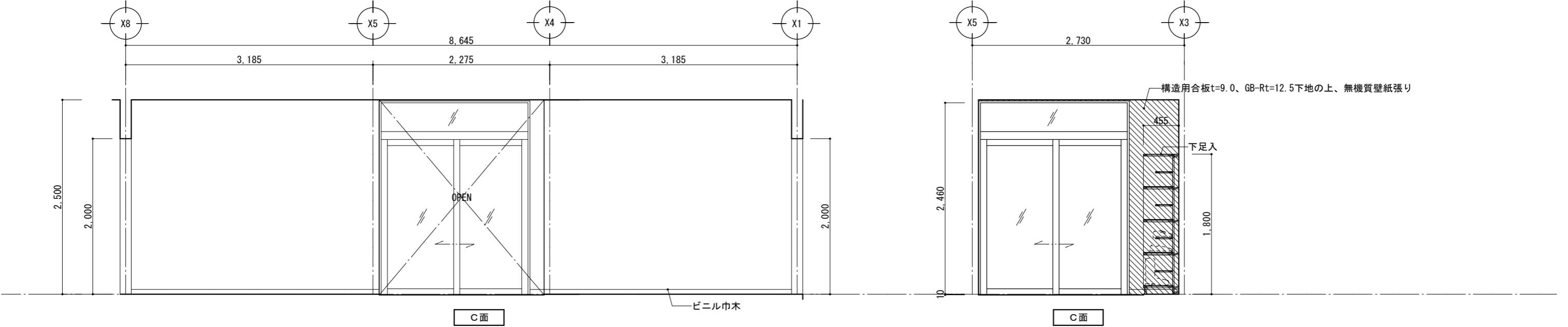
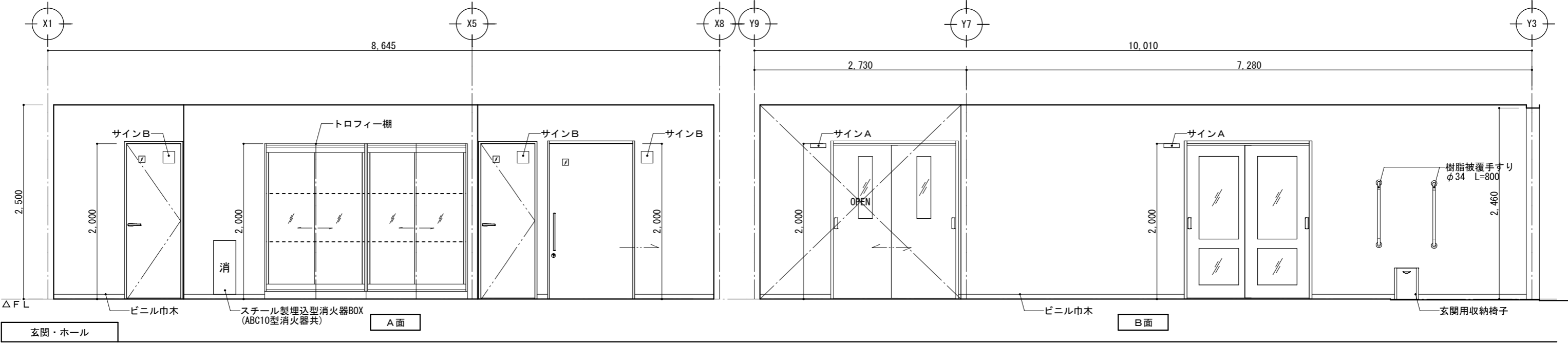
<div>訂正</div>	<div>〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176 (25) 2100 (代) FAX 0176 (25) 2101</div> <div>一級 青森県知事登録 第397号</div> <div>株式会社 石川設計</div>	<div>検印</div> <div>長畑</div>	<div>主任担当</div> <div>櫛引</div>	<div>担当</div> <div>杉山</div>	<div>担当</div> <div>佐藤</div>	<div>No.</div> <div>2553-00</div> <div>設計年月日</div> <div>R 8. 3</div>	<div>工事名</div> <div>倉岡生活改善センター等改築工事</div> <div>図面名称</div> <div>【集会所】平面詳細図 (2)</div>	<div>図面番号</div> <div>A-027</div> <div>縮尺</div> <div>A3 : 1/50</div>	<div>設計</div> <div>1級建築士登録第 219717号</div> <div>長畑良博</div>
---------------	--	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	---	---	---



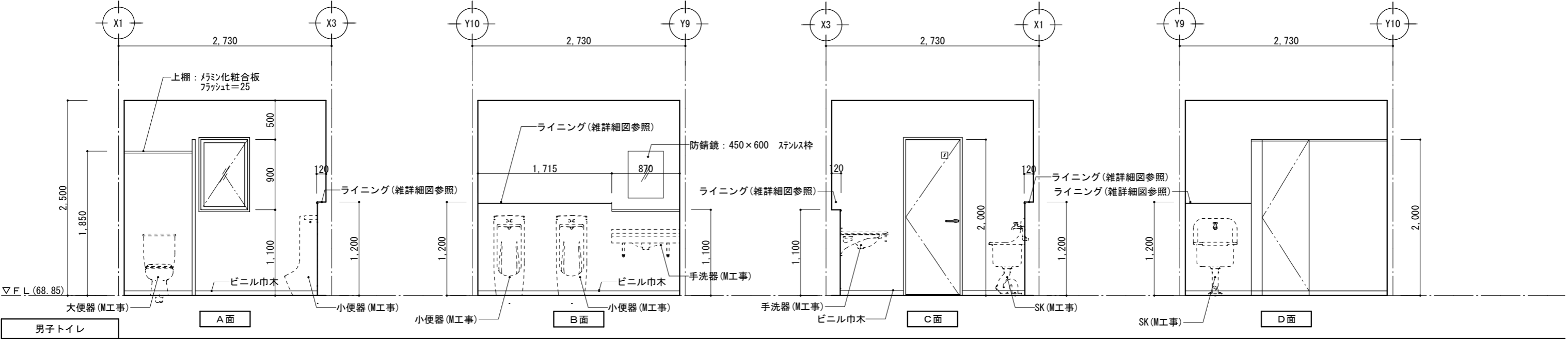
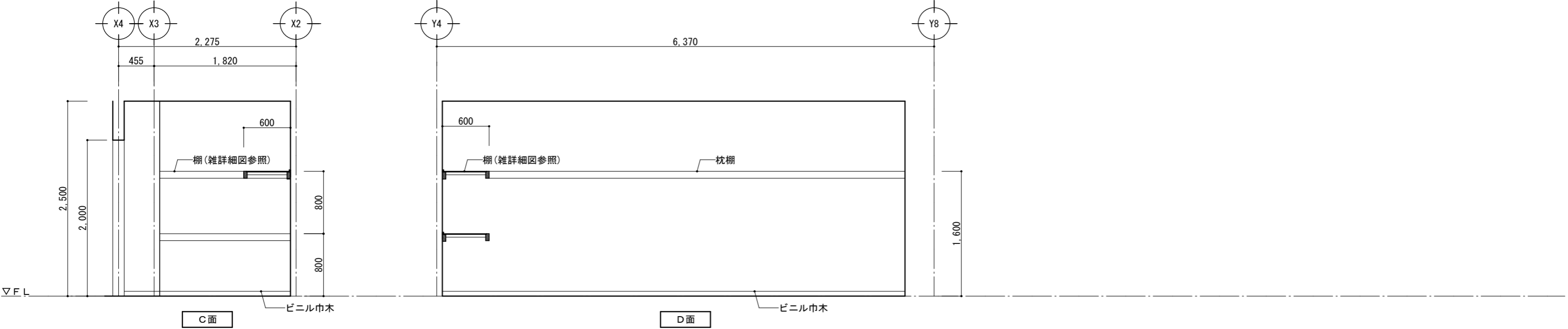
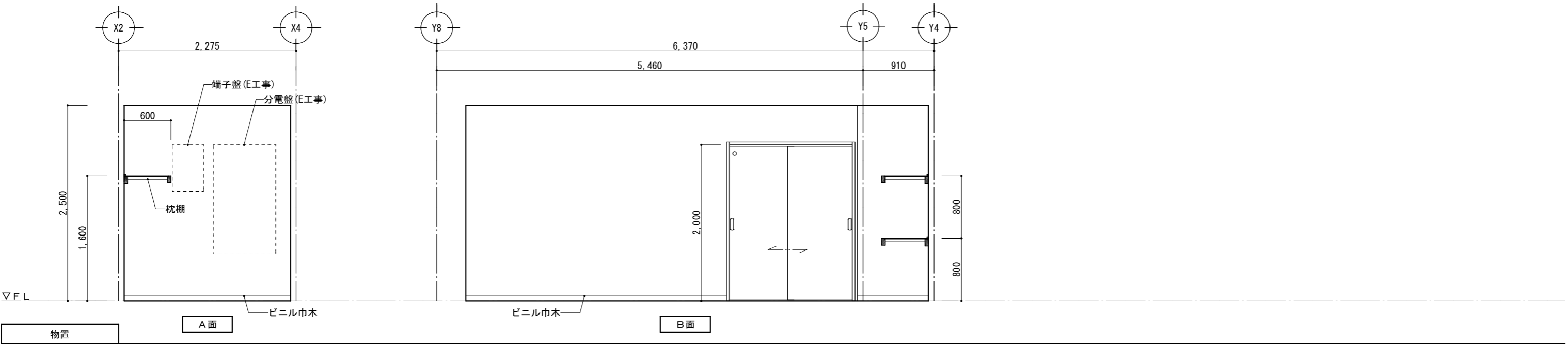
平面詳細図 (3) S = 1 / 50

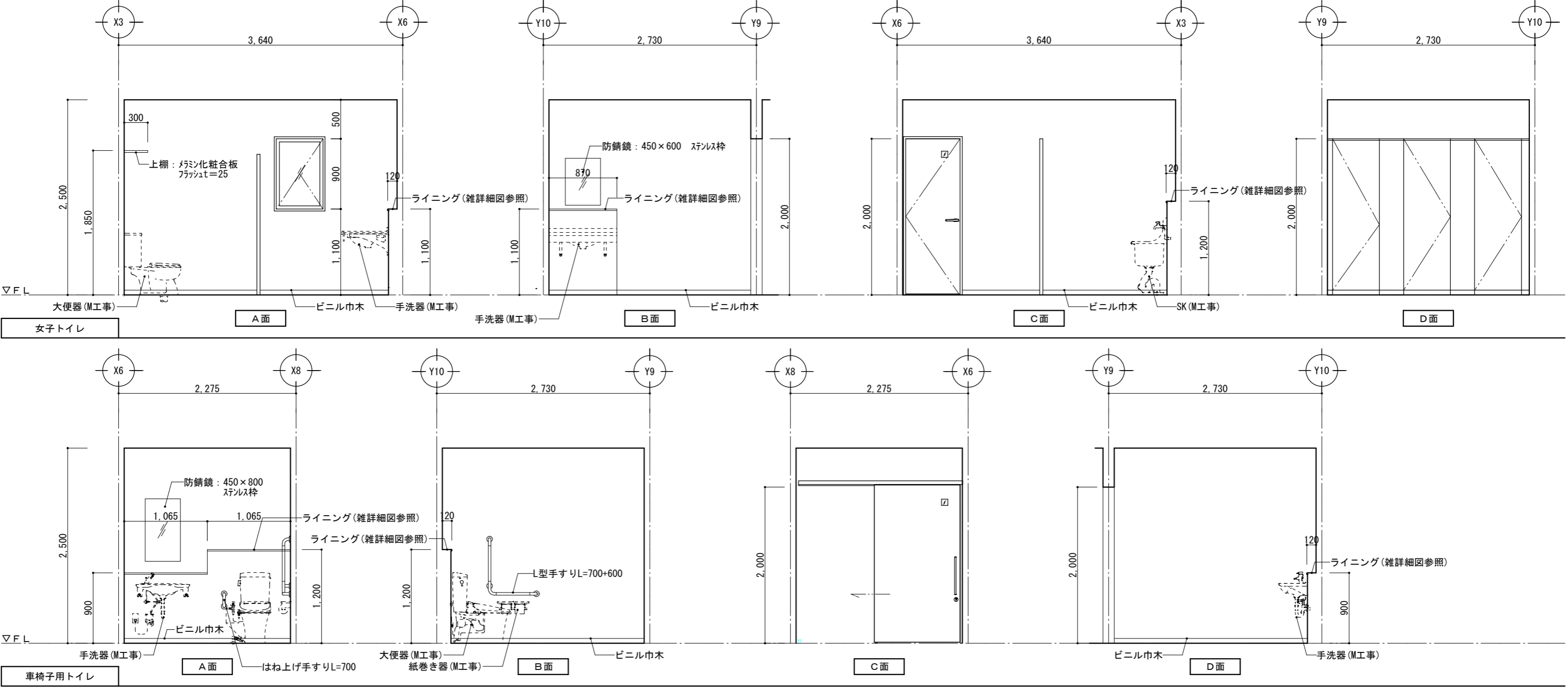
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176 (25) 2100 (代) FAX 0176 (25) 2101 一級 青森県知事登録 第397号	株式会社 石川設計	検印 長畑 桝引 杉山 佐藤	主任担当 桝引	担当 杉山	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-028	設計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博
						設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】平面詳細図 (3)	縮尺 A 3 : 1 / 50	



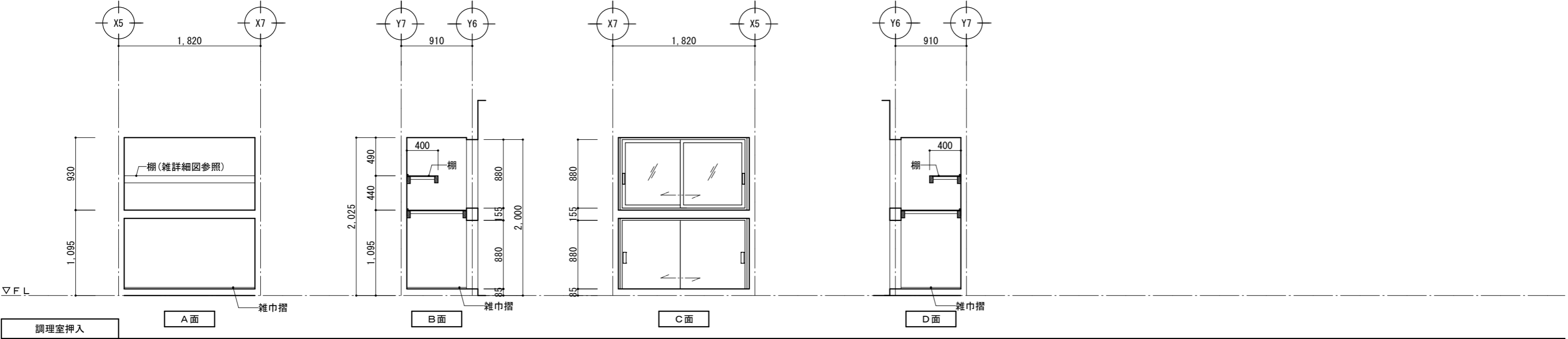
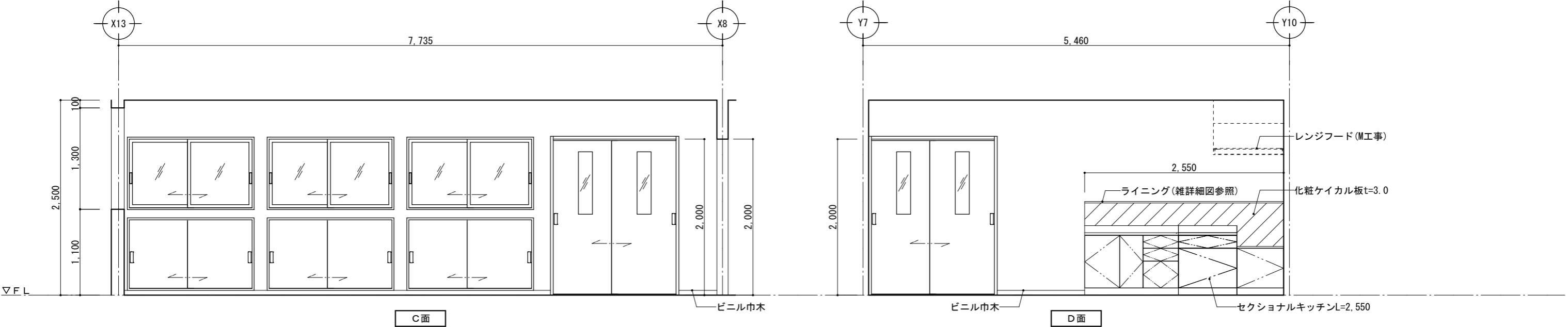
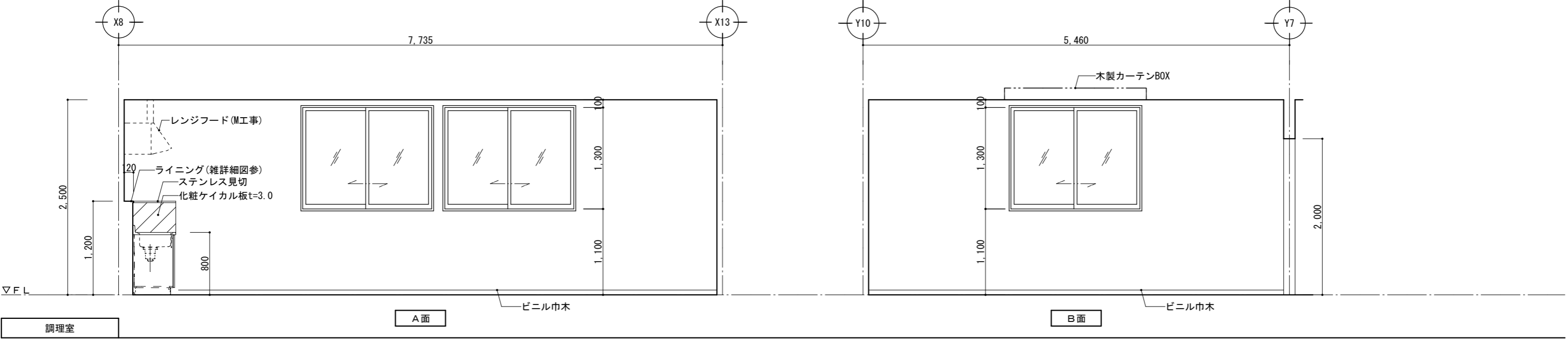


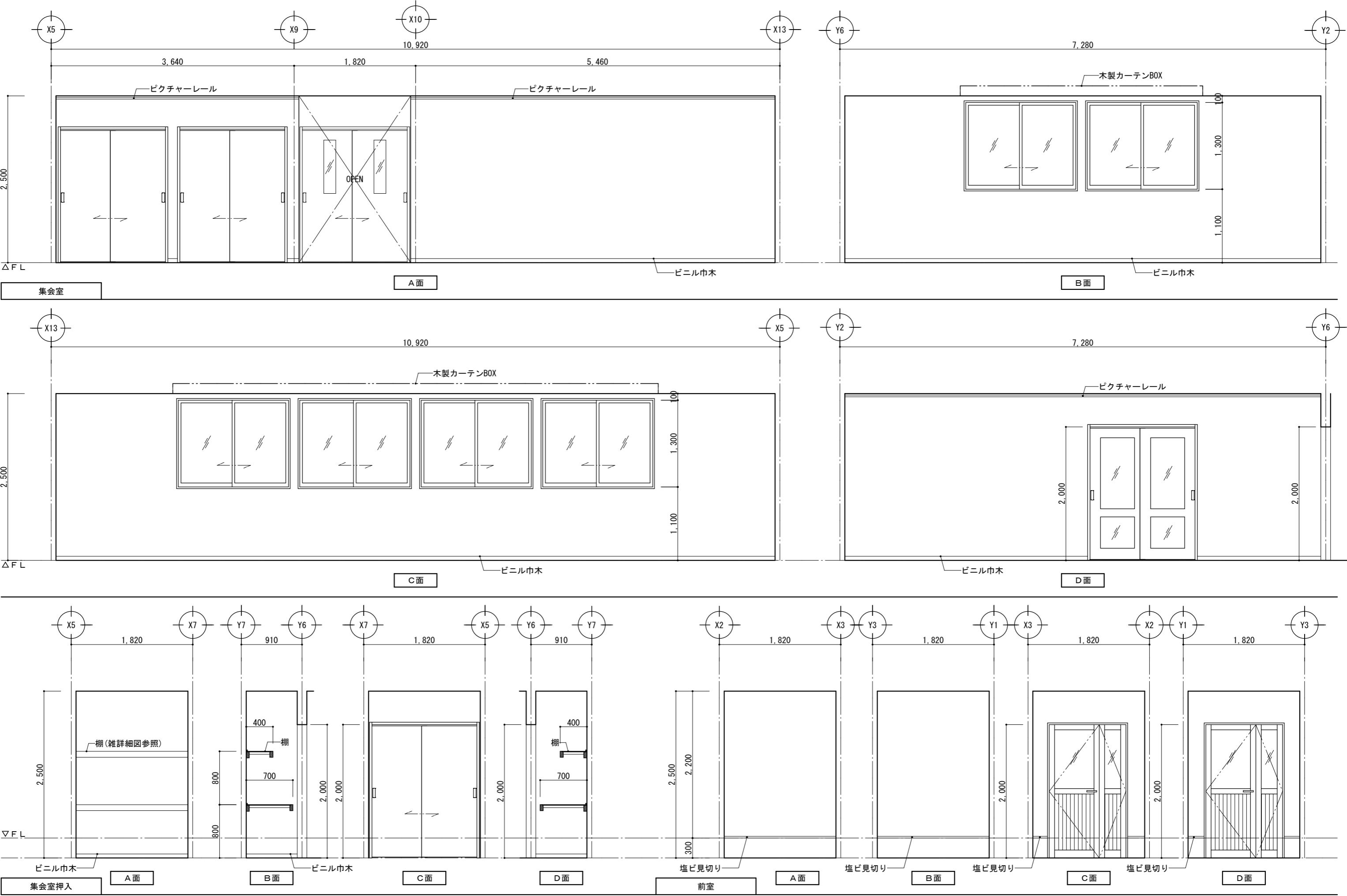
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-030	設計 長畑良博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R8. 3	図面名称 【集会所】展開図(1)	縮尺 1/50	



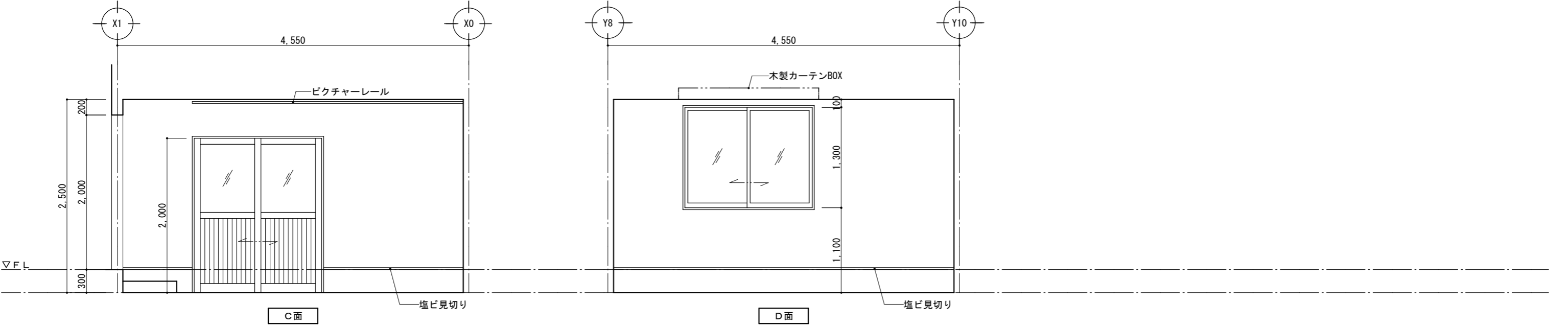
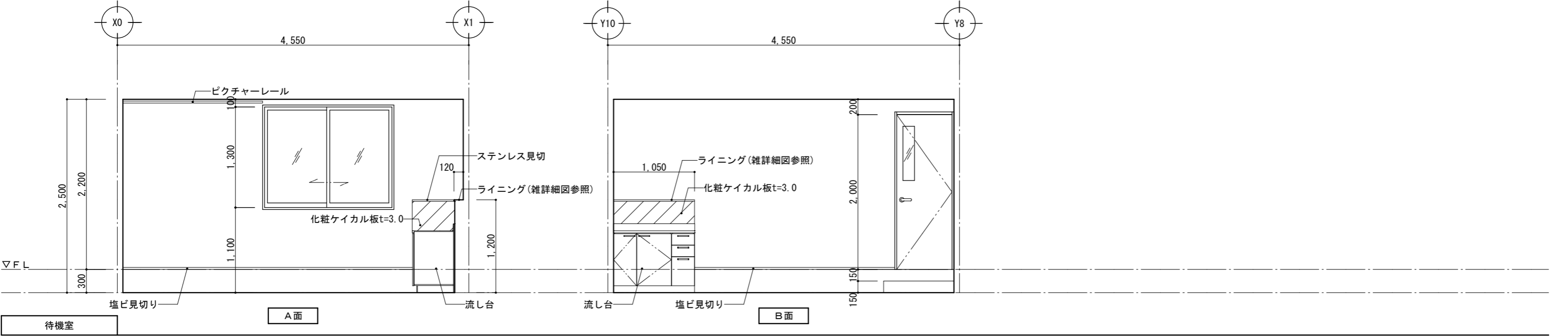
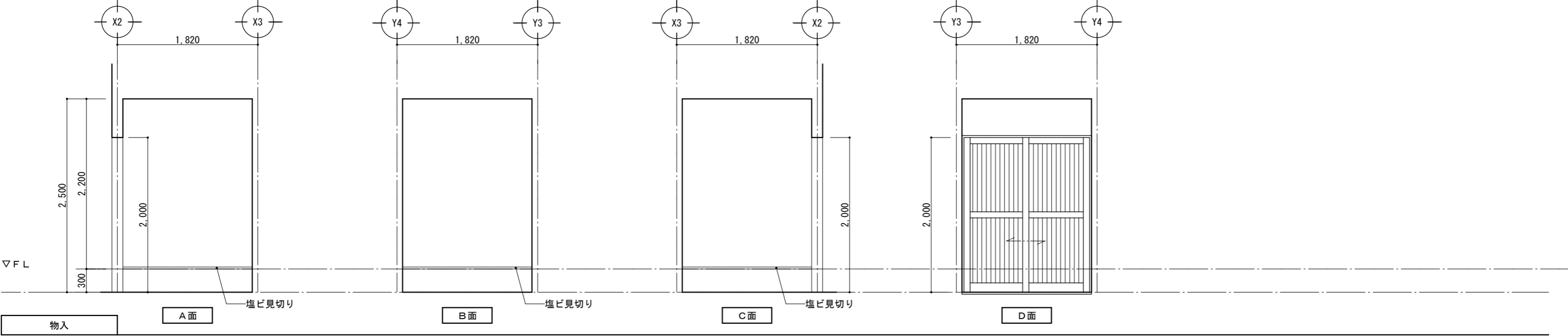


訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 一級 青森県知事登録 第397号	株式会社 石川設計	検印 長畑 柳引 杉山 佐藤	主任担当 担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-032	設計 設 計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博
					設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】展開図 (3)	縮尺 1/50	

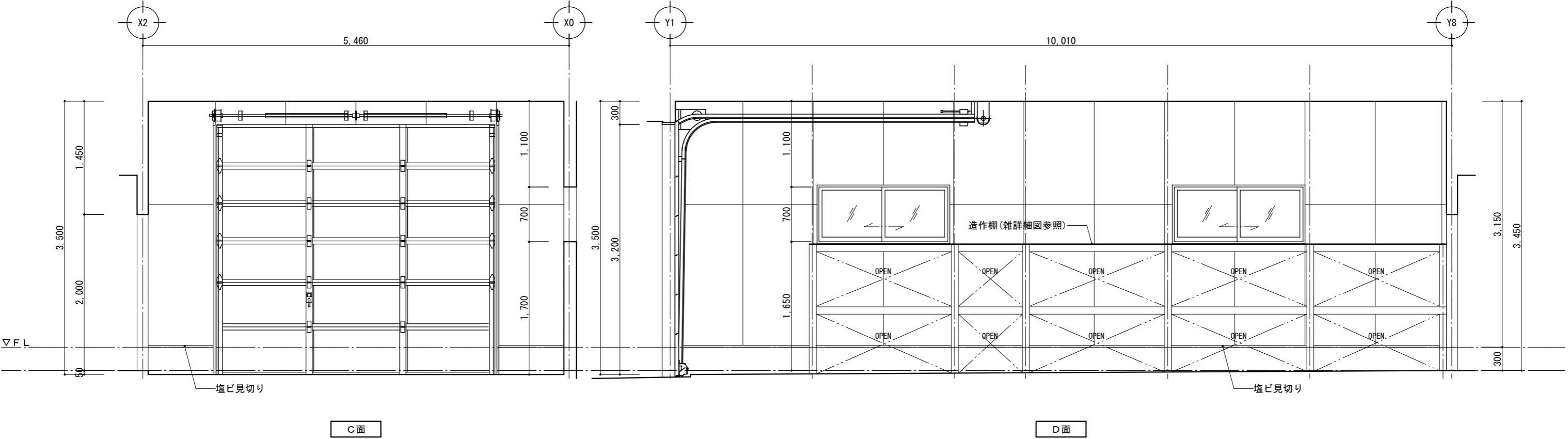
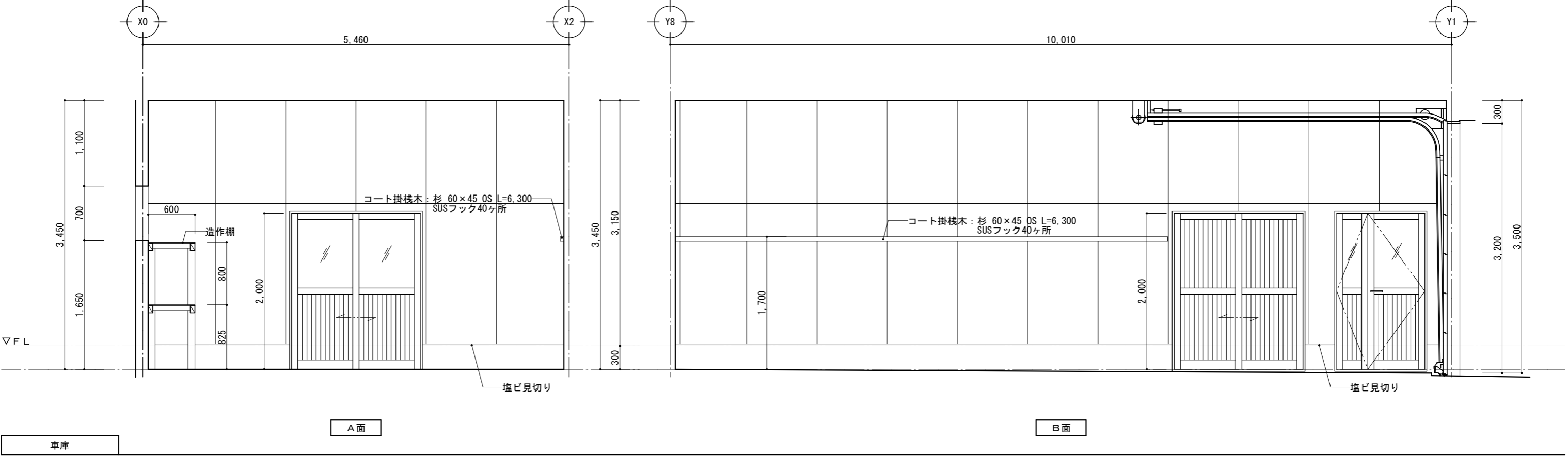




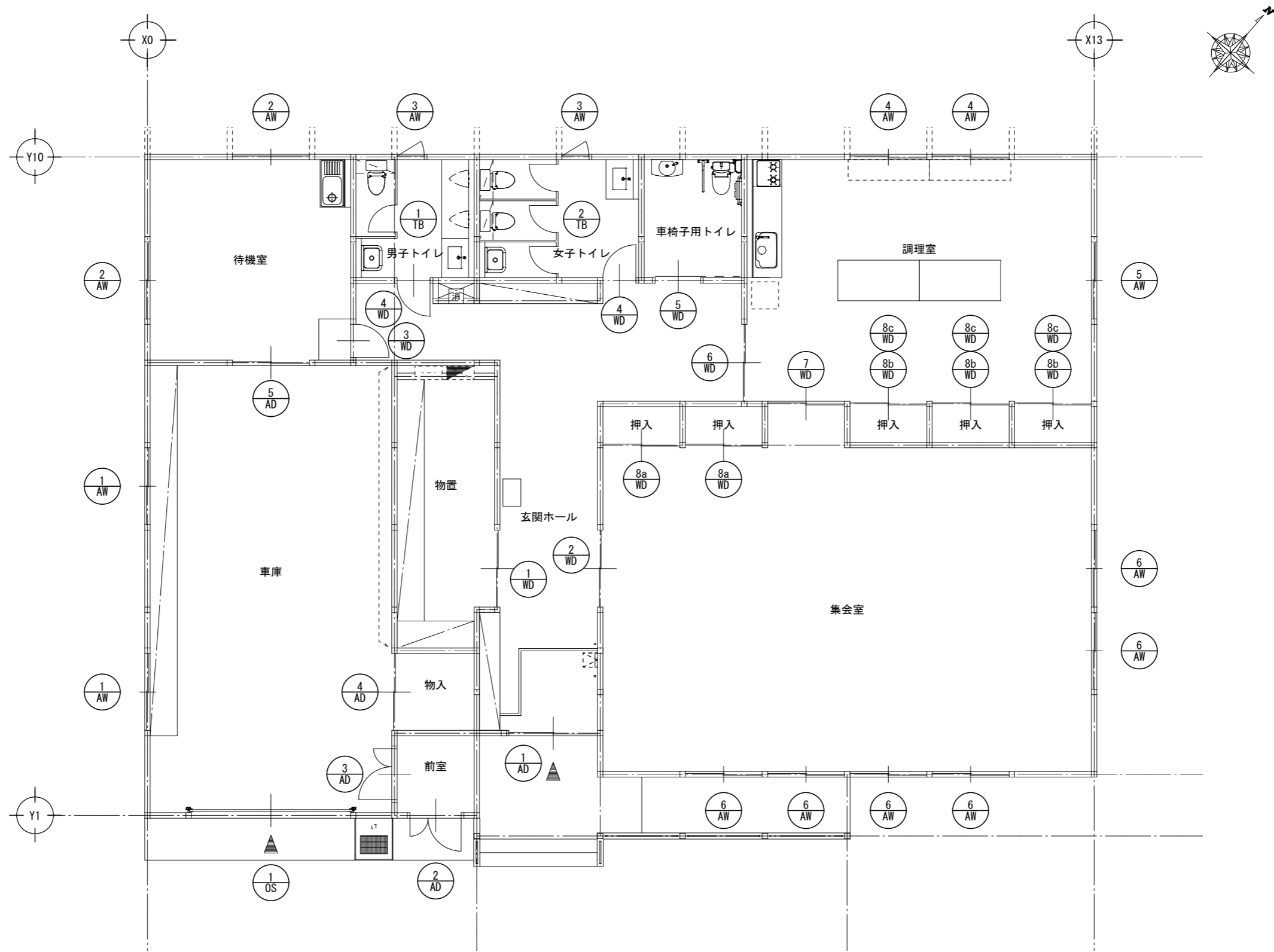
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-034	設計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博
	一級 青森県知事登録 第397号	株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R 8. 3	図面名称 【集会所】展開図(5)	縮尺 1/50



訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No.	工事名	図面番号	設計
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	2553-00	倉岡生活改善センター等改築工事	A-035	1級建築士登録第 219717号 長畑良博
						設計年月日 R8. 3	図面名称 【集会所】展開図(6)	縮尺 1/50	

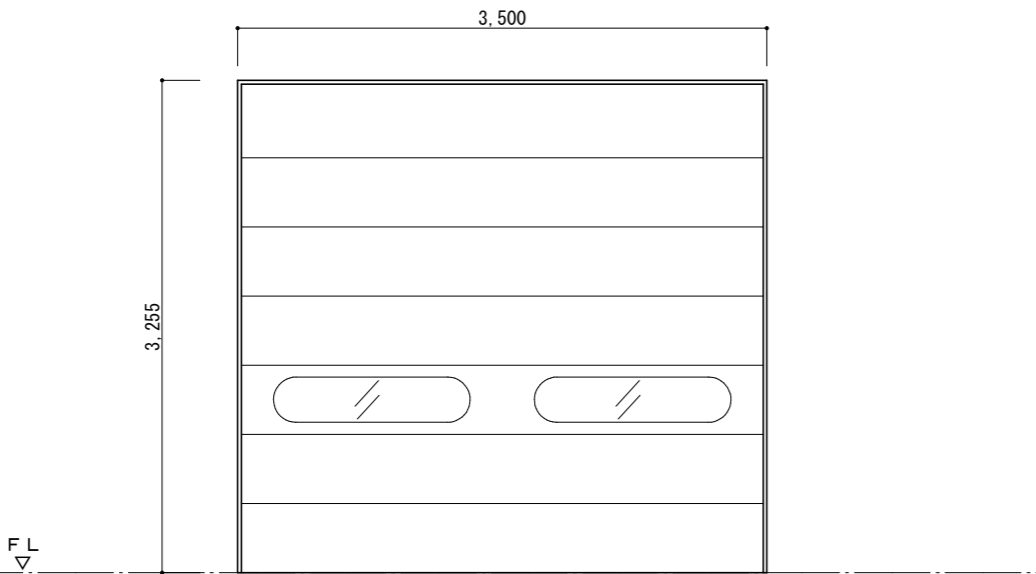
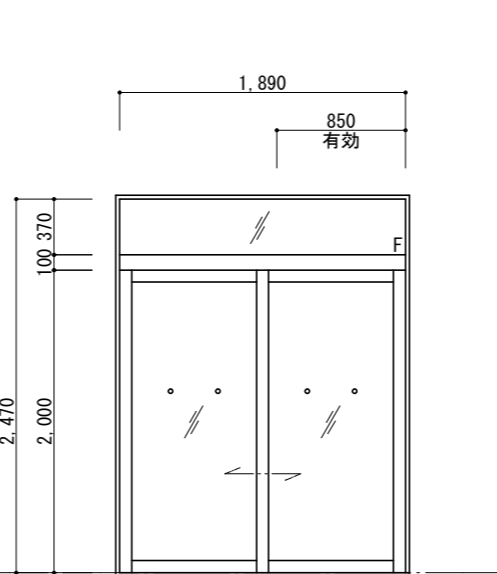
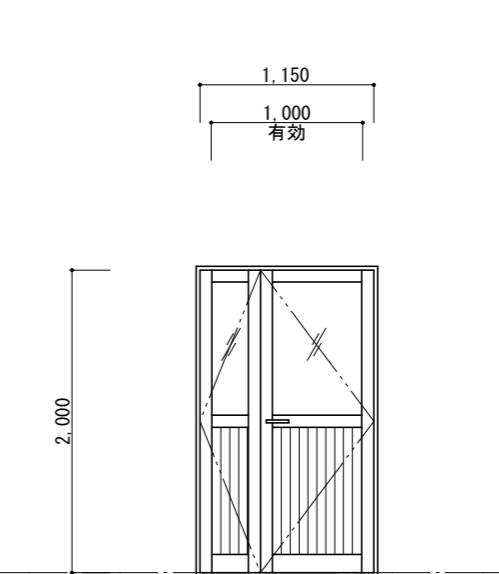
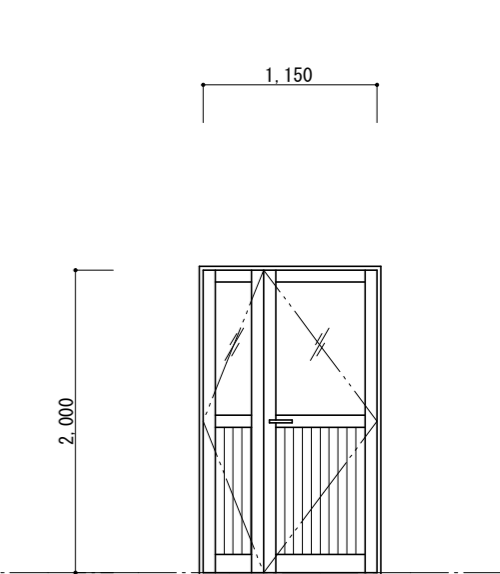


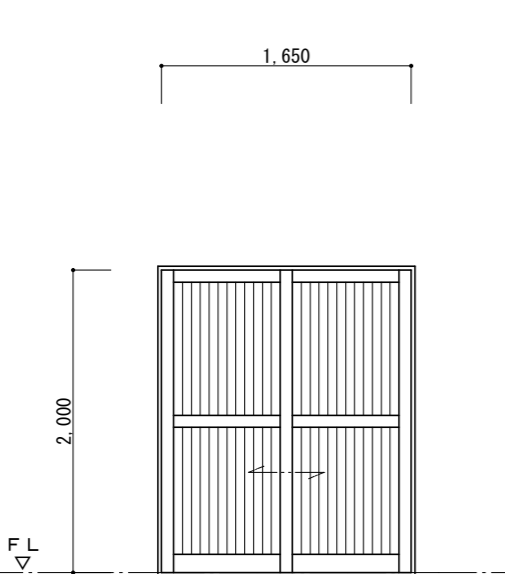
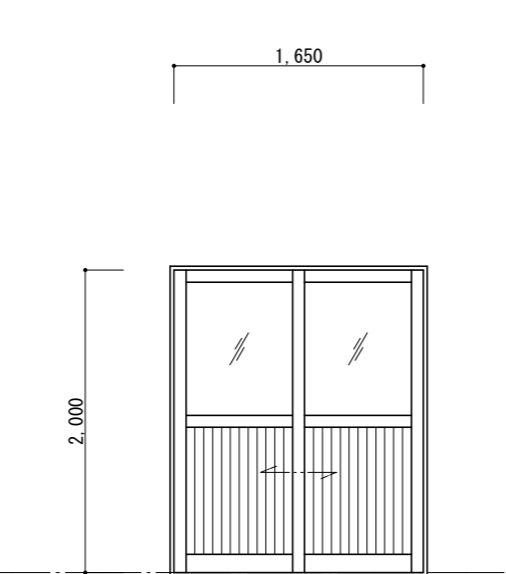
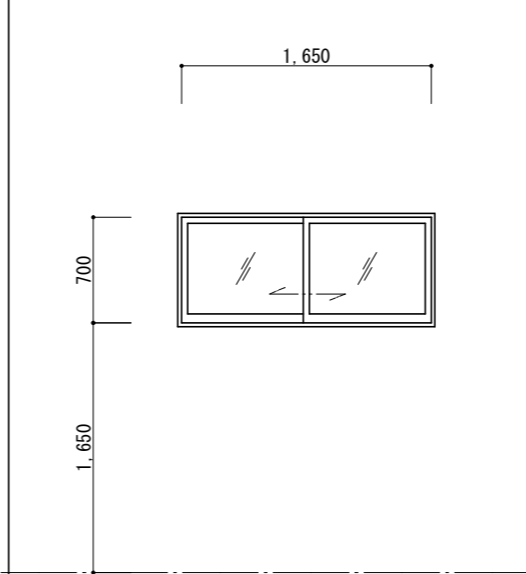
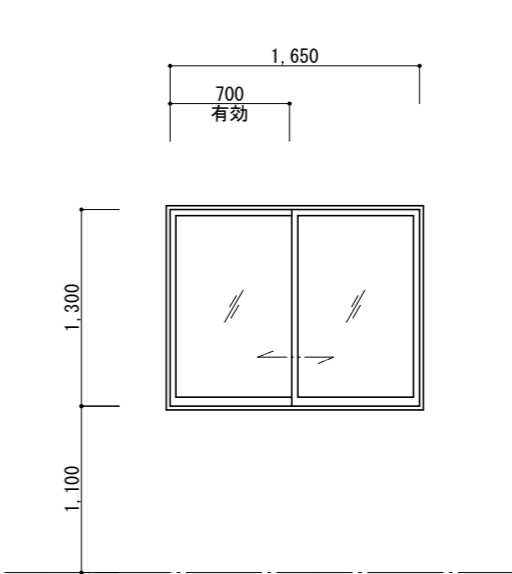
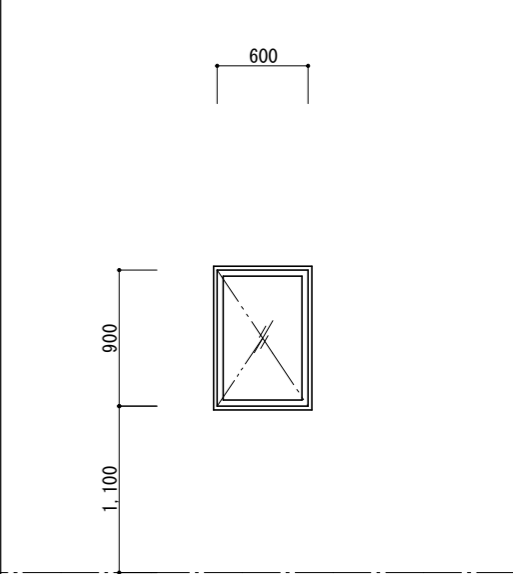
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-036	設計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R8. 3	図面名称 【集会所】展開図(7)	縮尺 1/50	



建具伏図 S=1/100

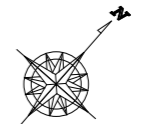
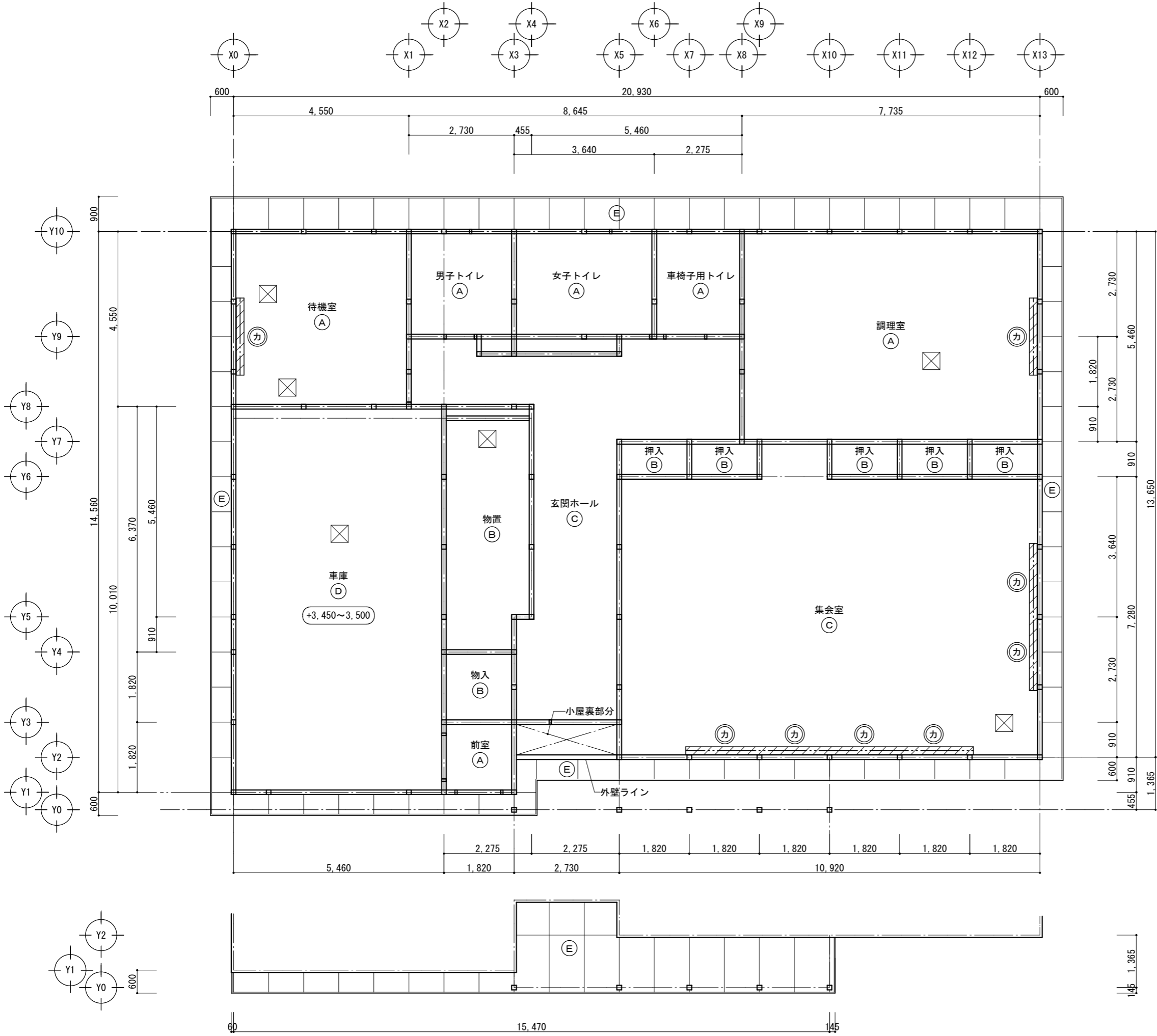
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 A-037	設計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	柳引	杉山	佐藤	設計年月日 R8. 3	図面名称 【集会所】建具伏図	縮尺 1/100	

記 号	OS－1		車庫	1ヶ所	AD－1	玄関	1ヶ所	AD－2	前室(外部)	1ヶ所	AD－3	前室(内部)	1ヶ所
形 状													
種 別	スチール製オーバースライダー バランス式 ローヘッド形				アルミ製建具 引違戸 カラー		アルミ製建具 親子戸 カラー		アルミ製建具 親子戸 カラー				
硝子 及 仕上	カラー鋼板t=0.5 明かり窓：アクリル板t=3.0				強化硝子t=5.0+A6+強化硝子t=5.0 欄間：フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0		腰上：フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0 腰下：断熱アルミパネルt=2.0		腰上：フロート硝子t=3.0 腰下：断熱アルミパネルt=2.0				
金物 及 見込	附属金物一式（ガイドレール、シンダー錠、ワイヤードラム 他） 見込 メーカー仕様				附属金物一式（戸車、引手、ステンスレール、アルミ額縁、 シンダー/サムターン錠 他） 見込 70		附属金物一式（レバーハンドル、ドアチェック、丁番、フランス落とし、 アルミ額縁、シンダー/サムターン錠 他） 見込 70		附属金物一式（レバーハンドル、ドアチェック、丁番、 アルミ額縁、フランス落とし 他） 見込 70				
備 考					衝突防止マーク								

記 号	AD－4	物入	1ヶ所	AD－5	待機室	1ヶ所	AW－1	車庫	2ヶ所	AW－2	待機室	2ヶ所	AW－3	男子トイレ 女子トイレ	2ヶ所
形 状															
種 別	アルミ製建具 引違戸 カラー			アルミ製建具 引違戸 カラー		アルミ樹脂複合建具 引違窓 カラー		アルミ樹脂複合建具 引違窓 カラー		アルミ樹脂複合建具 縦じり出し窓 カラー					
硝子 及 仕上	アルミパネルt=2.0			腰上：フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0 腰下：断熱アルミパネルt=2.0		フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0		型板硝子t=4.0+A6+フロート硝子t=3.0		型板硝子t=4.0+A6+フロート硝子t=3.0					
金物 及 見込	附属金物一式（戸車、引手、ステンスレール、 他） 見込 70			附属金物一式（戸車、引戸錠、引手、ステンスレール、 他） 見込 70		附属金物一式（戸車、レール、クレセント 他） 見込 メーカー仕様		附属金物一式（戸車、レール、クレセント 他） 見込 メーカー仕様		附属金物一式（丁番、カムロックハンドル、水切 他） 見込 メーカー仕様					
備 考				網戸		網戸		網戸		網戸					

記 号	AW－4調理室	2ヶ所	AW－5調理室	1ヶ所	AW－6集会室	6ヶ所				
形 状										
種 別	アルミ樹脂複合建具 引違窓 カラー		アルミ樹脂複合建具 引違窓 カラー		アルミ樹脂複合建具 引違窓 カラー					
硝子 及 仕上	型板硝子t=4.0+A6+フロート硝子t=3.0		フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0		フロート硝子t=3.0+A6+フロート硝子t=3.0					
金物 及 見込	附属金物一式（戸車、レール、クレセント 他） 見込 メーカー仕様		附属金物一式（戸車、レール、クレセント 他） 見込 メーカー仕様		附属金物一式（戸車、レール、クレセント 他） 見込 メーカー仕様					
備 考	網戸		網戸		網戸					
記 号	WD－1物置	1ヶ所	WD－2集会室	1ヶ所	WD－3待機室	1ヶ所	WD－4男子トイレ 女子トイレ	2ヶ所	WD－5車椅子用トイレ	1ヶ所
形 状										
							アンダーカット			
種 別	木製建具 引違戸 フラッシュ		木製建具 引違戸 フラッシュ		木製建具 片開扉 フラッシュ		木製建具 片開扉 フラッシュ		木製建具 吊り戸 フラッシュ	
硝子 及 仕上	枠・扉：オレフィンシート		枠・扉：オレフィンシート 窓：透明アクリル板		枠・扉：オレフィンシート 窓：不透明アクリル板		枠・扉：オレフィンシート 窓：不透明アクリル板		枠・扉：オレフィンシート 窓：不透明アクリル板	
金物 及 見込	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36		附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36		附属金物一式（丁番、レバーハンドル、シンナー/サムターン錠 他） 見込 36		附属金物一式（丁番、レバーハンドル 他） 見込 36		附属金物一式（戸車、レール、引棒、表示錠 他） 見込 36	
備 考	DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品		DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品		DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品		DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品		DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品	

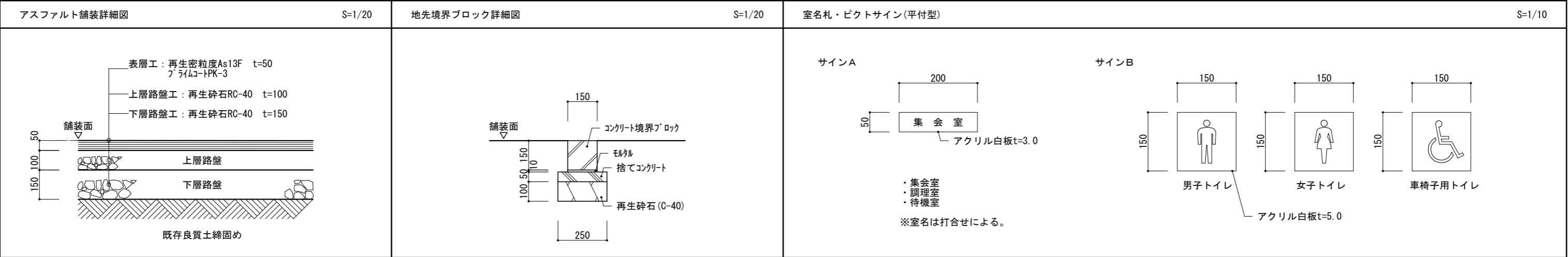
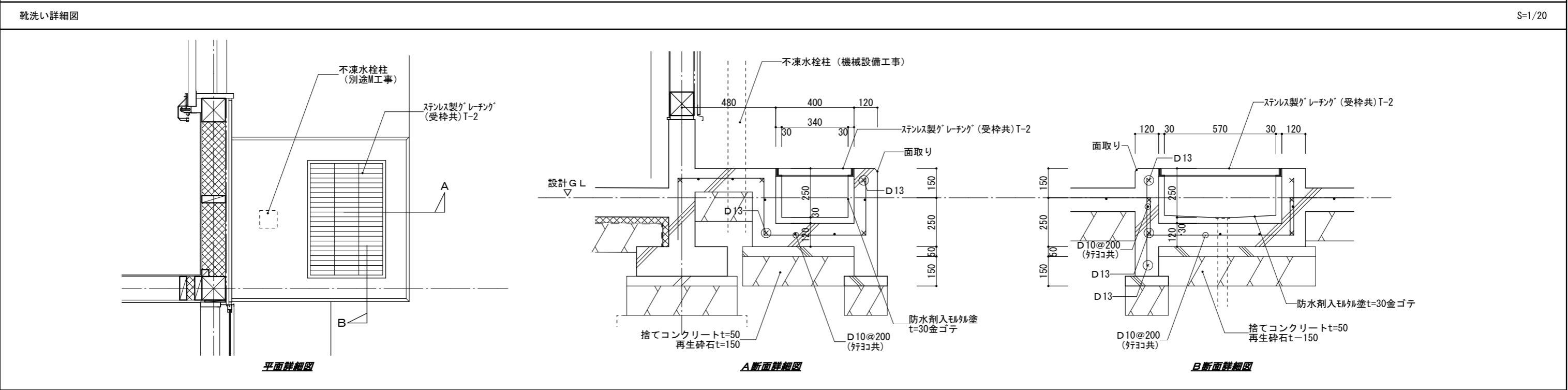
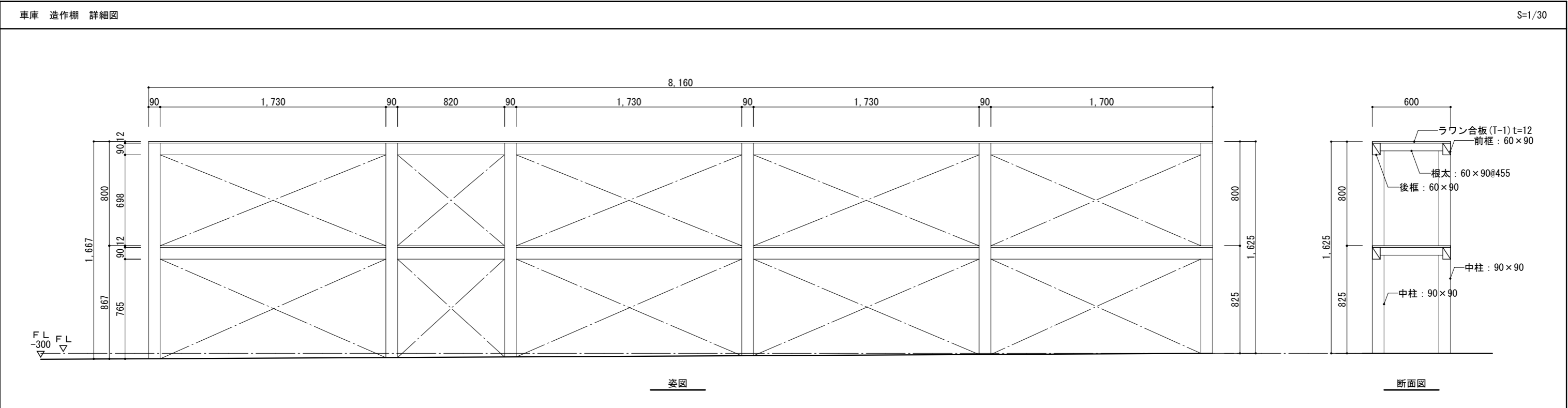
記 号	WD－6調理室1ヶ所	WD－7調理室1ヶ所	WD－8a集会室押入2ヶ所	WD－8b調理室押入(下部)3ヶ所	WD－8c調理室押入(上部)3ヶ所
形 状					
種 別	木製建具 引違戸 フラッシュ	木製建具 引違戸 フラッシュ	木製建具 引違戸 フラッシュ	木製建具 引違戸 フラッシュ	木製建具 引違ガラス戸
硝子 及 仕上	枠・扉：オレフィンシート 窓：透明アクリル板	枠・扉：オレフィンシート 窓：透明アクリル板	枠・扉：オレフィンシート	扉：木目化粧板	扉：木目化粧板 窓：フロート硝子t=3.0
金物 及 見込	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36	附属金物一式（戸車、レール、引手 他） 見込 36
備 考	DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品	DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品	DAIKEN OMOIYARIシリーズ 同等品		
記 号	T B－1男子トイレ1ヶ所	T B－2女子トイレ1ヶ所			
形 状					
種 別	トイレブース フラッシュ	トイレブース フラッシュ			
硝子 及 仕上	高圧メラミン樹脂化粧板	高圧メラミン樹脂化粧板			
金物 及 見込	附属金物一式（ステンシル巾木、頭つなぎ、丁番、戸当り、表示錠、取手 他） 見込 40	附属金物一式（ステンシル巾木、頭つなぎ、丁番、戸当り、表示錠、取手 他） 見込 40			
備 考					

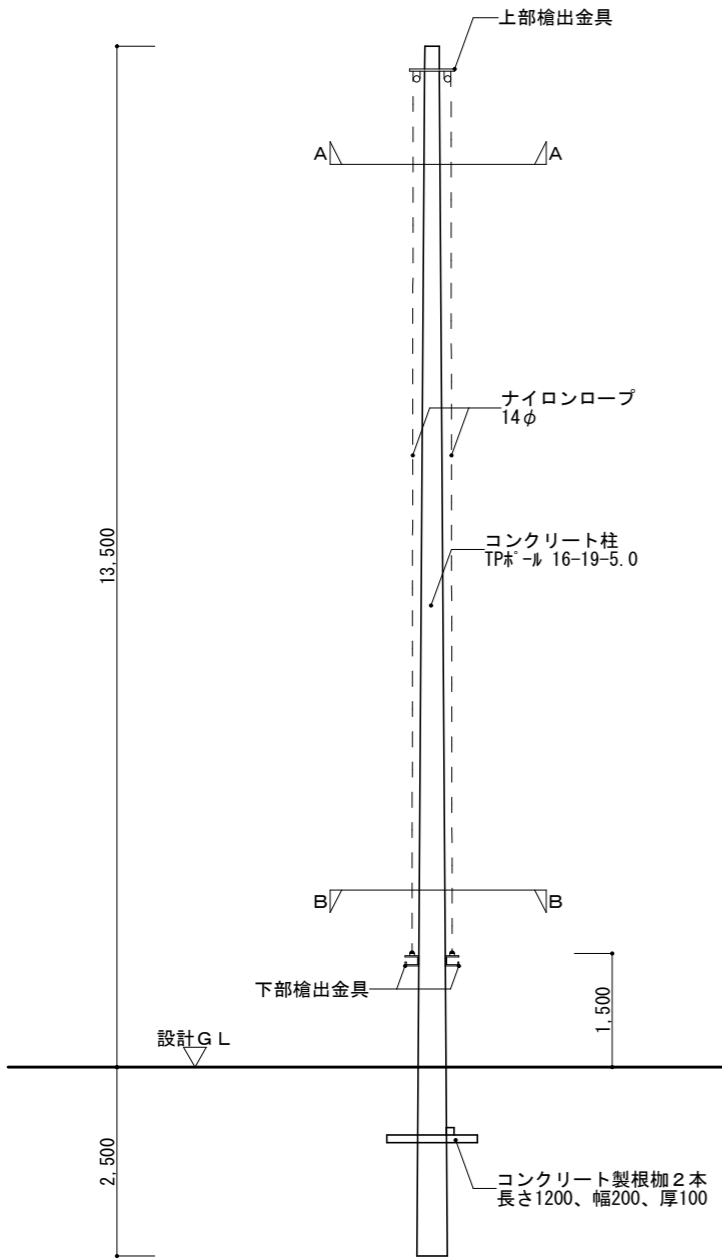


符号	仕上げ	廻縁
(A)	GB-Dt=9.5	塩ビ製
(B)	GB-Dt=9.5(押入用)	塩ビ製
(C)	GB-Rt=9.5の上、DRt=9.0	塩ビ製
(D)	0.8FKt=6.0 目透張 EP	塩ビ製
(E)	軒天用セメント板t=5 塗装品	
(カ)	カーテンボックス(既製品): W210×H120 アルミカーテンレール(ダブル)	
(±0)	F Lからの天井高さを示す 特記無き場合、2,500とする	
(X)	天井点検口 450角 ※図面記載以外にもメンテナンスや点検に必要な箇所に設置すること	

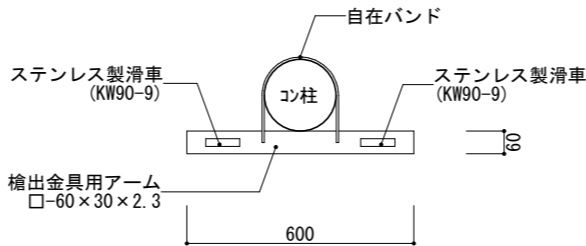
天井伏図 S = 1 / 100

玄関 下足入詳細図		S=1/30		トロフィー棚 詳細図		S=1/30	
<div></div>		※ 監理者に施工図を提出の上、施工すること		<div></div>		※ 監理者に施工図を提出の上、施工すること	
姿図		断面図		姿図		断面図	
集会室押入 棚 詳細図		S=1/20		調理室押入 棚 詳細図		S=1/20	
<div></div>		<div></div>		物置 棚 詳細図		S=1/20	
				<div></div>			
				ライニング詳細図		S=1/20	
				<div><p>以下対象室(※の室の仕上げについては無機質壁紙とする)</p><ul style="list-style-type: none">・待機室・調理室※男子トイレ※女子トイレ※車椅子用トイレ<p>以下対象室</p><p>A: 男子トイレ、女子トイレ、車椅子用トイレ、調理室、待機室</p><p>B: 男子トイレ、女子トイレ</p><p>C: 車椅子用トイレ</p></div> <div></div>			
				玄関用収納椅子詳細図		S=1/20	
				<div></div>			
訂正		〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町 2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101		検印		主任担当	
		一級 青森県知事登録 第397号		長畑 櫛引 杉山 佐藤		No. 2553-00	
		株式会社 石川設計		設計年月日 R8. 3		工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	
						図面名称 【集会所】雑詳細図(1)	
						図面番号 A-042	
						縮尺 図示	
						設計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博	

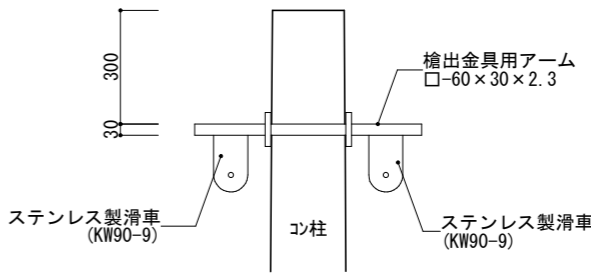




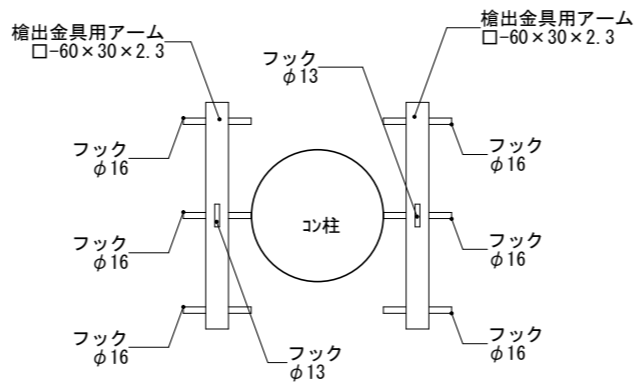
立面図 S = 1 / 100



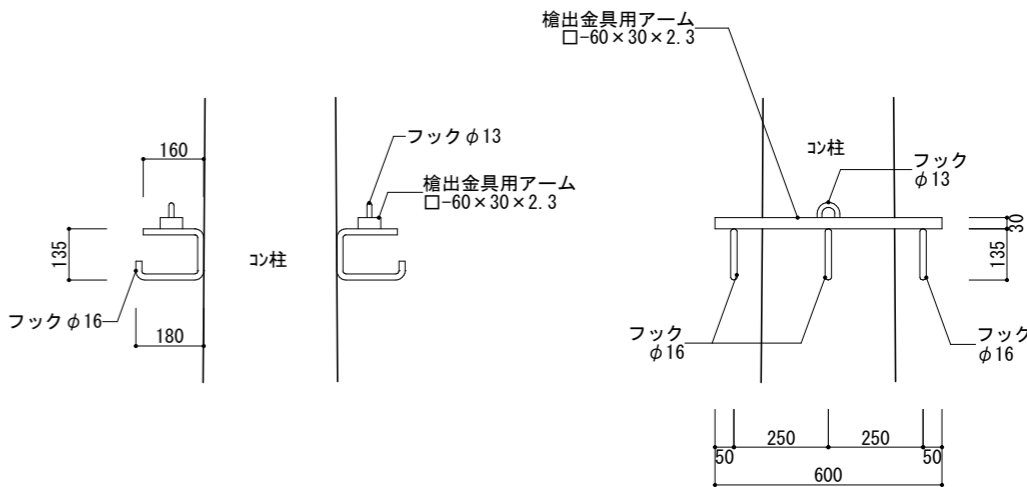
A-A詳細図 S = 1 / 20



上部檐出金具図 S = 1 / 20



B-B詳細図 S = 1 / 20



下部檐出金具図 S = 1 / 20

倉岡生活改善センター等改築工事(建築工事)工事特記仕様書		1章 各章共通事項	項目	特記事項		○解体後の整地		《3.13.1》				・JIS K 3850-1に基づいた測定			
			○適用基準	1) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課		○行方 行方 行方		○行方 行方 行方				測定名称	メンブレン フィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
I 工事概要		1. 工事場所	青森県上北郡七戸町字倉岡56-8		※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（※施工範囲全て・図示） 貸与資料（・アスベスト関係材料調査票・既存図面）		○基礎部分等の撤去範囲の地均しを行う 敷地全体の地均しを行う 敷地の地均しを行わない		《5.1.2》		・石綿含有吹付け材の除去	除去対象範囲 工法 ※6.3.2(1) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）			
			2. 敷地面積	1,536.89㎡										材料名	厚さ(mm)
3. 工事種目		(1) 既存屯所 木造 平屋建て 36.74㎡ 取りこわし 1棟		・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法		5章 特別管理産業廃棄物の処理等				・石綿含有保温材等の除去		《6.4.1》 除去対象範囲 工法 ・破碎して除去 ・原型のまま手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）			
4. 指定部分		・有 ○無 対象部分（ 指定部分工期 年 月 日		○騒音・粉じん等の対策		6章 アスベスト含有建材の除去及び処理		《6.1.3》		○石綿含有成形板の除去		《6.5.1》 除去対象範囲 ○図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 作業場所周辺養生 ・行方 行方			
				○足場等		・石綿粉じん濃度測定		測定時期、場所及び測定点						適用	測定名称
5. 工事範囲		すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び仕上げ材すべてとする。		・山留めの撤去		鋼矢板等の抜き後の処理 ※直ちに砂等で充填する		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)		出口吹出し風速1m/sec以下の位置		○石綿含有仕上塗材の除去		《6.6.1》 除去対象範囲 ○図示 工法 ・集じん装置付き超高压水洗工法（100Mpa 以上） ・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・剥離剤（薬品）工法 ・超音波ケレン工法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立部分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	
				・杭の解体											
II 解体工事仕様				・工作物（建築物以外）		《3.10.1》		・測定4		セキリティゾーン入口		・計		点	
				・樹木等		《3.11.1》		・測定5		処理作業中		・計		点	
				○地下埋設物埋設配管		《3.12.1》		・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界		・計		点	
								測定方法 ・自動測定器による測定		測定名称		測定方法			
										・測定4 ・測定5		粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			

外部仕上表

屋 根	軒 裏	外 壁
カラーガルバリウム鋼板t=0.4 瓦棒葺き アスファルトルーフィング（アスベスト含有） 野地板t=12	スレート板（アスベスト含有）t=5.0	・金属サイディングA t=15 縦張り（ガルバリウム鋼板t=0.3） ・金属サイディングB t=15 縦張り（ガルバリウム鋼板t=0.3） ・角波鋼板t=0.4
開 口 部	根 廻 り	
・アルミ製サッシ ・スチール製シャッター	モルタル金ゴテ	

備 考

○アスベスト含有材

・屋根：アスファルトルーフィング

・軒裏：スレート板t=5.0

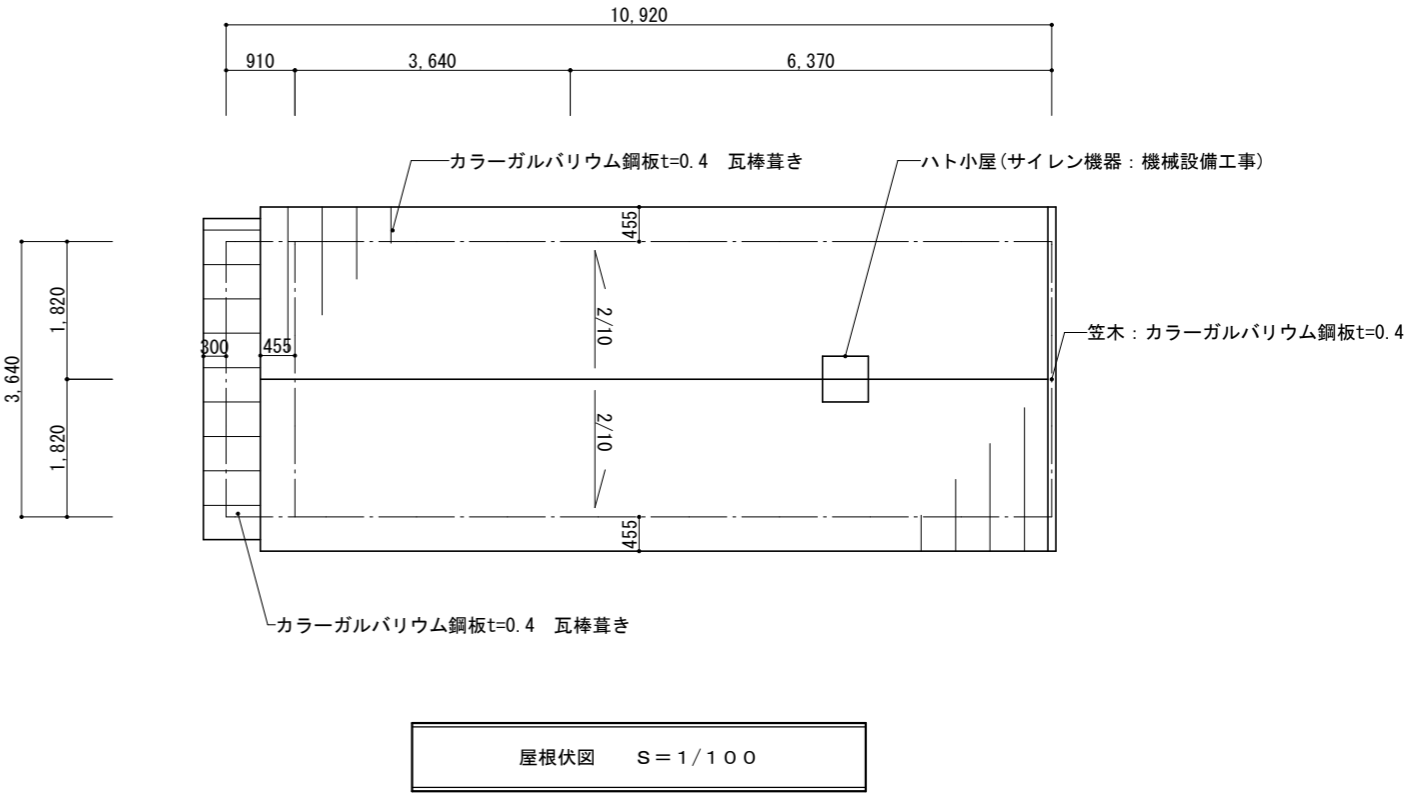
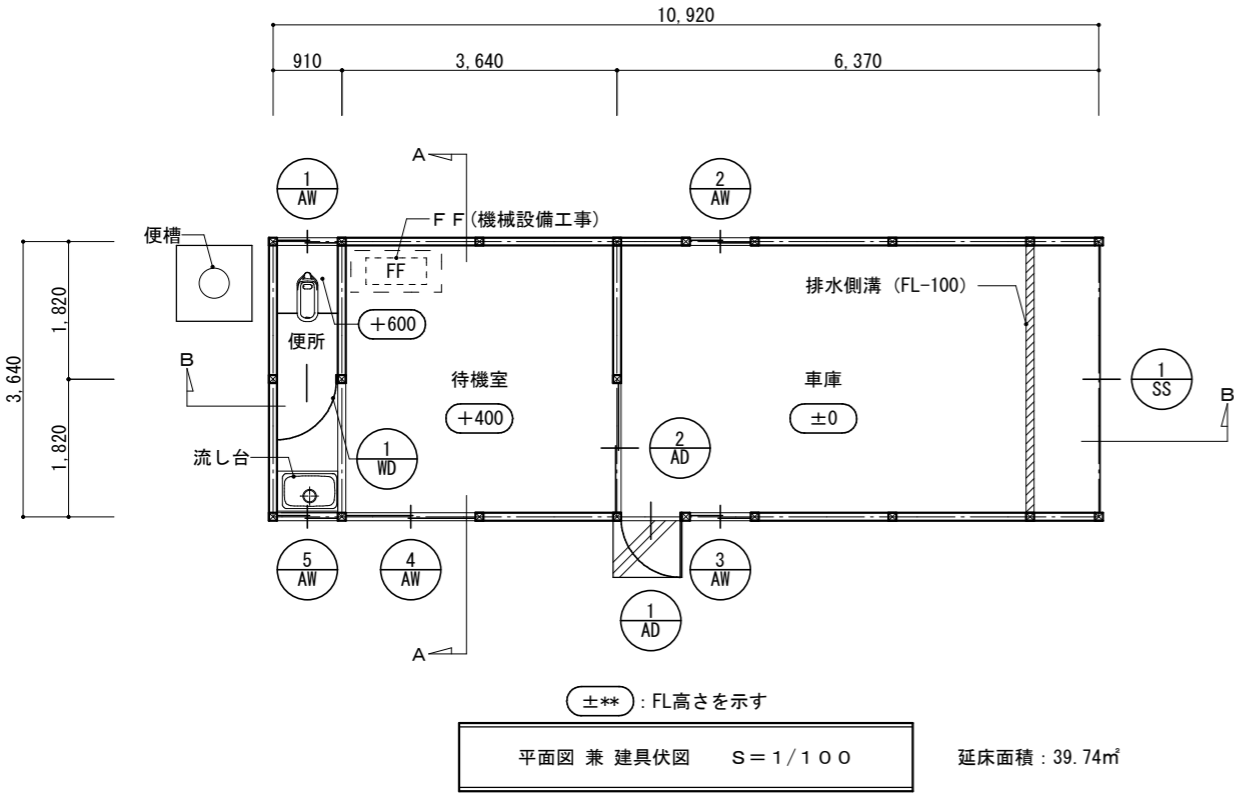
・車庫：スレート板t=5.0

□略記号表

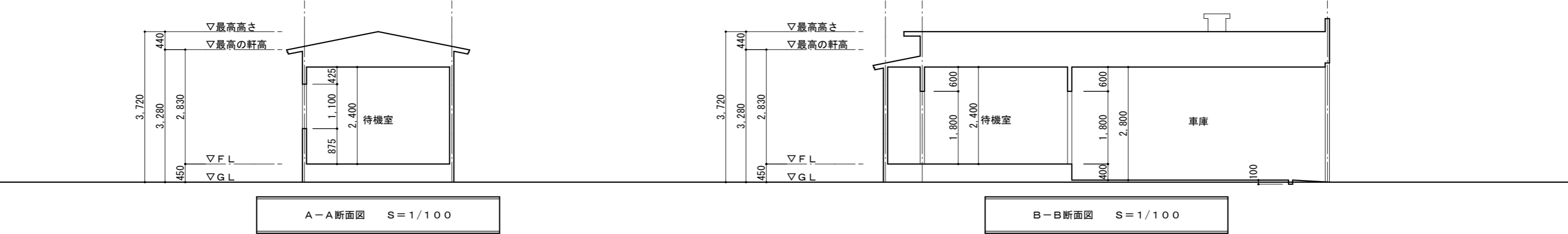
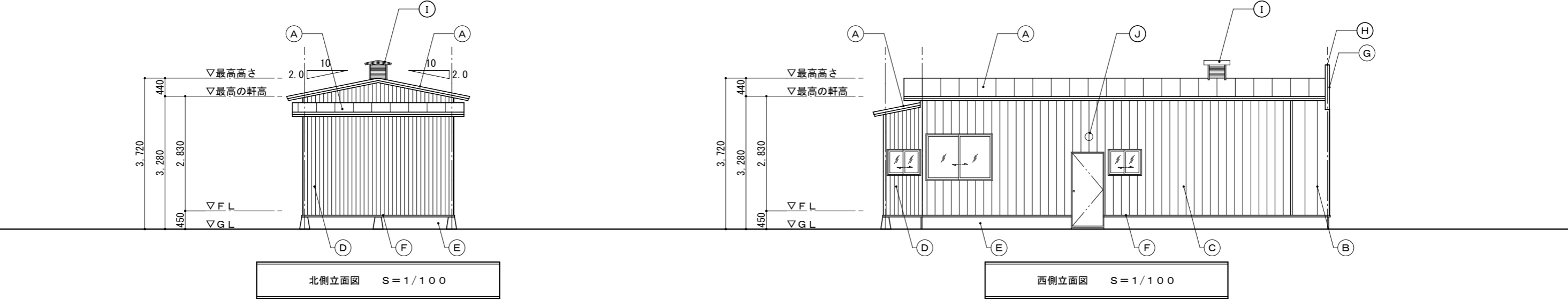
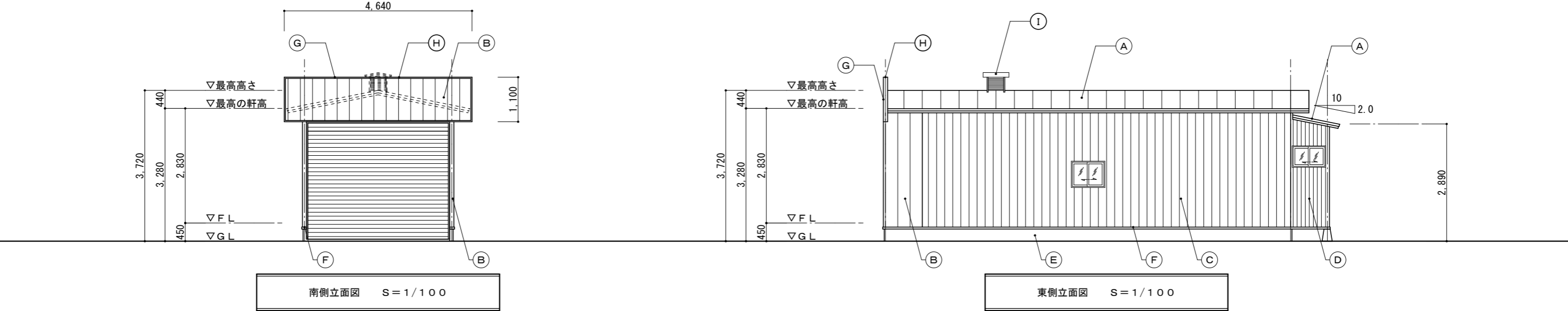
GB-D … 化粧石膏ボード

内部仕上表

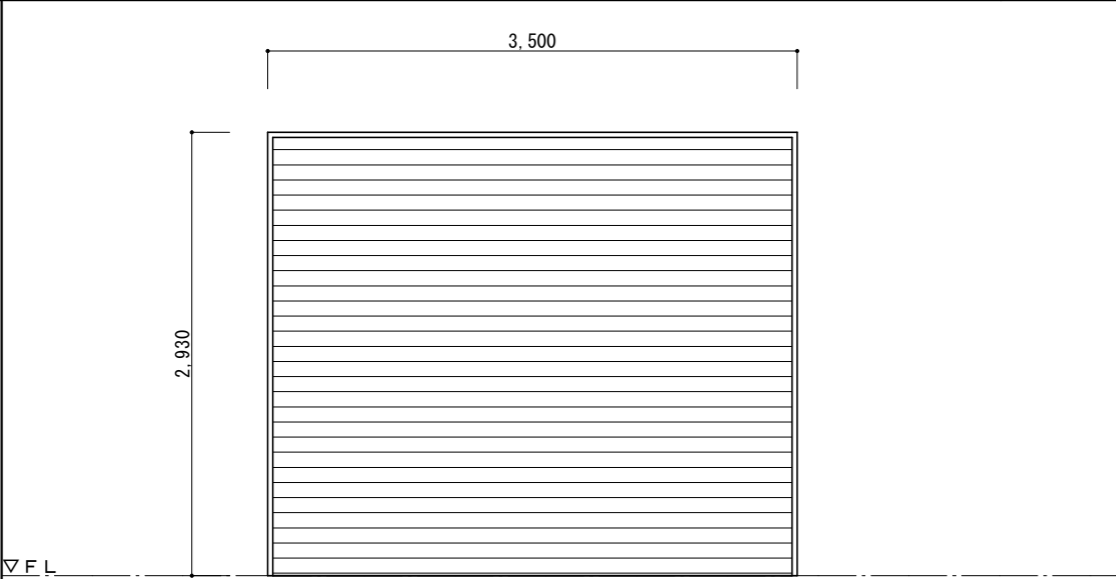
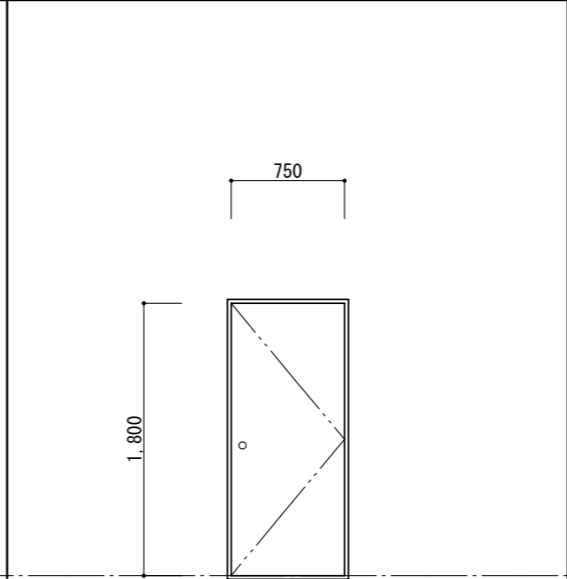
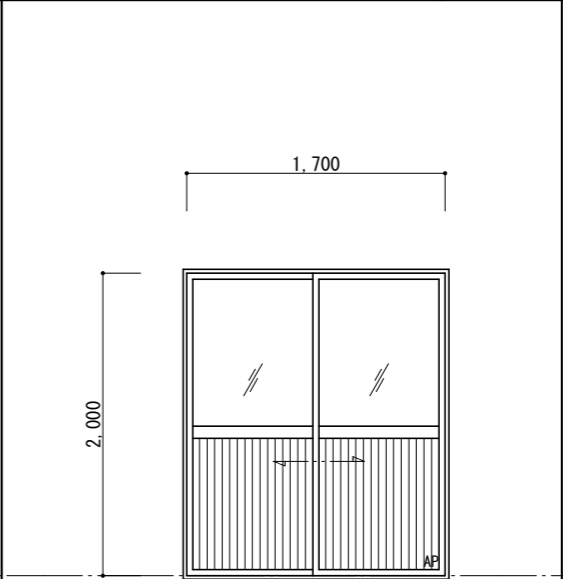
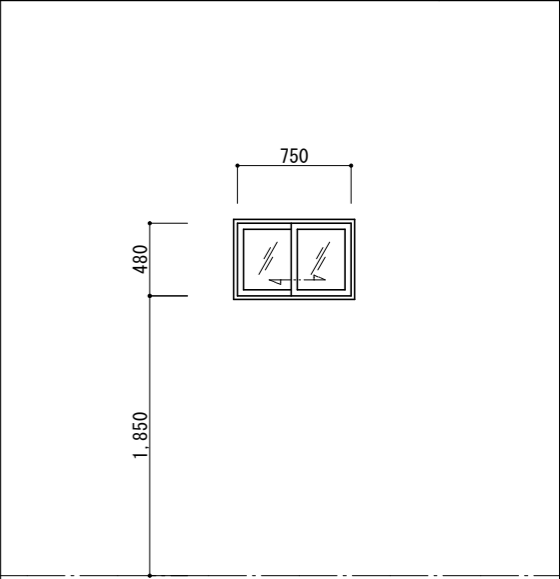
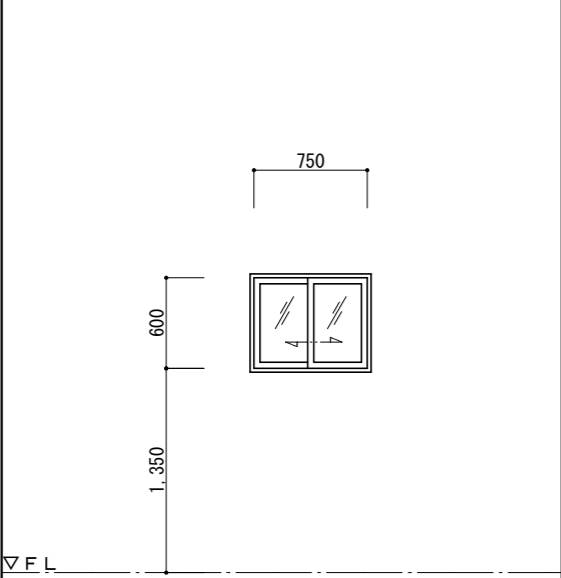
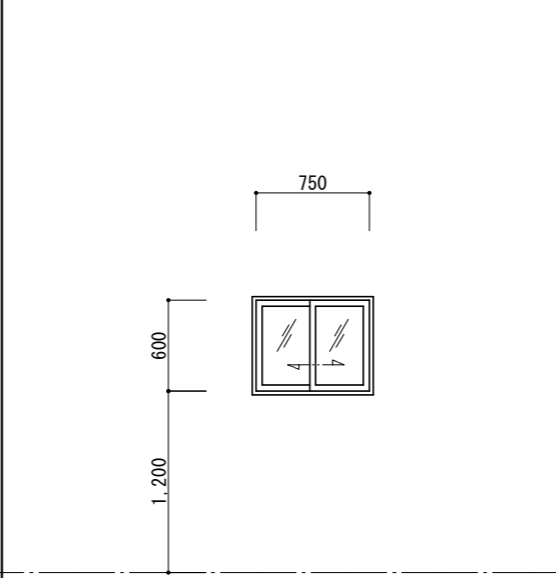
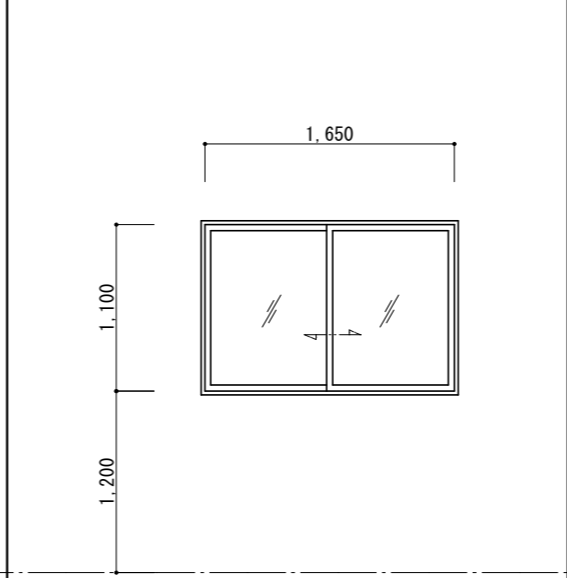
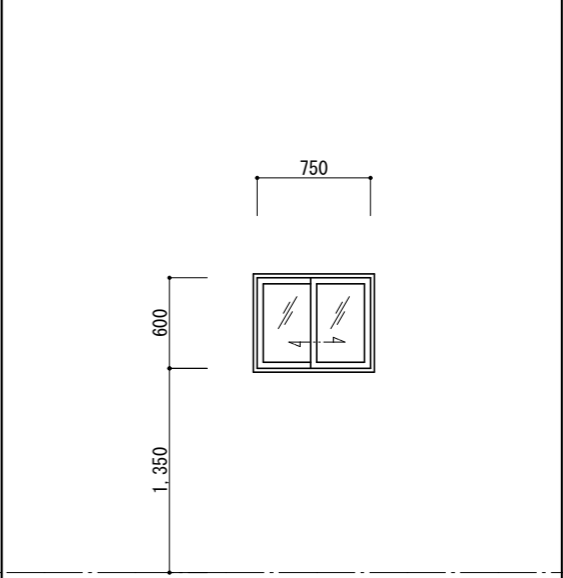
階	No	室 名	床		巾 木		No	壁		No	天 井		廻 縁	天 井 高	備 考	No	室 名
			下 地	仕 上	仕 上	高さ		下 地	仕 上		下 地	仕 上	仕 上				
1	1	車庫	コンクリート 下地	土間コンクリート	コンクリート巾木	300	1	木下地	スレート板（アスベスト含有）t=5.0	1	木下地	GB-Dt=9.5	木製廻縁	2, 8 0 0		1	車庫
	2	待機室	木下地	構造用合板t=12下地の上、 畳敷き	木製巾木	60	2	木下地	GB-Dt=12.5	2	木下地	GB-Dt=9.5	木製廻縁	2, 4 0 0	流し台、F F (M工事)	2	待機室
	3	便所	木下地	構造用合板t=12下地の上、 フローリングt=12	木製巾木	60	3	木下地	GB-Dt=12.5	3	木下地	GB-Dt=9.5	木製廻縁	2, 4 0 0		3	便所

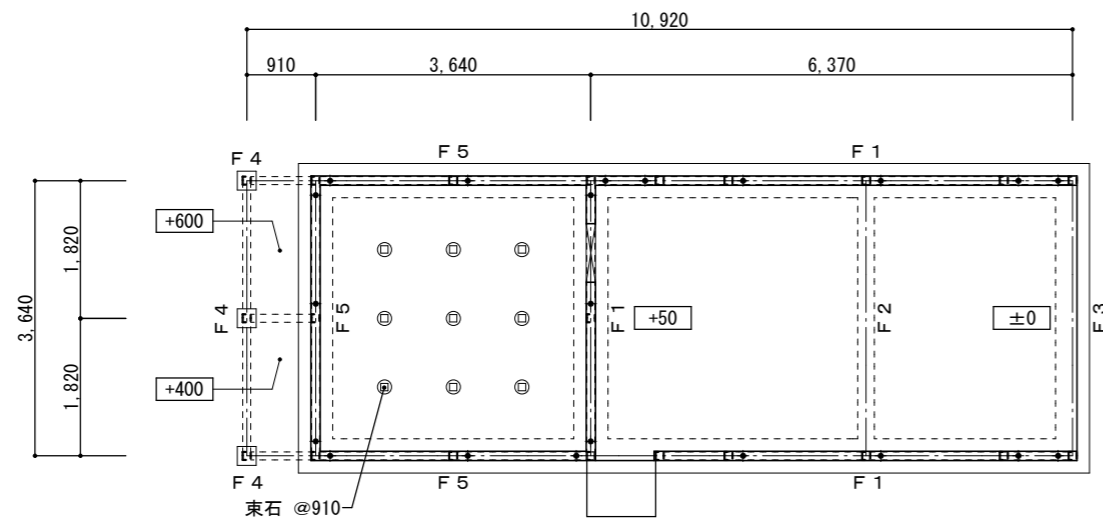


立面仕上表	Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 瓦棒葺き	Ⓔ	根廻り：モルタル金ゴテ	Ⓛ	ハト小屋(サイレン機器：機械設備工事)
	Ⓑ	外壁：金属サイディングA t=15 縦張り（ガルバリウム鋼板t=0.3）	ⓕ	水切り：カラーガルバリウム鋼板t=0.4	Ⓜ	人感センサー式照明(取り外し)
	Ⓒ	外壁：金属サイディングB t=15 縦張り（ガルバリウム鋼板t=0.3）	ⓖ	四方枠：カラーガルバリウム鋼板t=0.4	Ⓨ	・
	Ⓓ	外壁：角波鋼板t=0.4	ⓗ	笠木：カラーガルバリウム鋼板t=0.4	Ⓩ	・




訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No. 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 KA-003	設計 1級建築士登録第 219717号 長畑良博
	一級 青森県知事登録 第397号 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	設計年月日 R8. 3	図面名称 【旧屯所】立面図	縮尺 1/100	

記 号	S S－1車庫		1ヶ所	A D－1車庫		1ヶ所	A D－2待機室		1ヶ所	A W－1便所		1ヶ所
形 状												
種 別	軽量鋼製シャッター 手動			アルミ製建具 片開戸			アルミ製建具 引違戸			アルミ製建具 引違窓		
硝子 及 仕上	スラット、シャッターボックス：スチールt=0.8 （カラー鋼板） ガイドレール・座板・まぐさ：ステンレス			アルミパネル			フロート硝子t=3 下部：アルミパネル			型板硝子t=4		
金物 及 見込	付属金物一式（シャッターボックス、巻取シャフト、スプリング、手掛、ガイドレール、座板、まぐさ、ディンプルキー、中柱 他）			付属金物一式（丁番、握り玉、インテグナル錠 他）			付属金物一式（戸車、レール、クレント 他） <div>見込 70</div>			付属金物一式（戸車、レール、クレント 他） <div>見込 70</div>		
備 考										網戸		
記 号	A W－2車庫		1ヶ所	A W－3車庫		1ヶ所	A W－4待機室		1ヶ所	A W－5便所		1ヶ所
形 状												
種 別	アルミ製建具 引違窓			アルミ製建具 引違窓			アルミ製建具 引違窓			アルミ製建具 引違窓		
硝子 及 仕上	型板硝子t=4			型板硝子t=4			型板硝子t=4			型板硝子t=4		
金物 及 見込	付属金物一式（戸車、レール、クレント 他） <div>見込 70</div>			付属金物一式（戸車、レール、クレント 他）			付属金物一式（戸車、レール、クレント 他） <div>見込 70</div>			付属金物一式（戸車、レール、クレント 他） <div>見込 70</div>		
備 考	網戸			網戸			網戸					

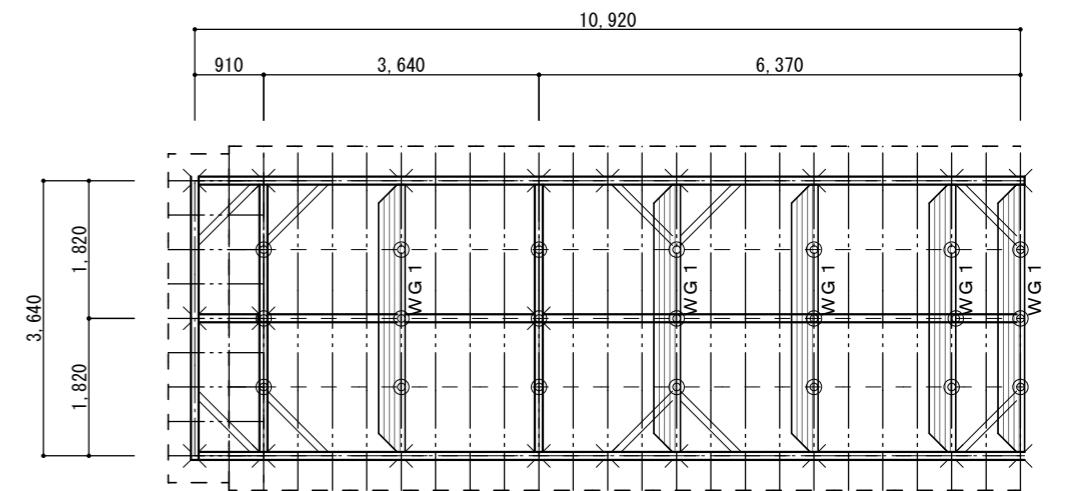


[凡 例]

 : 土間コンクリート

✦ : アンカーボルトM-12 L=450@2,700以内

±0 : 設計G Lからの高さを示す



[凡 例]

◎ : 小屋束

— — — : 母屋

— · — · — : 垂木

 : 軽量梁

<p>F 1 基礎詳細図 S = 1 / 2 0</p>	<p>F 2 基礎詳細図 S = 1 / 2 0</p>	<p>F 3 基礎詳細図 S = 1 / 2 0</p>
<p>F 4 基礎詳細図 S = 1 / 2 0</p>	<p>F 5 基礎詳細図 S = 1 / 2 0</p>	<p>束石詳細図 S = 1 / 2 0</p>

部材リスト			軽重量
名 称	部 材 寸 法	樹 種	
土 台	105×105	ヒバ 1等	
柱	105×105	杉 1等	
間 柱	36×105@455	杉 1等	
縦 横 胴 縁	18× 45@455	杉 1等	
筋 か い	45× 90	杉 1等	
桁	105×105	米松 1等	
頭つなぎ	105×105	米松 1等	
木梁 WG 1	105×330	米松 1等	
小 屋 束	105×105@910	杉 1等	
母 屋	105×105@910	米松 1等	
垂 木	45×105@455	米松 1等	
火 打 梁	90× 90	米松 1等	
窓台、窓まぐさ	45×105	杉 1等	
造 作 材	図示	杉 上小節	

訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-41 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	棟印	主任担当	担当	担当	No.	工事名	図面番号	設計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	2553-00	倉岡生活改善センター等改築工事	KA-005	
						設計年月日	図面名称	縮尺	
						R 8. 3	【旧屯所】基礎伏図、梁伏図	1/100	

構造設計特記仕様書

※1 構造設計図に記載された事項は本仕様書に優先して適用する。

※2 当仕様書に記載無き事項は、公共建築木造工事標準仕様書（令和 7年版）および公共建築工事標準仕様書（令和 7年版）による。

1. 建築概要・構造設計条件・地盤・地業工事

(1) 建物概要・構造設計条件										※記入なき場合は別資料参照	
建築物の所在地		青森県上北郡七戸町字倉岡地内								計算ルート	
建築物の名称及び用途		倉岡生活改善センター等改築工事 地区集会所								X方向 <input type="checkbox"/> 1－() <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様規定	
建築面積		303.49 m ²								Y方向 <input type="checkbox"/> 1－() <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様規定	
延べ面積		289.83 m ² <div>意匠図との不整合は意匠図を正とする</div>									
高さ		1 最高の高さ 6.650 m 2 最高の軒の高さ 4.260 m									
階数		地上 1 階 地下 階									
構造		木 造 一部 造								<input checked="" type="checkbox"/> 仕様規定	
		部位		床用		小梁用		梁・柱用		地震用	
積載荷重 (N/m ²)								構造計算書参照			
地震力		地震地域係数 Z		<input type="checkbox"/> 1.2 <input checked="" type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9							
		用途係数 I		<input checked="" type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 1.25							
		標準せん断力係数 C ₀		<input checked="" type="checkbox"/> 0.2 <input type="checkbox"/> 0.3							
風圧力		地表面粗度区分		<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input checked="" type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV							
		国土交通大臣が定める風速		V ₀ = 34 m/s							
		速度圧		q = 907 N/m ²							
積雪荷重		垂直最深積雪量		160 cm		単位重量		30		N/(m ² ・cm)	

(2) 地業工事

支持地盤	<input type="checkbox"/> G L - 1.5 m SWS貫入試験による砂質土 層 <input type="checkbox"/> 摩擦杭 GL- ** m ~ - ** mの地層の摩擦力により支持させる。
■ 直接基礎	長期地耐力 $q_{Lq} = 90$ kN/㎡ (短期地耐力 $q_{sq} = 180$ kN/㎡) <input type="checkbox"/> 独立基礎 ■ 布基礎 □ ベタ基礎 G L - 0.4 m 載荷試験 □ 有 □ 無
□ 地盤改良	<input type="checkbox"/> 柱状改良 □ 表層改良 設計基準強度 $F_c =$ kN/㎡ ※ 詳細は別図参照
□ 杭基礎	長期杭耐力 ${}_L R_a =$ kN/㎡ (短期杭耐力 ${}_s R_a =$ kN/㎡) <input type="checkbox"/> PHC杭 □ SC杭 □ 鋼管杭 □ CPRC杭 □ 現場打杭 <input type="checkbox"/> その他 ※ H-CP工法同等工法とする。
■ その他	設計G.L-1.5mまで、良質土で置換し、転圧、締め固めること。

(3) 地質調查結果

深度	土質	N 値	標準貫入試験					
			10	20	30	40	50	60
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

2. 鉄筋コンクリート工事

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc	品質基準強度 Fq	調合管理強度 Fm	スランプ
基礎コンクリート	■普通	21 N/mm ²	max (Fc, Fd)	Fq + 2.5 S _{9.1}	18 cm
土間コンクリート	■普通	21 N/mm ²	max (Fc, Fd)	Fq + 2.5 S _{9.1}	18 cm
捨てコンクリート	■普通	18 N/mm ²	18 N/mm ²	18 N/mm ²	15 cm

耐久設計基準強度 $F_d(\text{N/mm}^2)$	<input type="checkbox"/> 短期=18N/mm ² <input type="checkbox"/> 標準=24N/mm ² <input type="checkbox"/> 長期=30N/mm ² <input type="checkbox"/> 超長期=36N/mm ²			
構造強度補正係数 γ_{Sd}	θ : コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)			
標準値 (N/mm^2) 注 : 日平均気温の平年値が25°Cを超える場合は $\gamma_{Sd} = 6\text{N/mm}^2$ とする。	普通級「トランド」セメント 8 ≤ θ	5 ≤ θ	0 ≤ θ ≤ 8 0 ≤ θ ≤ 5	$\gamma_{Sd} = 3$ \rightarrow $\gamma_{Sd} = 6$
中熱級「トランド」セメント	11 ≤ θ	0 ≤ θ ≤ 11		
低熱級「トランド」セメント	14 ≤ θ	0 ≤ θ ≤ 14		
高炉セメントB種	13 ≤ θ	0 ≤ θ ≤ 13		

混和材料の種類(JIS 6204)	■AE減水剤	<input type="checkbox"/> 高性能AE減水剤	<input type="checkbox"/> 膨張材	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
呼び強度を保証する材齢、養生	■材齢	(■28日	□91日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>)
	■養生	(□現場封かん	■現場水中	■標準	<input type="checkbox"/>)

単位水重量 ≤ 185 kg/m³ 単位セメント重量 ≥ 270 kg/m³ 水セメント比 ≤ 65 % スランプの許容差 ±2.5 cm
塩化物イオン重量 ≤ 0.3 kg/m³
コンクリートの所要空気量の目標値 4.5 % (許容差 ±1.5 %)
アルカリ骨材反応を生じるおそれのない事

- ・コンクリートはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5を基本とする。
- ・セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- ・寒中、暑中その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たると場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- ・ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にてできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の上限は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。
- ・コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下回らないように養生を行う。
- ・乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。
- ・打継ぎ面はレタス状及び弱い弱なコンクリートを当日のうちに取り除き、健全なコンクリートを露出させる。再打込み前には十分な水湿を行う。

(2) 型枠

- ・ 材料は、合板厚12mmを標準とする。金属製型枠パネルはJIS A8652に規定するものを用いる。
- ・ 施工は、JASS5を基本とする。
- ・ 型枠の在置期間は下記の最小存置期間以上とする。

種類 部位 セメントの種類 平均気温 存置期間	せき板			支柱			
	基礎、梁側、柱、壁			スラブ下			梁下
	早強 [※] トラッドセメント	普通 [※] トラッドセメント 高炉セメントA種 ポツセメントA種	混合セメントのB種	早強 [※] トラッドセメント	普通 [※] トラッドセメント 高炉セメントA種 ポツセメントA種	混合セメントのB種	左記のすべてのセメント
コンクリートの材料(日)	15℃以上	2	3	5	8	17	28
	5℃以上	3	5	7	12	25	
	0℃以上	5	8	10	15	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ² 以上			スラブ下 圧縮強度がF _c の85%以上又は12N/mm ² 以上 梁下 圧縮強度がF _c 以上 施工中の荷重及び外力について、構造計算により確認要			

- ・スラブ下及び梁下のせき板は、原則として、支柱を取り外したのちに取り外す。
- ・片持はり、庇、スパン9.0m以上の梁下、大型スラブ等の支柱の在り期間中は、工事監督者の指示による。
- ・大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁のせき板も原則として行わない。
- ・支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
- ・盛りかえの後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- ・支柱の盛りかえは、小梁が落ちてから、スラブを行う。
- ・一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- ・直上層に着く大きい施工荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
- ・支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

(3) 鉄筋・継手

	種類	径	使用箇所	備考		
異形鉄筋	■SD295	D10～D16	基礎・基礎梁・土間・壁	JIS規格品		
	□SD345	D19～D25		JIS規格品		
	□SD390	D29～D35		JIS規格品		
高強度せん断補強筋	□					
	□					
	□1275/1420鋼	12.6φ				
溶接金網	■(種類及び径は意匠図による)			JIS規格品		
鉄筋定着	■「配筋標準図」による					
	□定着金物使用()					
鉄筋継手	継手の位置等の設計条件による仕様・等級			鉄筋の径		
	(1)引張り最小部位		(2) (1)以外の部位(注)			
			A級	B級	SA級	
	■重ね継手	■40d □35d □()d				D(16)以下(特記外)
	□圧接継手	□告示1463号第2項各号	□			D(32)以下
	□溶接継手	□告示1463号第3項各号	□	□		D()以下
	□機械式継手	□告示1463号第4項各号	□	□	□	D()以下
注)(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書2007)」によって検討した部材の条件・仕様によること。						
継手部の検査方法	外観検査		■有 □無	全数対象		
	引張試験		□有 ■無	3本/1ロット		
	超音波探傷試験		□有 ■無	30ヶ所/1ロット		
柱の帯筋の加工方法	□H型(フック型)		□W型(溶接型)	□S型(スパイラル型)		

- ・ 鉄筋は、JIS G3121の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に JASS5 を基本とする。
- ・ 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、上記または「鉄筋コンクリート造配筋標準図」(1)(2)、「壁式コンクリート構造配筋標準図」による。
- ・ 継手部分の施工要領は「日本鉄筋協会会『鉄筋継手工事標準仕様書』（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）を基本とする。

(4) 提出書類

提出書類	提出の要否	備考	提出時期
コンクリート工事施工計画書	■要 □否		作業前
鉄筋工事施工計画書	■要 □否		
コンクリート施工図	■要 □否		
鉄筋施工図	□要 ■否		
コンクリート調合計画書	■要 □否		
コンクリート打設計画書	■要 □否		
鋼材検査証明書(ミルシート)	■要 □否		鋼材搬入後
継手部の検査結果	□要 ■否		継手施工後
コンクリート品質管理表	□要 ■否		コンクリート打設後

(5) 検査項目

検査項目	検査の有無	備考	立会時期
配筋検査	■要 □否		配筋工事終了後
型枠検査	■要 □否		型枠工事終了後
コンクリート受入検査	■要 □否		コンクリート打設時
出来形検査	■要 □否		コンクリート打設後

- ・コンクリート及び鉄筋の試験は原則として公的機関に行い、工事監理者の承諾を受けること。
- ・フレッシュコンクリートの塩化物質測定は、原則として工事現場（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行う。試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真（写真）を保管し、承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- ・構造物コンクリートについて現場の圧強強度試験方法はJASSFT-603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込みごととする。
- また、打ち込み量が150㎢を超える場合は、150㎢ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。
- 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3つの運搬車ごとその必要数を連続して採取すること。
- 尚、供試体の数量は、特別に指示がない場合は、1回あたり1本以上とし、そのうち4割用い3本を要する。

3. 鉄骨工事

(1) 鉄骨及びその他周辺材料			
	種類	認定	備考
形鋼・鋼板	■SS400 (白1)	JIS規格品	オハバースライダ受け・プレート
	□SM490A (黄1)	JIS規格品	
	□SN400A (緑1) □SN400B (緑2) □SN400C (緑3) □SN490B (黄2) □SN490C (黄3)	JIS規格品	
円形鋼管	□STK400 □STK490	JIS規格品	
	□STKM400W □STKM400B □STKM490B	JIS規格品	
角形鋼管	■STKR400 □STKR490	JIS規格品	オハバースライダ受け
	□BCR295 □UBCR365	大臣認定	
	□SHC400 □SHC490	大臣認定	
軽量形鋼	■SSC400	JIS規格品	軽量梁
高力ボルト	□F10T □S10T □F8T	認定品 (□M12 □M16 □M20 □M22 □M24)	
中ボルト	■六角ボルト JIS B 1180, ャット JIS B 1181, 座金 JIS B 1256 □JIS B 1198		
頭付スライドボルト	■SS400 □SS490 □ABR400 □ABR490 □ABM400 □ABM490		
柱脚	□ 露出型柱脚 □ 根巻型柱脚 □ 埋込型柱脚 □ 既成品使用 → 詳細は別図参照		
デッキ	□SFデッキ □キーストデッキ □合成床板デッキ		
組立工場	□Hグレード □Mグレード以上	■Rグレード以上	□Jグレード以上
防錆塗装	□JIS K 5621 (□1種)	工場塗装外部	外部鉄骨 (2 回)
	□JIS K 5625 (□1種 □2種)		内部鉄骨 (2 回)
	■JIS K 5674 (■1種 □2種)		

- ・ 形鋼・鋼板の()内は鋼種識別記号を示す。特別な場合を除くこの識別記号とすること。
- ① 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」
- ② 社団法人日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
- ③ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
- ・ 接合部間の溶接は下記を基本とする。
- ① 日本建築学会「溶接作業規程、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
- ② 日本建築学会「鉄骨工事技術指針、工事現場施工Ⅳ」

(2) 提出書類

提出書類	提出の要否	備考	提出時期
工場製作施工計画書	■ 要 □ 否		作業前
現場作業施工計画書	■ 要 □ 否		
工作図	■ 要 □ 否		
鋼材検査証明書(ミルシート)	■ 要 □ 否		鋼材搬入後
製品社内検査記録(社内UTを含む)	■ 要 □ 否		社内検査後
鉄骨工事現場施工管理記録	■ 要 □ 否		建方終了後

(3) 検査項目

検査項目	検査の有無	備考	立会時期
現寸検査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		作業前
組立・開先検査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		鉄骨作成中
製品検査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		鉄骨作成後
建方検査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		鉄骨建方後
スタッド溶接後の検査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		スタッド溶接完了後

(4) 接合部の検査

- ・溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
- ・割れの疑いのある表面欠陥には、浸透探傷試験（JIS Z 2343-1）又は磁粉探傷試験（JIS Z 2320-1）を行う。

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	
□完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	100 % 個	AQQL 4.0 % 第6水準	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目視及び計測)
□	外観検査 ※	100 %	100 %	%	
□部分溶込・隅内溶接部	外観検査 ※	100 %		%	


第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。

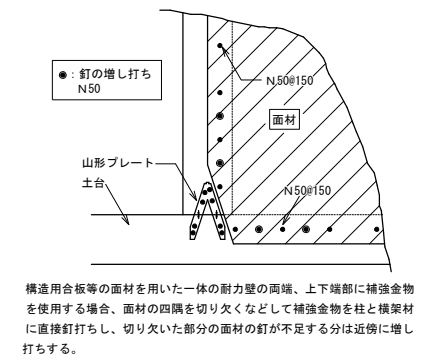
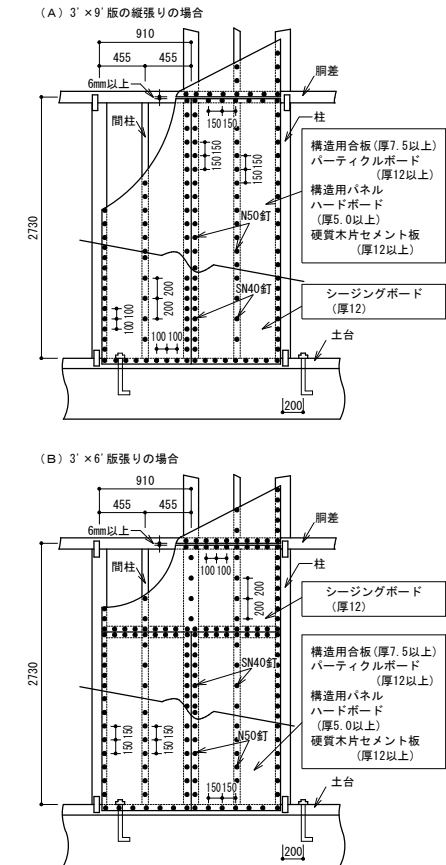
- ・ 高力ボルト締め付けの確認(結果を後日工事監理者に報告すること。)
 - ①一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常がないことを確認する。
 - ②トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

4. その他(設備等)

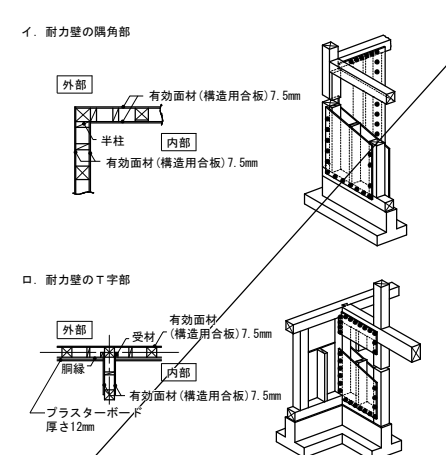
1. 設備
建築物に設ける建築設備にあっては、特記なき限り、建築基準法第129条の2の3の事項に準拠する。
2. 天井の脱落防止
☐ 特定天井（建設省告示771号に基づき設計を行う） ☒ 特定天井以外（打合せによる）
3. 梁貫通孔
鉄筋コンクリート梁の補強方法：「ダイヤレンス（BCJ評定法）（同等工法）」による。
鉄骨梁の補強方法：「Oリング工法（BCJ評定法）（同等工法）」による。

訂正		〒034-0094 青森県十和田市西十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	校印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S-01	設 計 1級建築士登録第 219717号
		一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 石川設計					設計年月日 R 8 . 0 3	図面名称 【集会場】構造特記仕様書	縮尺 N S	長 畑 良 博

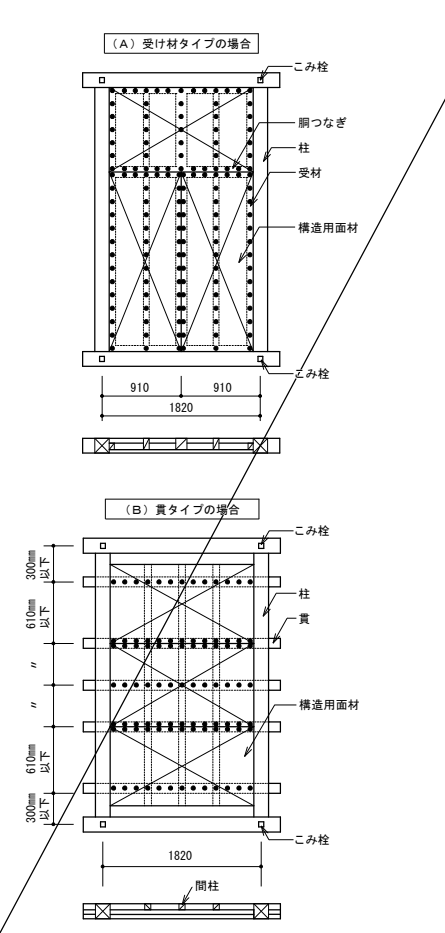
9. 大壁造における構造用面材の張り方



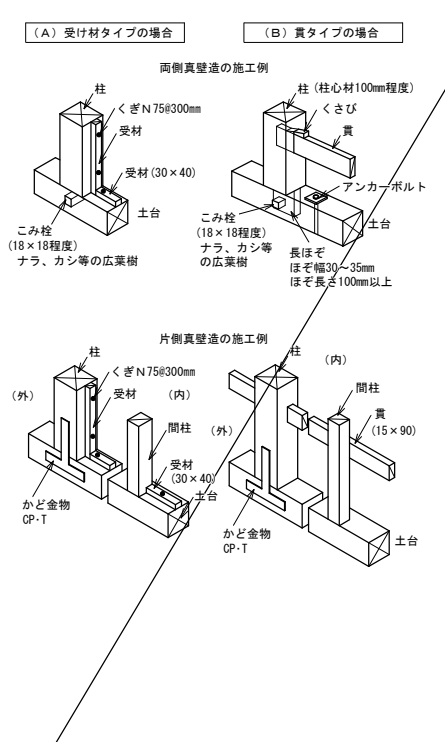
10. 面材耐力壁交差部の施工例



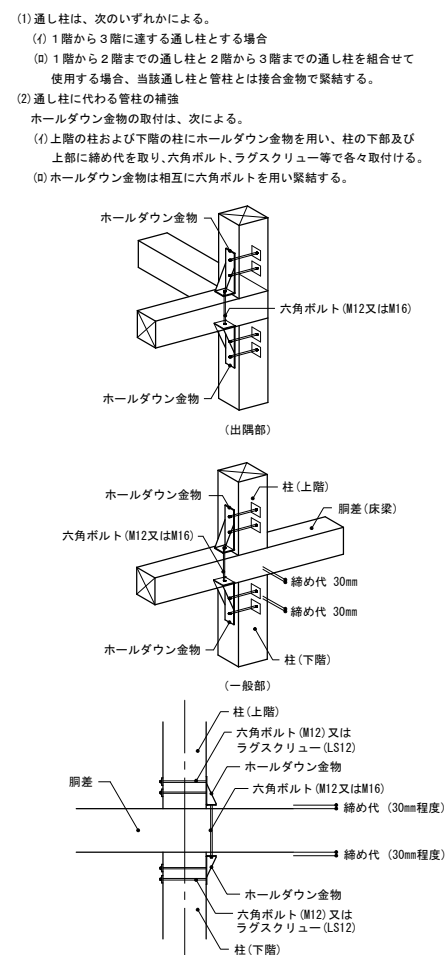
11. 真壁造における構造用面材の張り方



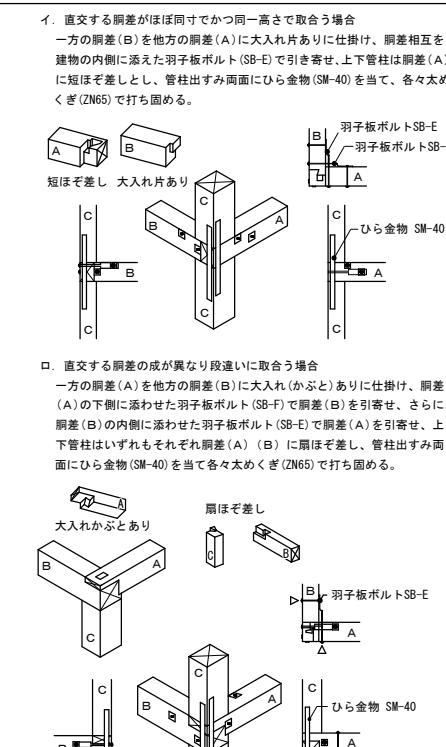
12. 構造用面材を用いた真壁造における柱上下端部の接合方法の例



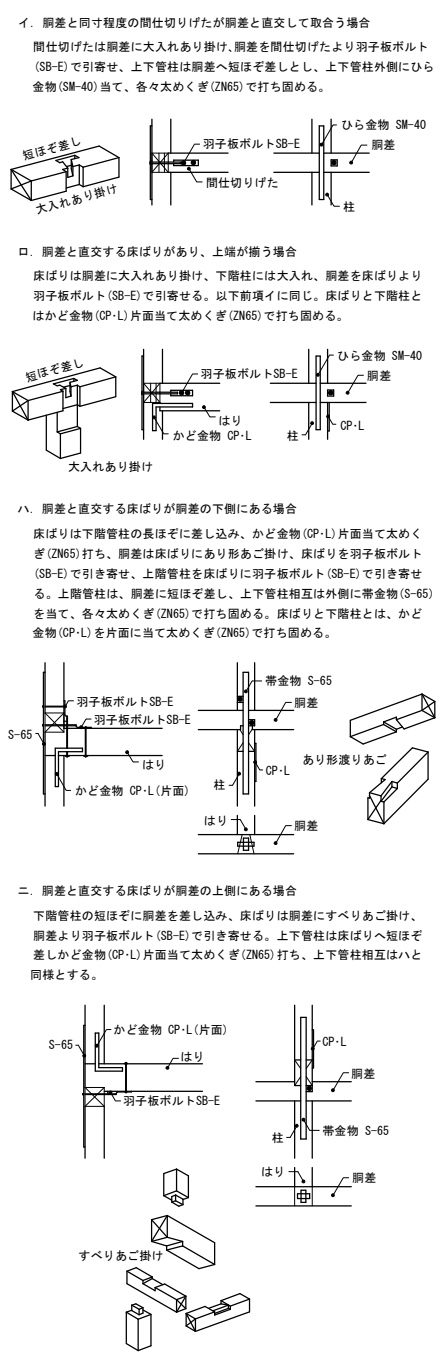
13. 通し柱



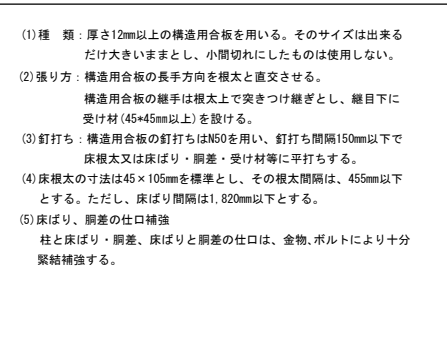
14. すみ柱、出すみの補強例



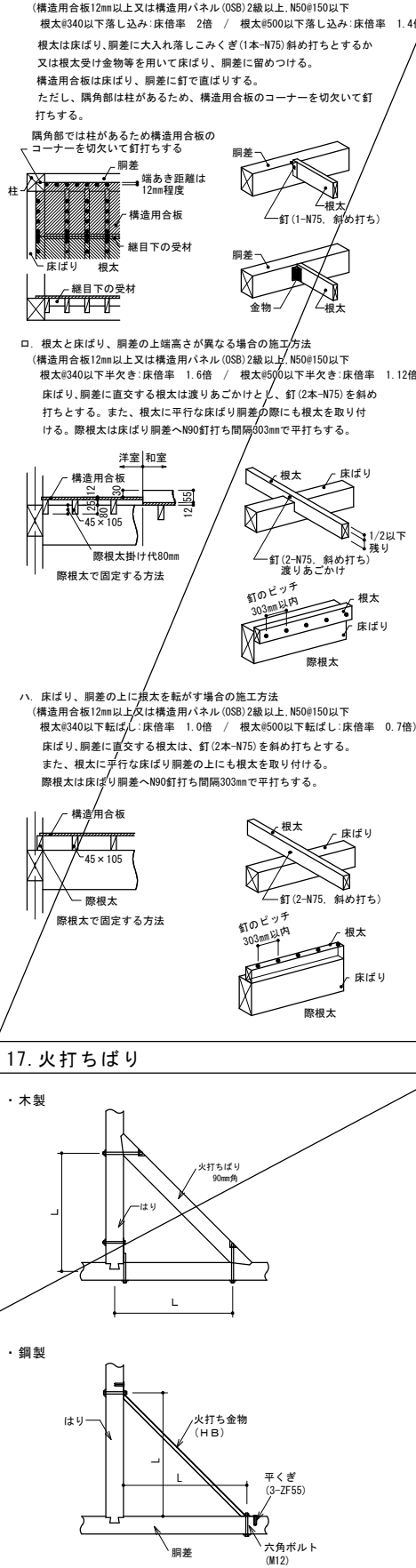
15. すみ柱に準ずる柱の仕口補強例



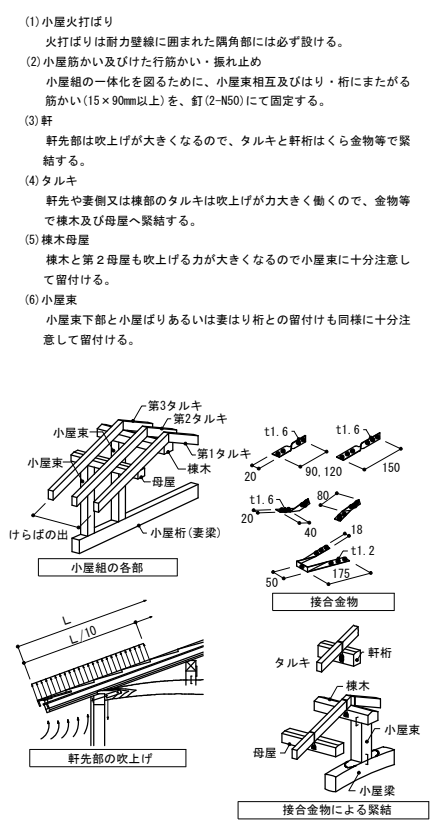
16. 床組み



17. 火打ちばり



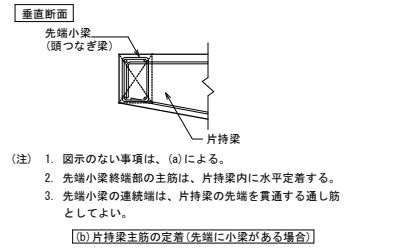
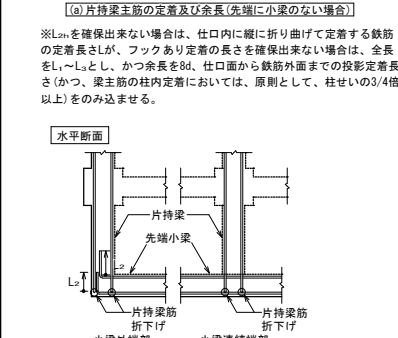
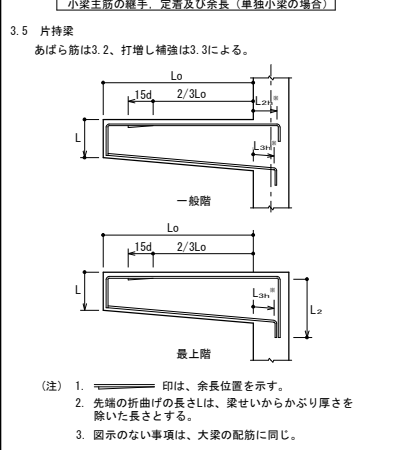
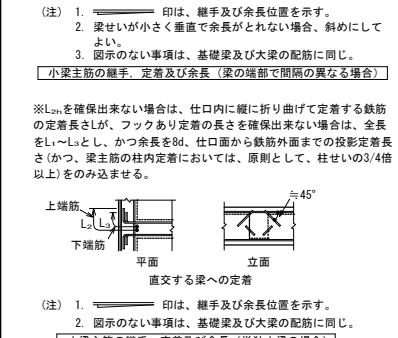
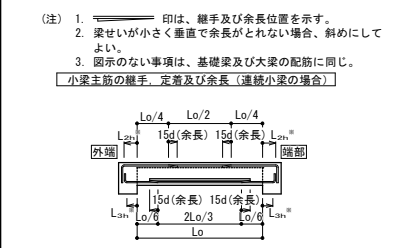
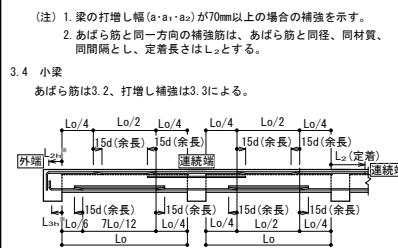
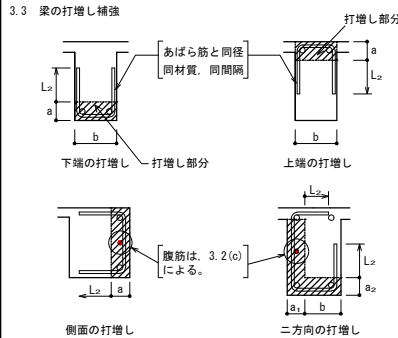
18. 屋根・小屋組の耐風対策



19. 補足事項 構造用製材の2級相当品の解説

材面の品質		基準値
節*	狭い材面	径比≦40%
	広い材面	材端部 径比≦25%
集中節**	狭い材面	径比≦40%
	広い材面	材端部 径比≦60%
丸身		径比≦60%
貫通割れ		≦20%
目まわり	木口	木口の長辺の寸法の1.5倍以下
	材面	材長の1/6以下
縦横走行の傾斜		木口の短辺寸法の1/2以下
平均年輪幅		1：8以下
髓心節又は髓	木口の長辺が240mm未満の場合	8mm以下
	木口の長辺が240mm以上の場合	髓の中心から半径50mm以内の部分の年輪界がない事。
腐朽	(1) 程度の軽い腐れ	髓の中心から半径50mm以内の部分の年輪界がない事。
	(2) 程度の重い腐れ	木口の長辺に係る材面におけるりよう縁から、材面の幅の1/3の距離までの範囲において髓の中心から半径50mm以内の部分の年輪界がない事。
曲がり		(1) 程度の軽い腐れ
狂い及びその他の欠点		(2) 程度の重い腐れ

* 印：材面における欠け、傷及び穴を含み、集中節を除く。
** 印：材面における欠け、傷及び穴を含む。



[b]片持梁主筋の定着(先端に小梁がある場合)

4節 壁、その他の配筋

4.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

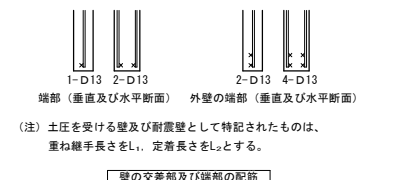
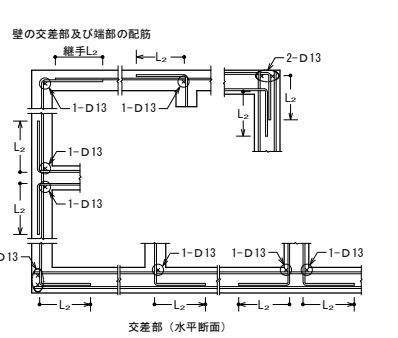
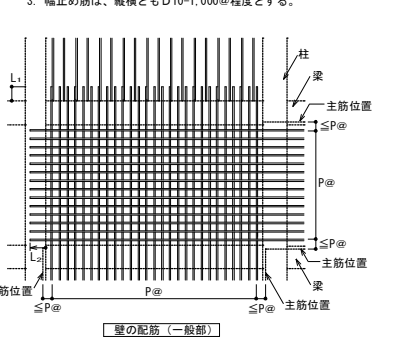
片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	180	KA1 KA3
KW2	縦筋 D13-150@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	200	KA2 KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

4.2 壁の継手及び定着

(注) 1. 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁配筋の重ね継手は l_n 、定着の長さは l_d とする。
3. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。



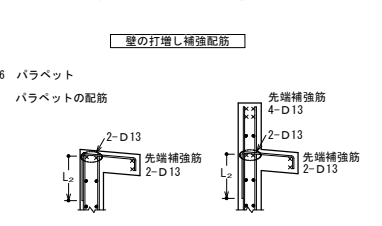
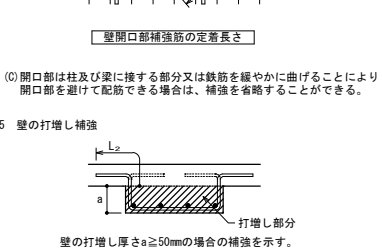
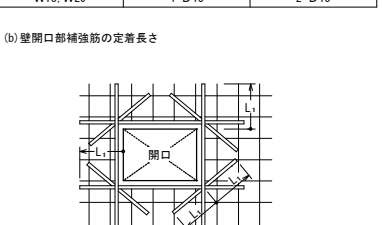
4.4 壁の開口部補強

(a)耐震壁を除く開口部の補強筋は、下表による。

壁の種別	補強筋	
	縦筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

壁開口部補強筋(B形)

壁の種別	縦筋	斜め
W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

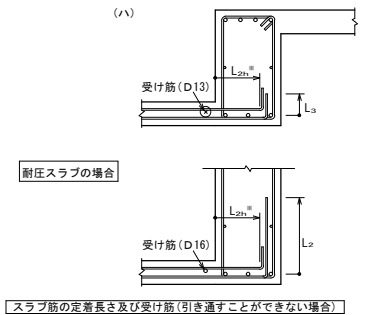
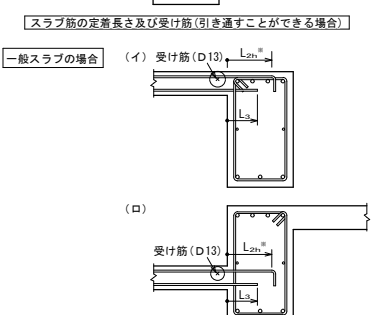
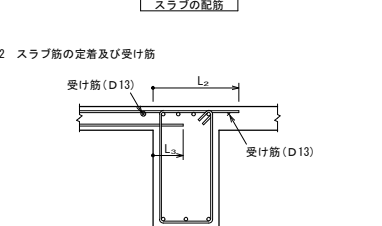
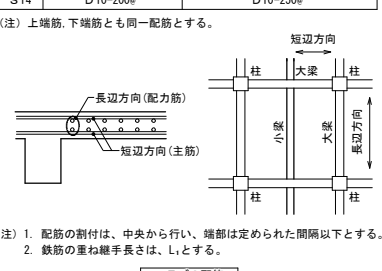


5節 スラブの配筋

5.1 スラブの基準配筋

配筋種別	短辺方向(主筋) 全端	長辺方向(配力筋) 全端
S1	D13-100@	D13-100@
S2	D13-100@	D13-150@
S3	D13-100@	D10, D13-150@
S4	D13-150@	D13-150@
S5	D13-150@	D10, D13-150@
S6	D13-150@	D10-150@
S7	D10, D13-150@	D10, D13-150@
S8	D10, D13-150@	D10-150@
S9	D10, D13-150@	D10-200@
S10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S11	D10, D13-200@	D10-200@
S12	D10, D13-200@	D10-250@
S13	D10-200@	D10-200@
S14	D10-200@	D10-250@

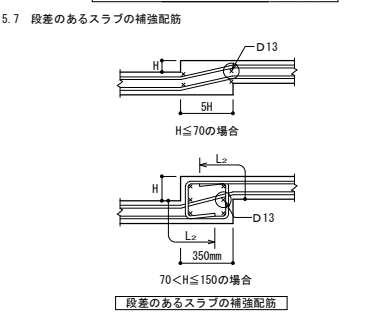
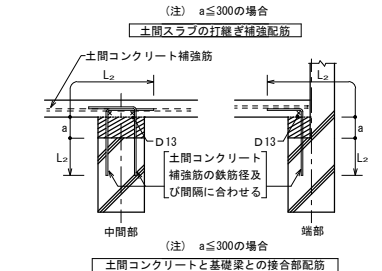
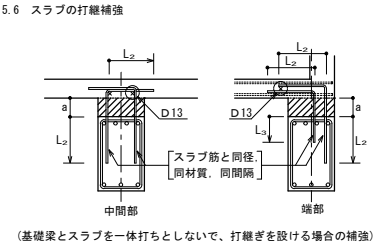
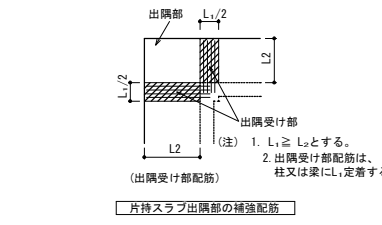
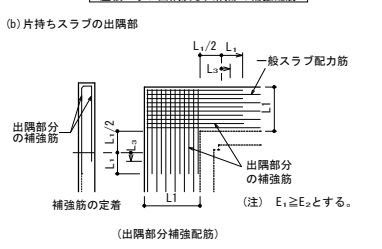
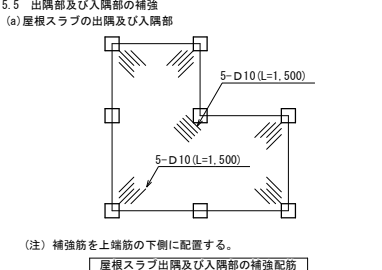
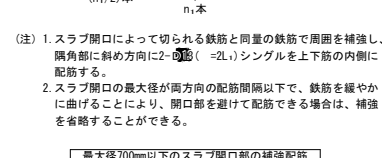
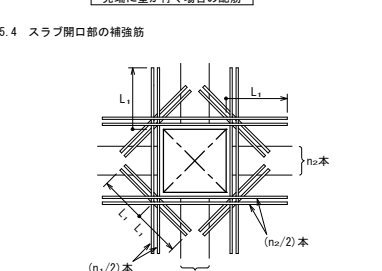
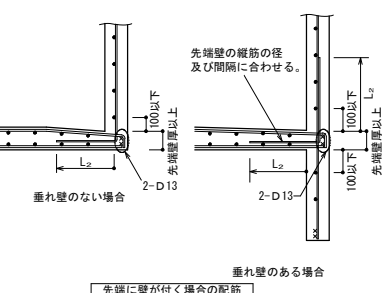
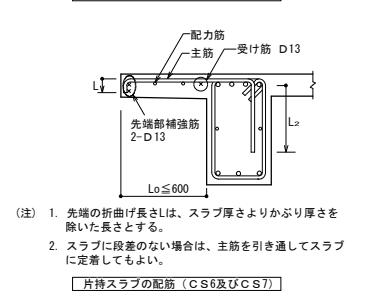
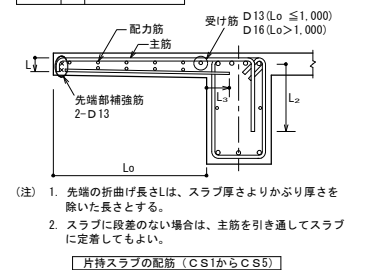
(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



※ l_{dn} を確保出来ない場合は、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ l_d が、フックあり定着の長さを確保出来ない場合は、全長を $l_d \sim l_n$ とし、かつ余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上)をのみみさせる。

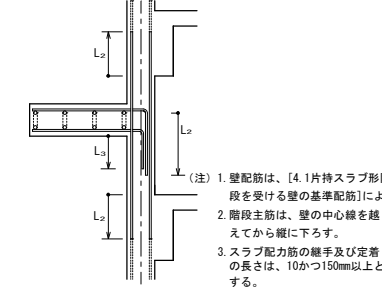
5.3 片持スラブ

配筋種別	主筋	追加	
		上	下
CS1	D13-100@	D10-200@	D10-400@
CS2	D13-200@	D10, D13-200@	—
CS3	D10, D13-150@	D10, D13-300@	—
CS4	D10, D13-200@	D10-200@	—



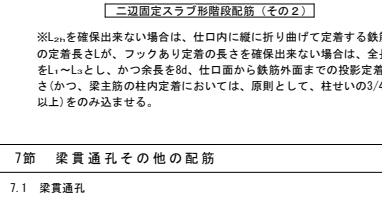
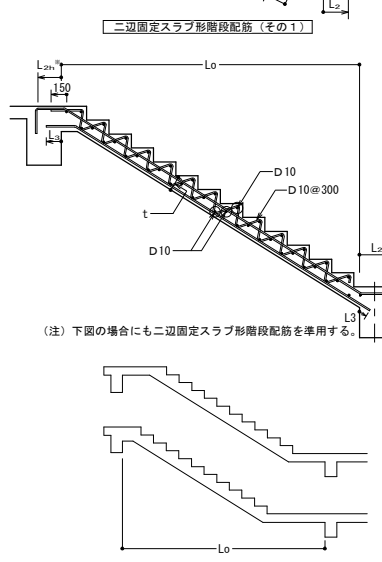
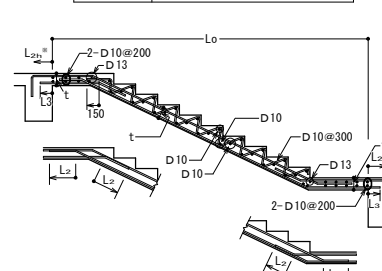
6節 階段の配筋

配筋種別	KA1	追加
配筋図	D13 D10-300@	2-D13 D13 D10-300@
配筋図	KA3 D10-300@ D13	KA4 D10-300@ 2-D13 D13



6.2 二辺固定スラブ形階段の基準配筋

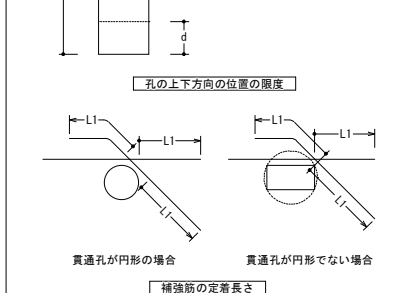
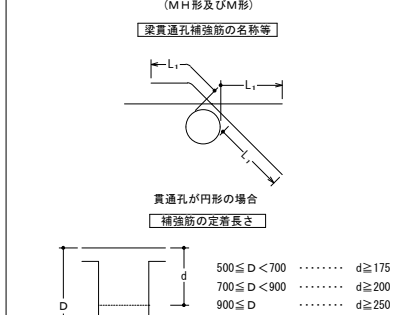
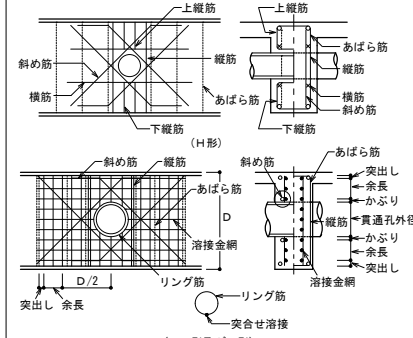
配筋種別	上端筋、下端筋とも(全端)
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13, D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@



7節 梁貫通孔その他の配筋

7.1 梁貫通孔

(注) 1. 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
2. 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
3. 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より1/3Dの範囲には設けてはならない。
4. 孔は、柱面から原則として、1.5D(Dは梁せい)以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
5. 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
6. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
7. 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図の[補強筋の定着長さ]による。
8. 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を縦やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強を省略することができる。
9. 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
10. 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
11. 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

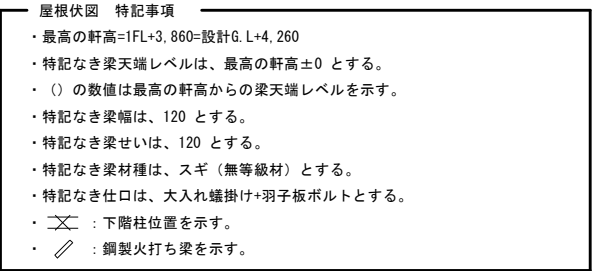
配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-6φ-100@	
M4	6-2-D13	2-6φ-100@	


(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。

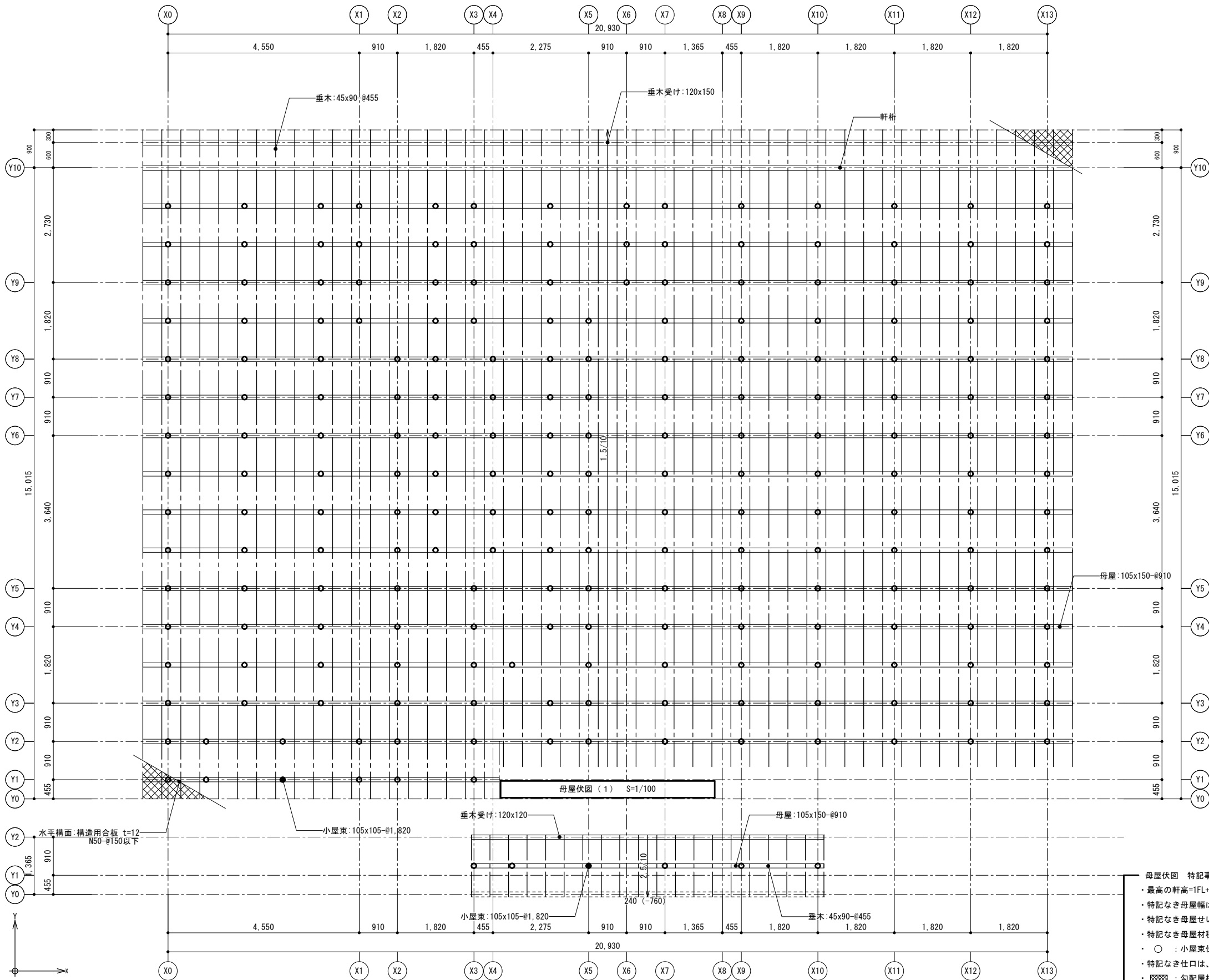
MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2	2-2-D13	なし	なし	
MH3	2-2-D13	2-6φ-100@		
MH4	4-2-D13	2-6φ-100@		
MH5	4-2-D16	2-6φ-100@		
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	


(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。



訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	様印	主任担当	担当	担当	N.○ 2553-00	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S-08	設計 1級建築士登録第 219717号
	一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 石川設計					設計年月日 R8.03	図面名称 【集会場】屋根伏図	縮尺 1/100	長 畑 良 博

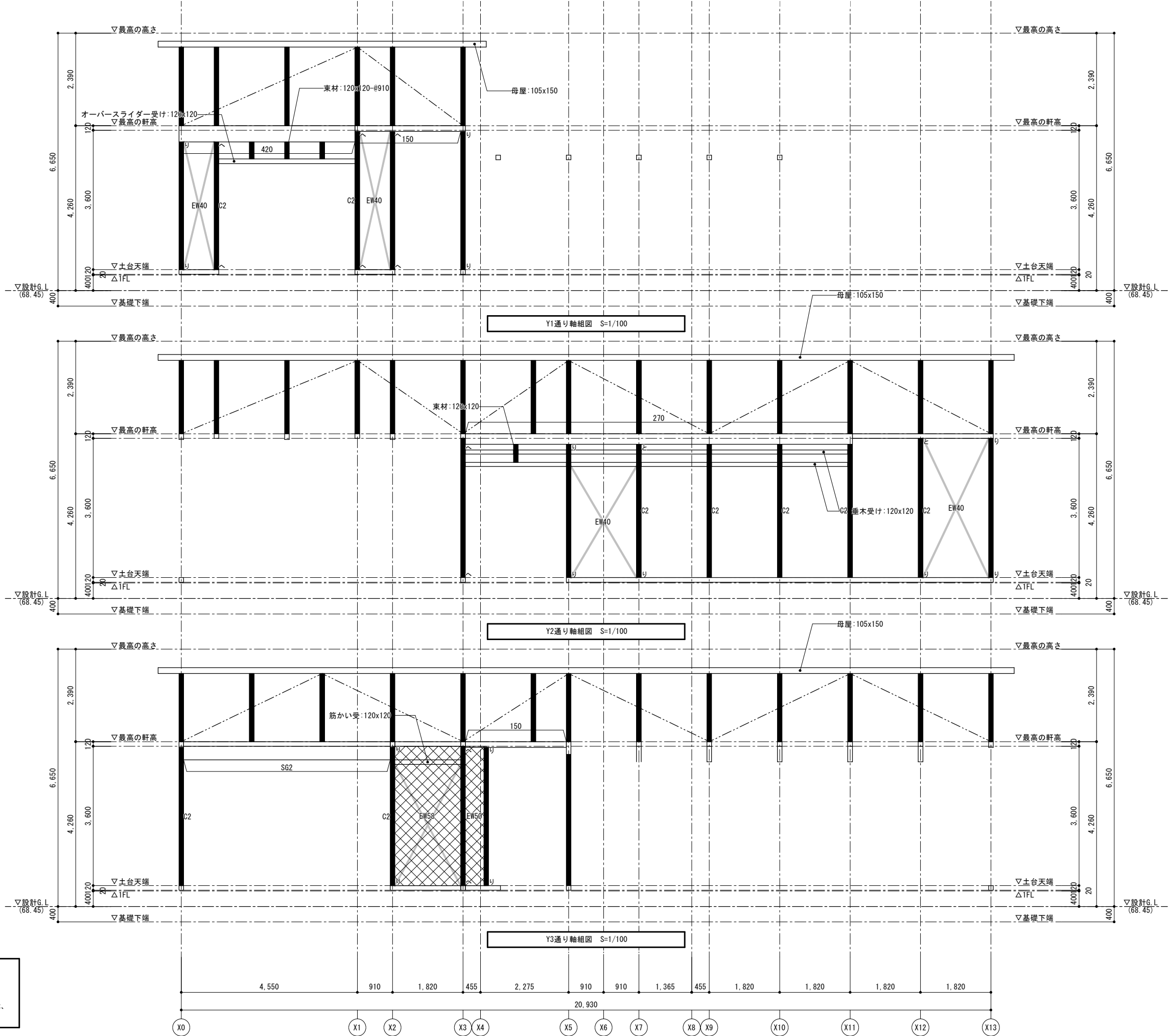


母屋伏図 特記事項

- ・最高の軒高=1FL+3,860=設計G.L.+4,260
- ・特記なき母屋幅は、105 とする。
- ・特記なき母屋せいは、150 とする。
- ・特記なき母屋材種は、スギ（無等級製材）とする。
- ・ ○ ：小屋束位置を示す。
- ・特記なき仕口は、大入れ蟻掛け+羽子板ボルトとする。
- ・  ：勾配屋根の水平横面を示す。仕様は下記による。

屋根勾配は、30度以下 とする。
面材は、構造用合板 t=12 とし、釘は、N50-φ150（へりあき20mm）とする。
垂木は、45×90-φ455 とし、転び止め4-N75千鳥釘止めとする。
単位長さあたりの許容せん断力は、1.96 kN/m 以上とする。

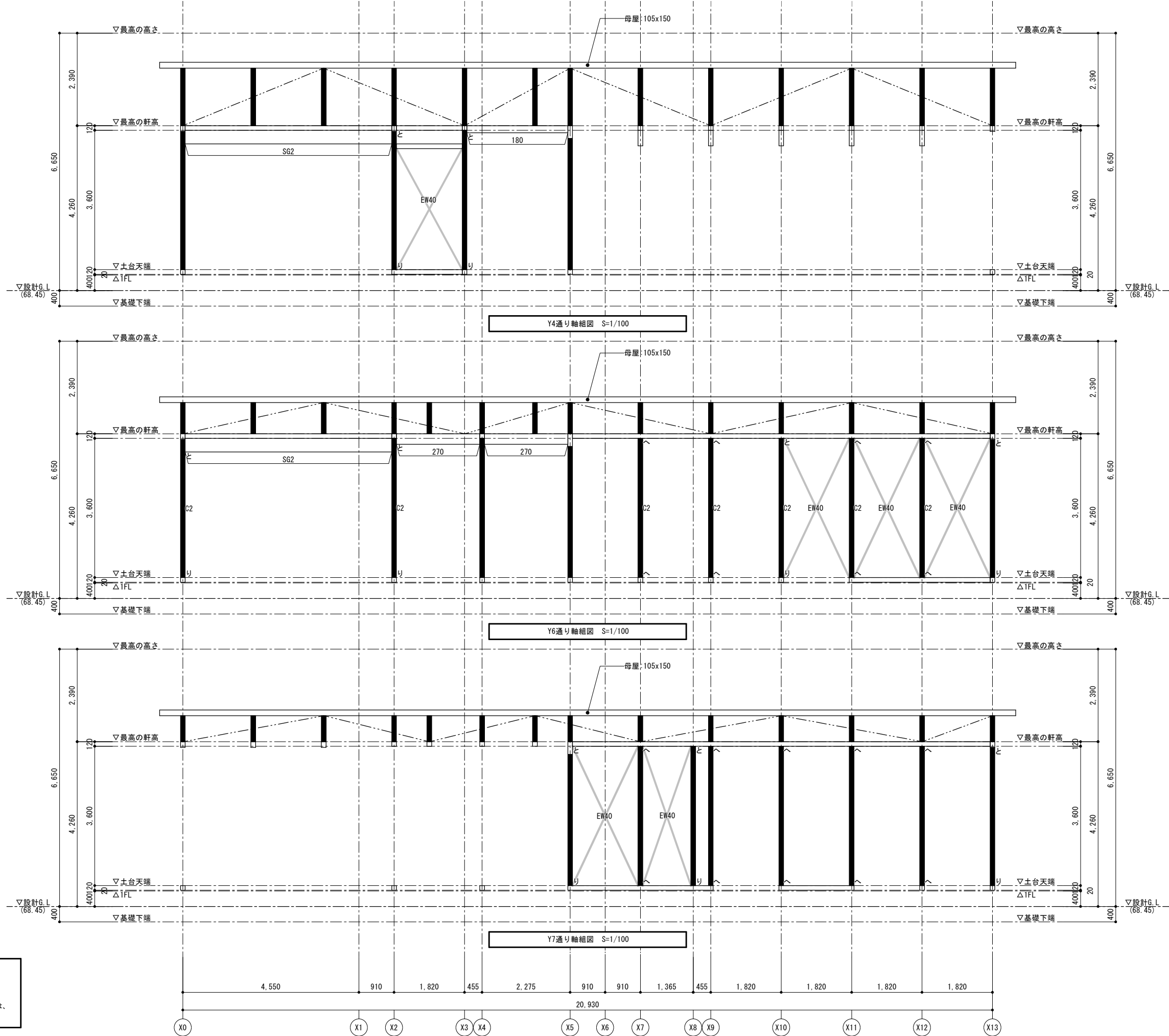
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				校印	主任担当	担当	担当	N o .	工事名	図面番号	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号				株式会社 石川設計				2553-00	倉岡生活改善センター等改築工事	S-09	
									設計年月日	図面名称	縮尺	
									R 8 . 03	【集会場】母屋伏図	1/100	



軸組図 特記事項

- ・特記なき柱は、C1 とする。
- ・特記なき柱せいは、120 とする。
- ・特記なき梁せいは、120 とする。
- ・特記なき、筋かいの取り付く柱および柱・間柱の金物は、フックコーナー<告示”は”以上> (タナカ) を示す。

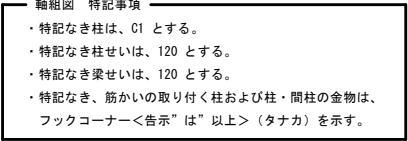
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176 (25) 2100 (代) FAX 0176 (25) 2101	換印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S-10	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号	株式会社 石川設計				設計年月日 R 8 . 0 3	図面名称 【集会場】軸組図 (1)	縮尺 1 / 1 0 0	




軸組図 特記事項

- ・特記なき柱は、C1 とする。
- ・特記なき柱せいは、120 とする。
- ・特記なき梁せいは、120 とする。
- ・特記なき、筋かいの取り付く柱および柱・間柱の金物は、フックコーナー<告示”は”以上>（タナカ）を示す。

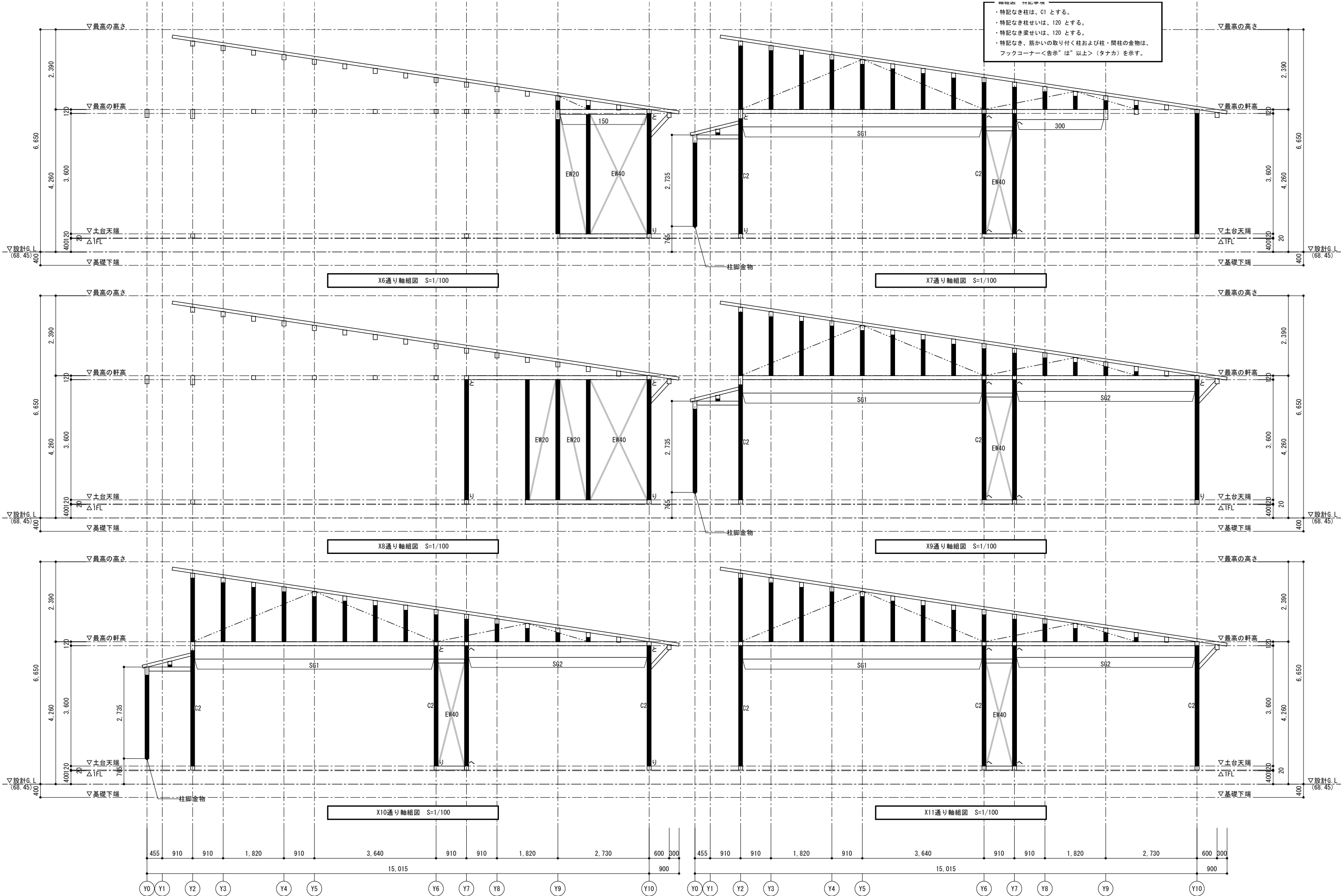
訂正			〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				換印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S - 1 1	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
			一級 青森県知事登録 第397号				株式会社 石川設計				設計年月日 R 8 . 0 3	図面名称 【集会場】軸組図（2）	縮尺 1 / 1 0 0	



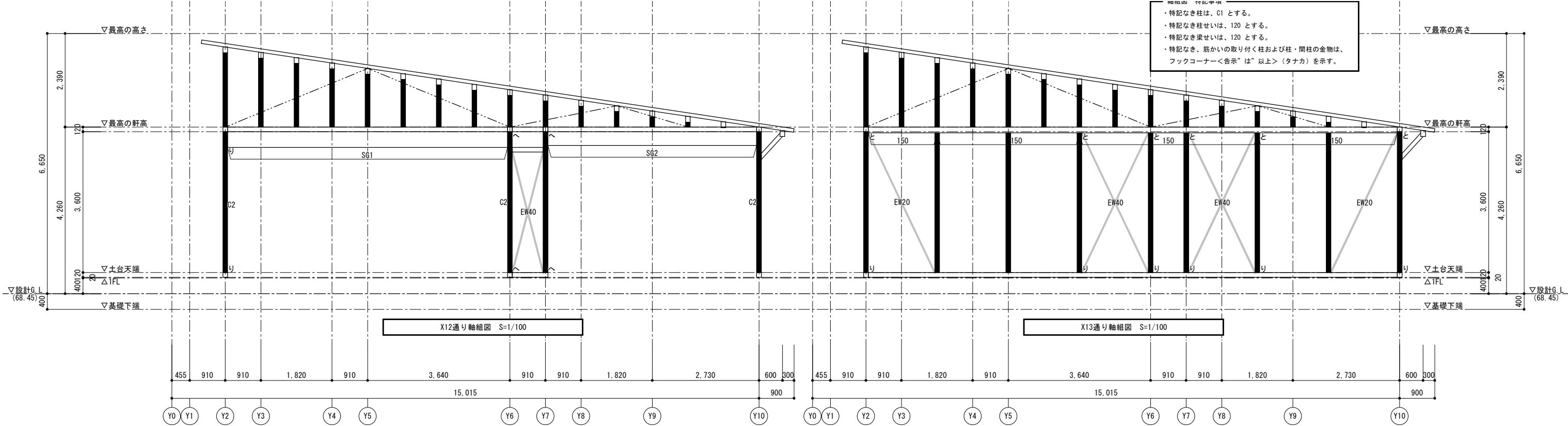
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	換印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S-12	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 石川設計					設計年月日 R 8 . 0 3	図面名称 【集会場】軸組図 (3)	縮尺 1 / 1 0 0	



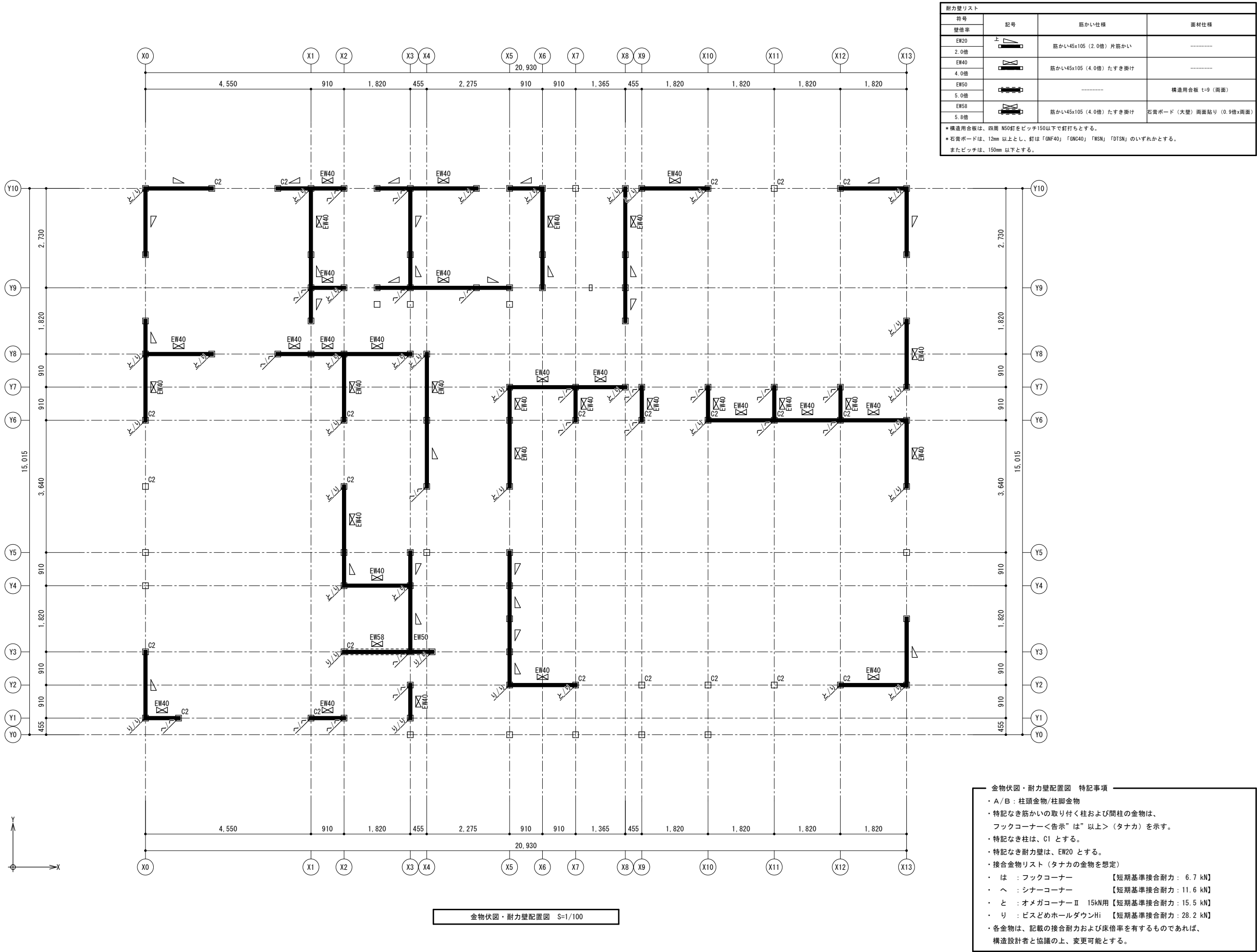
訂正			〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				校印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築工事	図面番号 S - 1 3	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
			一級 青森県知事登録 第397号				株式会社 石川設計				設計年月日 R 8 . 0 3	図面名称 【集会場】軸組図（4）	縮尺 1 / 1 0 0	



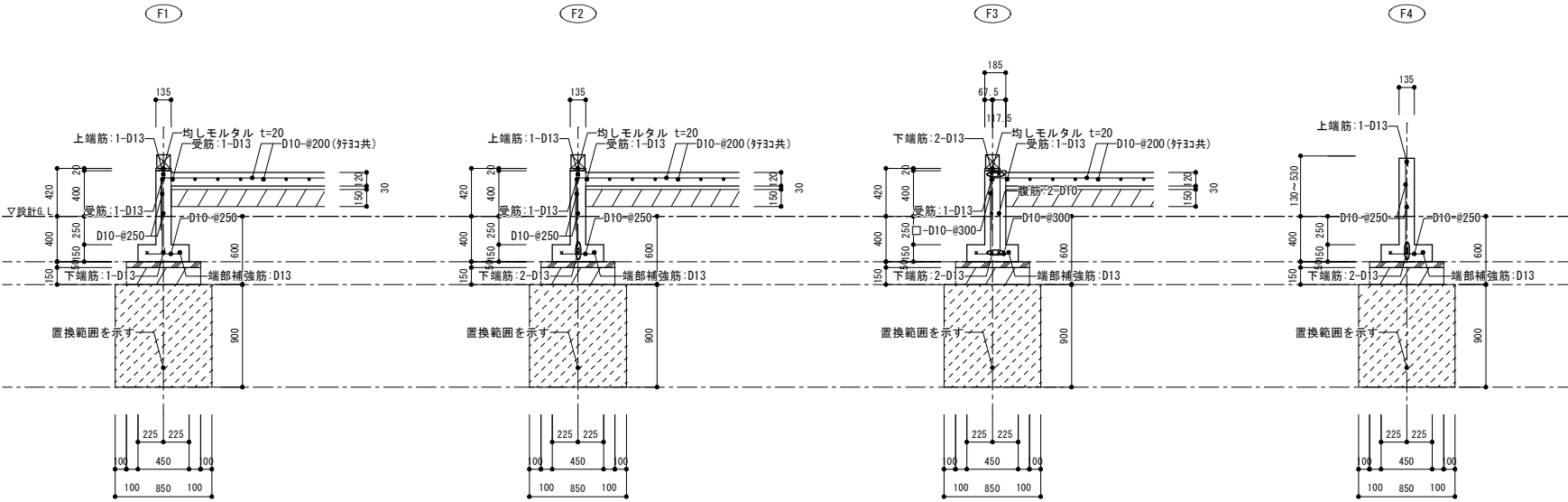
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4-1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				校印	主任担当	担当	担当	N o .	工事名	図面番号	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号				株式会社 石川設計				2 5 5 3 - 0 0	倉岡生活改善センター等改築工事	S - 1 4	
									設計年月日	図面名称	縮尺	
									R 8 . 0 3	【集会場】軸組図 (5)	1 / 1 0 0	



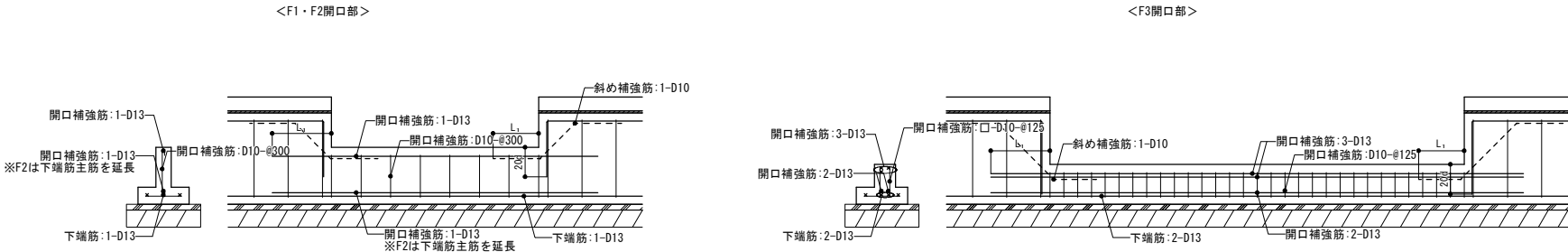
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101				検印	主任担当	担当	担当	N o .	工事名	図面番号	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第397号								2 5 5 3 - 0 0	倉岡生活改善センター等改築工事	S - 1 5	
	株式会社 石川設計								設計年月日	図面名称	縮尺	
									R 8 . 0 3	【集会場】軸組図（6）	1 / 1 0 0	



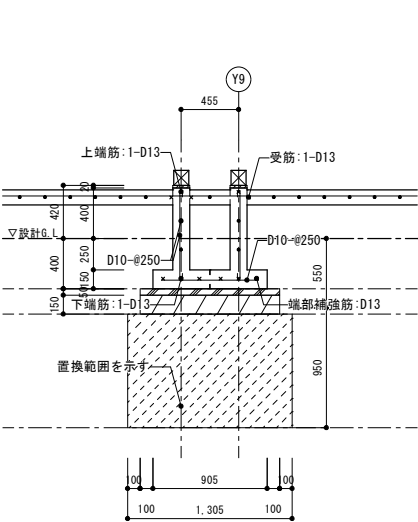
基礎リスト S=1/60 * 特記なき限り、腹筋が2本以上の場合、幅止め筋 D10-@1,000 を設けること。



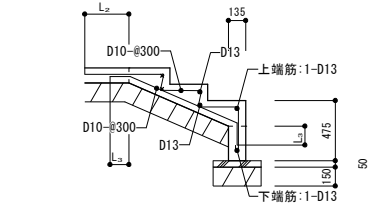
開口補強詳細図 S=1/60



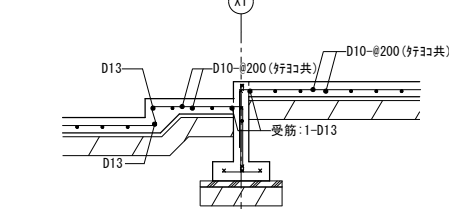
基礎取合い詳細図 S=1/60 * X3-X4間も同じ納まりとする



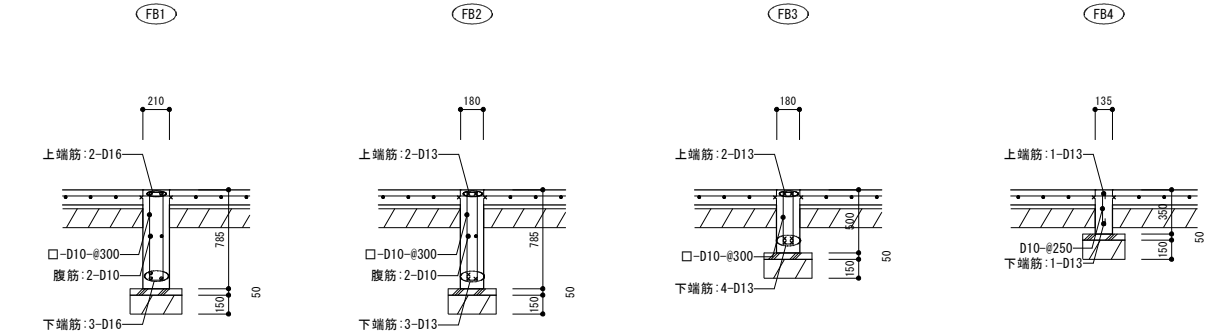
階段配筋詳細図 S=1/60



段部配筋詳細図 S=1/60



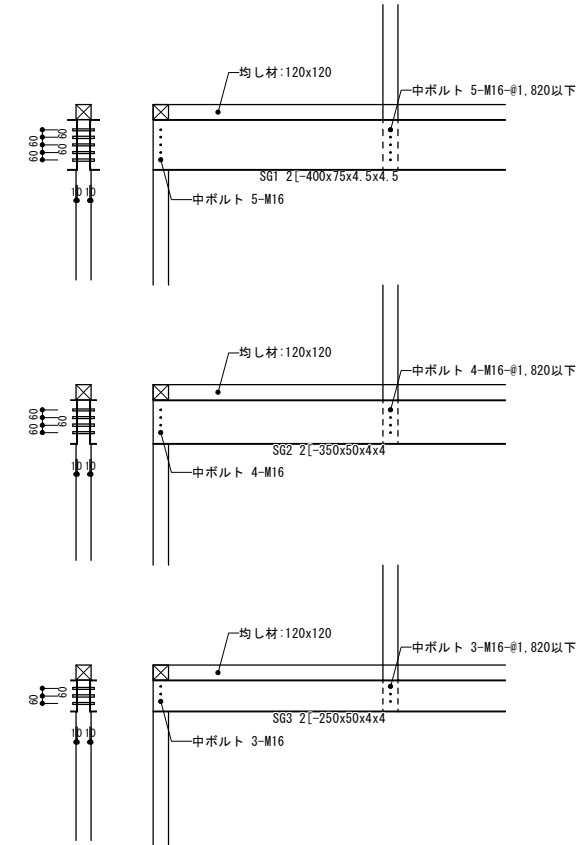
基礎小梁リスト S=1/60 * 特記なき限り、腹筋が2本以上の場合、幅止め筋 D10-@1,000 を設けること。



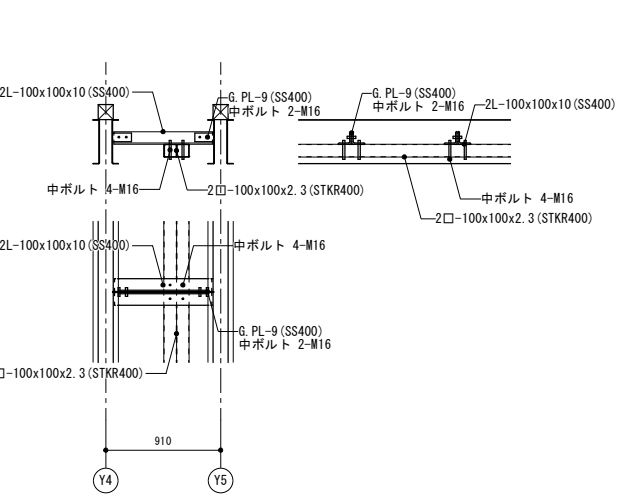
部材リスト S=1/60

用途	部材断面 (b x D)	樹種・規格	基準強度・ヤング係数	備考
柱 (C1)	120x120	スギ無等級製材	-----	
柱 (C2)	120x120	ベイツ集成材	E135-F405	
土台	120x120	ヒノキ無等級製材	-----	
梁	120x120～300	ベイツ無等級製材	-----	
梁	120x330～420	カラマツ集成材	E95-F270	
S61	2[-400x75x4.5x4.5	SSC400	-----	中ボルト 5-M16 , 戻り止めナット , @1,820以下
S62	2[-350x50x4x4	SSC400	-----	中ボルト 4-M16 , 戻り止めナット , @1,820以下
S63	2[-250x50x4x4	SSC400	-----	中ボルト 3-M16 , 戻り止めナット , @1,820以下
母屋	105x150-@910	スギ無等級製材	-----	
垂木	45x90-@455	スギ無等級製材	-----	
小屋束	105x105-@1,820	スギ無等級製材	-----	
間柱	36x120-@455	スギ無等級製材	-----	
胴縁	18x45-@455	スギ無等級製材	-----	
小屋筋かい	18x90-@1,820	スギ無等級製材	-----	
吊木	45x45-@910	スギ無等級製材	-----	
吊木受	45x105-@910	スギ無等級製材	-----	
野縁	45x45-@455	スギ無等級製材	-----	
窓台	45x120	スギ無等級製材	-----	
窓まぐさ	45x120	スギ無等級製材	-----	
火打梁	鋼製火打梁	-----	-----	オメガ火打600同等品
屋根構面	構造用合板 t=12	構造用合板2級T1	-----	N50-@150以下 , 床倍率1.96以上
* 設計G.Lから1,000mm以内の木部は、防腐防蟻塗布処理を施すこと。				

軽量梁詳細図 S=1/60



オーバースライダー受け詳細図 S=1/60



スクリーウエイト貫入試験(25cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 1								
25年10月14日08:30~08:37			最終貫入深さ 1.82								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.43			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
1.00	100	20	0.20	78.0	80	計算 05 回	砂質土				
1.00	100	1	0.30	32.0	4	3.2	砂質土				
1.00	100	自沈	0.75	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	自沈	1.00	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	7	1.25	66.8	28	2.8	砂質土				
1.00	100	27	1.50	94.8	108	8.2	砂質土				
1.00	100	92	1.75	250.8	388	26.8	砂質土				
1.00	100	75	1.82	672.8	671.43	73.7	計算 90 回	砂質土			

スクリーウエイト貫入試験(25cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 2								
25年10月14日08:39~08:45			最終貫入深さ 1.55								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.27			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
1.00	100	18	0.25	75.6	76	7.0	砂質土				
1.00	100	4	0.50	33.6	16	3.0	砂質土				
1.00	100	自沈	0.75	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	自沈	1.00	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	5	1.25	42.0	56	3.3	砂質土				
1.00	100	55	1.50	169.2	232	17.5	計算 30 回	砂質土			
1.00	100	75	1.55	533.0	690	102.5	計算 90 回	砂質土			

スクリーウエイト貫入試験(25cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 3								
25年10月14日08:46~08:53			最終貫入深さ 1.55								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.14			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
1.00	100	19	0.25	75.6	76	7.0	砂質土				
1.00	100	自沈	0.50	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	1	0.75	32.4	4	3.2	砂質土				
1.00	100	計算	1.00	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	14	1.25	63.6	56	3.7	砂質土				
1.00	100	81	1.50	222.4	324	23.7	計算 30 回	砂質土			
1.00	100	80	1.55	750.0	1200	82.4	計算 90 回	砂質土			

スクリーウエイト貫入試験(25cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 4								
25年10月14日08:56~09:01			最終貫入深さ 1.45								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.21			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
0.75	75	自沈	0.25	22.5	0	2.2	砂質土				
1.00	100	自沈	0.50	50.0	0	2.0	砂質土				
0.75	75	自沈	0.75	22.5	0	2.2	砂質土				
0.50	100	自沈	1.00	30.0	0	2.0	砂質土				
0.50	100	13	1.25	61.2	52	3.0	砂質土				
0.50	100	108	1.45	354.0	540	55.1	計算 20 回	砂質土			

スクリーウエイト貫入試験(23cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 5								
25年10月14日09:03~09:10			最終貫入深さ 1.71								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.32			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
1.00	100	自沈	0.25	30.0	0	3.0	砂質土				
0.75	75	自沈	0.50	22.5	0	2.2	砂質土				
1.00	100	1	0.75	32.4	4	3.2	砂質土				
1.00	100	自沈	1.00	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	7	1.25	66.8	28	2.8	砂質土				
1.00	100	76	1.50	212.4	304	22.3	砂質土				
1.00	100	144	1.71	441.6	685.714	47.0	計算 10 回	砂質土			

スクリーウエイト貫入試験(23cmまるめ)											
試験コード 000-000-000-0000			測点番号 6								
25年10月14日09:12~09:19			最終貫入深さ 1.56								
工事名 倉岡生活改善センター等改築工事			天候 晴れ								
所在地 上北郡七戸町字倉岡56-8			水位 不明								
K B M -0.37			試験者 夏堀 忠								
荷重 W _{app} kN kgf	貫入深さ D m	貫入抵抗 q _a kN/m ²	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	1mあたり の平均抵抗 N _{avg}	換算 支持力q _a N/㎡	記 事					
1.00	100	自沈	0.25	36.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	自沈	0.50	30.0	0	3.0	砂質土				
0.75	75	自沈	0.75	22.5	0	2.2	砂質土				
1.00	100	自沈	1.00	30.0	0	3.0	砂質土				
1.00	100	3	1.25	31.2	12	2.6	砂質土				
1.00	90	194	1.50	279.6	416	20.8	計算 20 回	砂質土			
1.00	100	80	1.56	630.0	520	60.0	計算 15 回	砂質土			

